



地区ロータリー財団 委員会要覧

目次

序

1	地区ロータリー財団委員会(DRFC)	1
2	DRFC小委員会	13
	奨学金小委員会	14
	研究グループ交換小委員会	29
	補助金小委員会	35
	ポリオ・プラス小委員会	55
	学友小委員会	58
	年次寄付小委員会	59
	恒久基金小委員会	68
3	シェア・システム	77
4	ロータリー財団の奉仕の表彰	83
5	参考資料	87
6	ロータリー財団カレンダー	91

序

地区ロータリー財団委員会要覧は、ロータリー財団要覧に替わる新しい出版物です。最近、ロータリー財団管理委員会は、地区ロータリー財団委員会(DRFC)の運営に影響する数々の決定を下しました。これらの決定により、DRFC、委員長、並びに小委員会の担うべき責務は、大幅に増えることになります。従って、財団は、DRFC委員、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクトに配布する出版物を変更する時期であると考えました。

方法と情報の一貫性を保つため、ロータリー財団に関する地区ガバナー、地区ガバナー・エレクトの責務は、ガバナー・エレクト研修セミナー資料および地区ガバナー要覧(DGTM)に掲載されています。

DRFCの運営に関する変更は2003年7月1日まで実施されませんが、地区は2002-03年度より、準備の意味も含め、新構造に沿って仕事を開始するよう奨励されています。2003年7月1日より有効となるDRFCの責務の主な変更は次の通りです：

- DRFCには、シェア地区財団活動資金(DDF)を配分し、配布する責務があります。
- DRFC委員長は、シェア選択決定ワークシートに署名し、その責任を負います。
- DRFC委員長を任命していない地区は、DDFを使用することができません。
- 現地区ガバナーは、DRFC委員長を兼ねることができません。
- 補助金小委員会は、ロータリー財団に提出する前に、すべての人道的申請書式を審査しなければなりません。
- DRFC委員長は、補助金小委員会、または補助金提唱者と協力の上、締切期限以内に、人道的補助金プロジェクトの中間報告書および最終報告書を提出する責務を負います。

これらの変更は、財団プログラム活動に関する責務を果たす上で地区を助け、地区ガバナーの管理的な責務を軽減するために、実行されるものです。



地区 ロータリー財団委員会 1

地区ロータリー財団委員会(DRFC)は、経験豊かな献身的ロータリアンから成っています。会員は、地区内ロータリアンの財団プログラムや募金活動への参加の充実を目的として、ガバナーがロータリアンを教育し、彼らに意欲を起こさせ、感動をもたらす上で力になります。委員会は、ロータリー財団とクラブのロータリアンとの連絡係の役割を果たします。

注記：2003年7月1日から、DRFCは、シェア地区財団活動資金（DDF）の配分と配布の責務を負うことになります。地区は、DRFC委員長が任命されるまで、DDFを使用することはできません。DRFC委員会と委員長の新しい責務が有効となるのは2003年7月1日からですが、2003-04年度に向けて、2002-03年度より新しい構成を反映させてゆくよう、財団は強く奨励しています。

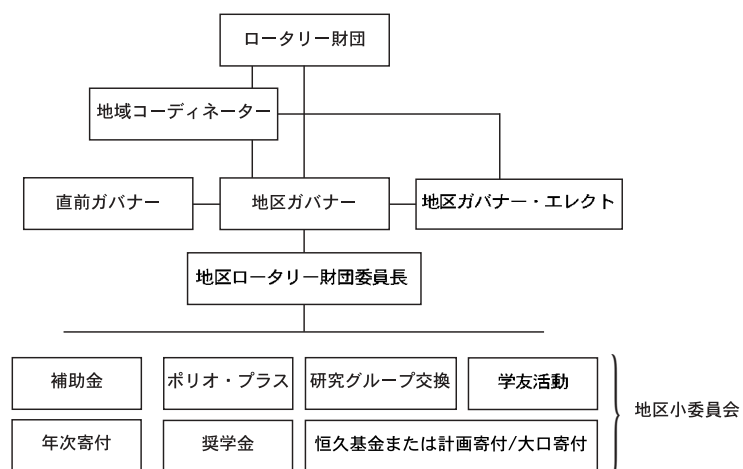
DRFC委員長の責任事項

地区ロータリー財団委員会(DRFC)は、クラブに働きかけ、財団の重要なメッセージを伝達し、財団の目標の実現を援助することで、世界理解および平和と云うロータリー財団の目標を推進するのに重要な役割を果たします。地区ガバナーの直接の指導の下に、委員長は、全ての地区の財団活動を立案し、調整を計り、評価します。これには、目標に対する進捗状況を検討し、必要に応じて修正を行うべく年間を通じて委員会の定期的な会合の手筈を整えることが含まれます。

DRFCが効果的に機能するためには、継続性が維持されなければならず、従って3年間の任期を務めることが推奨されます。DRFCは、ロータリー財団活動の知識と経験が豊富で、自らその活動に専心していなければなりません。また、義務付けられているわけではありませんが、現地区ガバナーが、DRFC委員長を兼任することはできません。DRFCの委員は、プログラムへの参加や資金面での貢献などを通じた財団への専心に基づき指名されるべきです。

ガバナーは直前ガバナー、ガバナー・エレクトと相談し、地区リーダーシップ・プランに従って、DRFCに空きができた際に、委員を任命するものとします。また、DRFC委員は、7つの小委員会の委員長も兼ねます。小委員会は、次の各部門における継続的な管理的役割に取り組むために設置されるものとします。

- 奨学金
- 研究グループ交換
- 補助金
- ポリオ・プラス
- 学友会
- 年次寄付
- 恒久基金



各小委員会の責務の詳細は、第2章をご参照下さい。

委員会の資格基準

地区リーダーシップ・プランに設けられている最低推奨資格基準に加え、DRFCはパスト地区ガバナー、パスト・ガバナー補佐、地区小委員会に貢献した元委員、あるいは経験豊かなロータリアンであることが推奨されています。

研修の必要条件

すべてのDRFC委員は、地域ロータリー財団・コーディネーター(RRFC)によって行われるロータリー財団セミナーに参加するよう期待されています。更に、すべてのDRFC委員は、地区チーム研修セミナー及びその他の地区研修セミナーに出席、参加するよう期待されています。

RI,ロータリー財団、会長被任命者との関係

DRFCは、地区ガバナーと協力し合い、RRFCから指示及び指導を受けます。

報告の義務 活動状況を地区ガバナー及び国際ロータリーに報告する他に、DRFCは、ガバナー補佐とRRFCへも報告します。

DRFC委員長の任務及び責務

ガバナーの直接の指導の下に、DRFC委員長は次の責務を遂行します。

- 地区財団活動のすべてを立案し、調整し、評価するに当たり、委員会と協力し合う。
- ガバナー就任中に地区の財団目標を設定する前に、クラブのロータリアンの協力を得る上で、地区ガバナー・エレクトを補佐する。特に国際協議会開催中に提出された年次寄付目標に焦点を当てる。
- 地区財団活動資金（DDF）の配分及び配布を決定するに当たり、DRFCと協力し合う。
- DDF配分の過程でDRFCを代表し、3月1日までに財団へ提出するシェア決定ワークシートに署名する。**注記：この変更は、2003年7月1日より実施される。2002-03年度、シェア決定ワークシートは、DRFC委員長、ガバナー、ガバナー・エレクト、直前ガバナー、ガバナー・ノミニー（該当する場合）によって署名されなければならない。**
- DDF確認作業を行うに当たり、DRFCを代表し、教育的、人道的、プログラムの改善、寄付プログラムの選択にDDFを使用することを許可する。
- 任命されていない小委員会や、機能していない小委員会の責務を引き受ける。
- 地区主催の人道的補助金及び教育的プログラム活動の適切な最終報告書がロータリー財団に締切期日までに提出されるよう確認する。**2003年7月1日より、DRFC委員長は人道的補助金プロジェクトの最終報告書を提出する責務を負う。最終報告書の提出を怠った場合、その後の補助金提案書に対する資金が地区に提供されないことになるため、この点は重要である。**
- すべての小委員会の職務上の委員を務め、進捗を把握するためすべての小委員会との連絡を維持し、委員長の裁量により、その年の地区の目標と関連した小委員会を支援する。

- 地区ガバナーが、クラブ会長、次期クラブ会長、クラブ財団委員会、地区のその他のロータリアンに対して、地区ロータリー財団セミナーを開くのを助ける。
- クラブの財団委員会委員及びクラブのロータリアンのために、地区ロータリー財団セミナーを開催するようDRFC委員を奨励する。
- 会長エレクト研修セミナー及び地区協議会にて、財団セッションを実施する地区研修リーダーを援助する。
- 毎年、財団のプログラムから少なくとも2つ実施するよう、クラブを奨励する。ロータリー財団月間である11月を特別に祝う。
- 通常の年次プログラム資金への寄付と、財団恒久基金への寄付を通して、財団プログラムへの金銭的支援のレベルを高めるよう奨励する。
- 年次プログラム資金、恒久基金、マッチング・グラント、ヘルピング・グラント、ポリオ・プラス・パートナー補助金を含む、地区の財団の募金活動の全てに関する企画調整を確実にこなす。
- 地区内の全てのクラブが財団に対する意識や理解を深めることができるように、クラブ財団委員会とのコミュニケーションを、適切で効果的なものとするよう心がける。
- RIウェブサイト(www.rotary.org)にある最新情報をアクセスするよう、クラブを奨励する。
- DRFCの責務の遂行を支援するために、RRFCを活用する。

ロータリー財団目標の設定

貴地区の状況についての客観的な状況判断ができたなら、目標設定について考える準備ができたことになります。効果的な目標とは、次のようなものであることに留意してください。

- 測定可能
- 達成可能
- 取組み甲斐がある
- 共有可能
- 時間的枠組み

目標を決定する前に、地区内での財団関係活動についての現実的評価を行うことが必要です。目標について、その目標達成にとっての主要な対応を迫る課題と、それらの課題の各々を克服するための最良の方法を検討してください。

地区のロータリー財団プログラムへの参加と寄付額の目標を設定するために、ガバナー・エレクト並びに貴地域の地域ロータリー財団コーディネーター密接に協力し、目標達成の立案をすることが必要です。また、前任者と共に、過去に達成されたこと、来る年度に達成可能なことが何であるかを判断し、目標設定について必ず話し合うことが大切です。

目標の設定は、多段階的な過程です。

第1段階

ガバナー・エレクト(DGE)は、財団目標の設定に向けて、できるだけ早くDRFCと協力し合うよう奨励されています。11月中旬に、DGEは、年次プログラム基金の目標設定の郵送物を受け取ります。この郵送物には、更に、「財団への金銭的支援のための目標ワークシート」が含まれます。ガバナー・エレクトには又、その後3年間のためのシェア・オプションの経費予測が送付されます（DGEが寄付を調達した年の支出は入手可）。

また地区現況報告が、ガバナー・エレクトの情報源として送付されます。それには、過去5年間の地区の財団寄付目標と地区がこれまで達成したことの記録が含まれています。また、前年度および全体の、プログラム参加に関する過去にさかのぼった情報も含まれています。DGEとしてあなたは、地区の資料を参照して、地区が過去に行なったことと将来行なえることについて理解することが推奨されます。

第2段階

次の段階は、財団関係の目標を設定するにあたっての次の段階は、ロータリー研究会に付随して実施されるガバナー・エレクト研修セミナー(Governor-Elect Training Seminar=GETS)に参加することです。地域/ゾーン・レベルでの特別な研修は、全てのガバナー・エレクト(DGE)の成功に重要であり、参加は義務づけられたものであると考えてください。

財団に関しては、GETSで提供される特別な研修に含まれるものは、ロータリー財団基本事項(シェア・システムを含む)、ロータリー財団プログラム、寄付増進です。更に、GETSにおいてDGEは、現在のガバナーの目標の理解を得て、財団とその目標の推進のために他の地区ガバナーと財団委員会によって実施されている実践方法について学ぶことができます。11月半ばに財団から情報資料が送付される前にGETSセミナーに出席される皆さんは、RIウェブサイト

(www.rotary.org)にて、地区の予備段階の寄付情報を得ることができます。また、財団に連絡し、前ロータリー年度の寄付額を入手することもできます。

第3 段階

地区のこれまでの財団関係活動について(地区現況報告を通して)知り、GETSに参加した後は、DRFCとガバナー補佐と共に、DGEは、任期中に達成する財団関係の目標の設定に着手する準備ができたことになります。ガバナー補佐は、地区内のクラブから目標を集めるのに協力することができます。この手続きについては、「地区財団目標ワークシート」(8ページを参照のこと)をご覧ください。

「地区財団目標ワークシート」を完成させるにあたり、次に続く「考慮すべき地区財団目標」という項を参照して、他の地区指導者たちもこの決定に参加すべきである点、および、シェア・システムは、3年間サイクルに基づいているという点に留意してください。3年間サイクルとは、2002-03年度に行われた寄付は、2005-06年度に実施されるプログラムのために使用できるということです。

考慮すべき地区財団目標

ロータリー財団の管理委員会は、ガバナー・エレクトが、地区の財団関係目標を決定するにあたり、次のことを考慮するように勧めています。

一般

- 各クラブに、ロータリー財団委員会を任命させ、地区目標を支援するようなクラブ財団目標を決定してもらう。
- 地区学友名簿を作り(あるいは、財団から学友名簿を入手する)、維持するために、これらの貴重な過去のプログラム参加者を、クラブや地区の会合に講演者として招待する。

プログラム関係

注記：プログラム参加に関する目標を設定する際には、自分の任期を通じて使用できるようになるシェア配分を考慮することが必要です。例えば、地区が、人道的プログラムのために多くの地区財団活動資金(DDF)を使用できる場合は、目標は、次のようなことのために資金を活用する計画を含むべきです：

- 国際親善奨学生や研究グループ交換(GSE)チームの受け入れ学生やグループと派遣学生やグループの全てに対して、国際親善使節としてロータリーに奉仕するための最善の準備となるように、推奨された研修やオリエンテーション・プログラムを提供する。
- チーム・メンバーがロータリアンと共にGSE体験の価値を分かち合ったりすることができるように、訪問GSEチームや帰国したGSEチームと共に、クラブ間会合を開く。
- 前もって他の地区と非公式な連絡を取り、将来のGSEの計画をたてる。
- 前もって他の地区と非公式な連絡を取り、将来の人道的プロジェクトの計画をたてる。
- 1つ、または、それ以上のマッチング・グラントへの申請に、いくつかのクラブを参加させる。
- 開発途上国の中の1地区に奨学金を寄贈することを考えてみる。
- 現金寄付あるいはDDFの寄付を通じて、ポリオ・プラス活動に貢献する。
- 自分の地域社会の中での、免疫接種のニーズを見極める。開発途上国内の地区では、全国ポリオ・プラス委員会に連絡する。先進国内の地区では、ニーズのある場所で免疫接種レベルを高めるためにとることのできる行

動を、地区ポリオ・プラス小委員会と地区の役員たちに、推薦することを考慮してみる。

- 地区から少なくとも1人、外国の地区で少なくとも4週間の奉仕を行なうことのできるロータリー・ボランティアを見つけ、資金援助をする。

金銭的援助に関するもの

注記：寄付額の目標を決定する際には、地区ガバナー・エレクトとしてあなたは、3年後に地区が使用したいシェア・オプションを考慮するようにしてください。(例：2003-04年度のための寄付目標は、2006-07年度のためのプログラム参加目標を反映するものでなければなりません。)例えば、地区が、3件の1学年度国際親善奨学金を、2006-07プログラム年度中に提供したい場合は、地区は、少なくとも150,000ドルを、2003-04年度中に年次プログラム基金に寄付しなければならず、また2004-05年度に教育的プログラム分野に配分します。

- 前年の金額よりも一定の金額分多くなるように、一般寄付を増加させる。
- 西暦2005年(ロータリー創立100周年記念)までに管理委員会が設定した1人当たり寄付米貨100ドルの達成を考慮する。
- 年次寄付のためのクラブの目標と全般的地区の目標達成のために、地区内の各ロータリアンからの個人的寄付を奨励する。これには、全てのロータリー財団準フェローから、誓約を果たしてポール・ハリス・フェローになるという合意や、すべてのポール・ハリス・フェローが、財団支援のために、より高いレベルの寄付を続けるという合意を得る計画などを含みます。
- ベネファクターのために寄付目標を設定し、ロータリー財団の恒久基金への支援を培っていく。
- 米国、カナダ、その他の該当する国々では、財産の寄付を考慮するように、各ロータリアンを奨励する。
- 25,000ドル以上の大口寄付を寄付できる可能性を持つ寄付者を、決定した人数、見つけ、連絡を保って、寄付を懇請する。
- 財団へ寄付を行い率先して見本を示す。

地区財団目標ワークシート

貴地区の状況についての客観的な状況判断ができたなら、目標設定について考える準備ができたことになります。効果的な目標とは、次のようなものであることに留意してください。

- 測定可能
- 達成可能
- 取組み甲斐がある
- 共有可能
- 時間的枠組み

測定可能とは、目標は、量で測定可能な形で言い表すことが必要だという意味です。例えば、「1月1日までに、2件のマッチング・グラントを申請する」という目標は、「人道的プログラムに参加する」という目標より効果的です。測定可能な目標とは、年度の終わりに、客観的に評価することができます。

達成可能とは、目標は、地区の目標のために決められた時間的枠組みの中で、あなたが現在利用できるか、または、利用できると期待できる、資料やボランティア人材に基づいた、現実的なものであることが必要だとう意味です。

取組み甲斐があるとは、目標の達成には、あなたのビジョン、計画、チームワーク、努力、継続的管理と、次年度あなたが導いていくことになる人々との両方を必要とするという意味です。

共有できるとは、目標を実行する人々が、各目標の具体的側面のいくつかを計画していくうえで意見を反映させることができるという意味です。特に、地区委員会委員長、グループ代表者、ガバナー補佐（貴地区の機構の中で任命されている場合）を、目標設定プロセスに参加させるべきです。

時間的枠組みとは、達成したい目標の明確な開始時と終了時を設けることです。

地区プロフィールを、もう一度見てください。よく熟考し、プログラム参加とロータリー財団への金銭的支援との両方に関連する目標を、以下に列記してください。

- 目標：

- 目標：

- 目標：

- 目標：

第4段階

「地区財団目標ワークシート」に記入した後は、あるあなたは、11月中旬に受け取った「財団へ金銭的支援の目標ワークシート」を記入することが必要です。記入をすませたこの書式を、国際協議会へ持参しなければなりません。協議会では、金銭的支援の目標について話し合われ、ワークシートは、全てのガバナー・エレクトから集められ、集計されます。管理委員会は、この数値を用いて、世界中の2003-04年度年次プログラム基金寄付目標を決定します。

第5段階

国際協議会に参加した後は、DGE、DRFC、ガバナー補佐は、地区財団関係目標の達成のための取組み方法を開発し始める準備ができています。目標を実行していく人々の意見が、各目標達成の具体的詳細の計画に反映されることが必要である点に留意してください。従って、取組み方法の決定には、必ずクラブ会長にも参加してもらいます。全ての手順は、7月1日以前に、実行準備が完了していなければなりません。

第6段階

財団関係目標の決定における最初の段階は、これらの目標を、地区のロータリアンに伝えることです。

クラブ・ロータリー財団委員会におけるDRFCの役割

地区ロータリー財団委員会(DRFC)は、クラブロータリー財団委員会の積極的な活動を奨励することに責任をもち、その主な役割には次のようなことがあります：

- 財団の活動を広報する。
- プログラムへの活発な参加と金銭的支援を奨励する。

クラブ・レベルでのロータリー財団についての理解と意識の欠如が、財団の目標を達成するための努力における、決定的な弱点となるということが確認されています。従って、クラブ財団委員会が、活発で、クラブ会員に対し財団プログラムと活動について伝えることに熱心であることは、極めて重要です。

一般的に言って、人々は、世界的規模の活動の場合、自分達がよく知っていて、その価値を認めることができる活動のみを支援したり、参加したりします。次期クラブ会長およびクラブ財団委員会がクラブ会員と一般の人々に対し、ロータリー財団の活動についての意識を高め、教育することができる推奨提案を列記します：

- プログラム委員会と協力して、少なくとも年4回は、クラブ例会を、財団と、その目的とプログラムに捧げるようにする。特にロータリー財団月間である11月には、1回以上のクラブ例会を、財団のために充当するべきです。多くの有用な出版物と視聴覚資料が、RI日本事務局から入手できる。
- クラブ会員に財団へ寄付をするように促す。
- クラブ会報を定期的に利用して、会員に、財団の活動や、クラブと地区の目標の達成状況について知らせる。
- クラブ／地区広報委員会と協力して、地元のマスコミに、財団活動について知らせる。ニュース価値のある機会には、次のようなものが挙げられる：
 - 地元の地域社会からの、財団奨学生への選出
 - 地元のロータリアンによるボランティア奉仕
 - 財団人道的補助金の受領の承認
 - 地元あるいは訪問中のGSEチームの活動の承認
- ロータリー・ボランティアのための補助金、世界社会奉仕助成金、新人道的補助金の元受領者や現受領者、GSEチーム元メンバーや現メンバー、元奨学生や現奨学生、大学教員のための補助金の元受領者や現受領者などを招待して、クラブ例会でスピーチをしてもらい、海外での体験を分かち合ってもらおう。財団学友は、ロータリアンに対して、多大な影響を与えることができる。
- 募金や、財団の推進のために、地域社会で特別な行事を計画する。
- 財団プログラムに卓越した奉仕を行なったロータリアン、ロータリー財団に対する顕著な寄付をしたロータリアンや他の人々、クラブ例会や、マスコミを通して、表彰する。
- 財団に寄付を行い、率先して見本を示す。

次期クラブ会長は、会長エレクト研修セミナーで、2002-03年度用のクラブ会長ワークブックと、クラブ委員長の手引きを受け取っています。ロータリー財団に関する情報は、新「クラブ委員長の手引き」の「国際奉仕」の部分に含まれています。地区の指導者は、手引きに説明されている、クラブへの責務と目標に精通していなければなりません。次期会長には、ロータリー財団に関してクラブ会員への説明に役立つ「申請手続早見用引き」が送付されます。

会長エレクト研修セミナー(PETS)におけるDRFCの役割

- 地区財団目標を、次期クラブ会長に紹介する。
- 以下の行動ステップを、首尾よく実行する時間的余裕を持てるように、早めに、次期クラブ会長に連絡する。

クラブ会長は、以下のことを行なう必要がある：

- 地区協議会以前に、クラブ・ロータリー財団委員長を任命する。財団活動に精通し、それに熱意を持っており、地区名簿に掲載する情報をDGEに連絡担当者の情報を提出できる人を、委員長に選ぶ。
- PETSにおいて、プログラムへの参加のために仮クラブの財団目標を形式化する。国際親善奨学生候補者、研究グループ交換チーム・メンバーの候補者を推薦したり、あるいはマッチング・グラントへの参加と云った目標について話し合う。また、これまでの年度よりも増加したパーセントに基づき年次寄付のための金銭的支援を形式化する。
- クラブの目標達成のための方策を打ち出す際に、クラブ財団委員会を支援する。
- クラブ財団委員長と共に地区協議会に出席する。クラブの財団目標をすべて報告し、仲間のクラブ役員と目標達成のための方策について話し合う。
- 7月1日以前に、目標達成のための方策を最終的に決める段階で、財団委員会を支援する。
- クラブ財団委員会を始め、その他のクラブ役員と共に、地区ロータリー財団セミナーに参加し、財団活動への知識を高め、プログラムと財務に関する最新情報を入手し、アイデアや懸念について話し合う。
- 7月1日、新しいクラブ会長と財団委員会は、クラブ財団目標達成のための方策を実施できるはずです。年間を通じて、定期的に目標に向けての進捗を検討し、必要に応じて修正を行うよう委員会を奨励します。

地区協議会におけるDRFCの役割

DRFCは、DGEを補助します

- クラブ目標とクラブ財団委員会任命を集める。
- クラブ財団委員会のために、財団プログラムおよび資金支援に関する財団立案セッションを開催する。
- 地区財団目標と実践方法を提示し、クラブ目標と、その目標達成のために計画した行動ステップについて話し合う。財団プログラムと、それらのプログラムの金銭的支援についての情報を提供するために、クラブ財団委員会のための財団計画セッションを実施する。

この時点までには、財団関係の責務を持つ全ての地区とクラブの指導者は、財団についての研修を受けているはずで、あなたは、地区ガバナーとしてのあなたの年度の開始日である7月1日に、貴地区の財団チーム全部によって支援されて、財団関係の計画を実行する用意が来ているはずです。

地区ロータリー財団セミナーにおけるDRFCの役割

DRFC委員長は、地区ガバナーによって支援され、地区内のクラブ指導者に向けての財団セミナーを、少なくとも年1回は実施する責務を持ちます。委員長は、クラブがクラブ会員を教育するのを積極的に支援することが必要です。

地区ロータリー財団セミナーの目標は、財団プログラムへの参加と金銭的支援を増加させることにあります。セミナーは、教育的であると同時に意欲を与えるものでなければなりません。セミナーで討論される議題は、地区の財団関係目標に繋がるものでなければなりません。セミナーの3つの目標は、下記の通りです：

- 地区の会員を財団プログラム参加と金銭的支援の機会について教育する。
- 財団の所有者意識を植え付け、財団に対し個人的な責任をもつことを鼓吹する。
- 財団に対する誇りを高める。ロータリー財団地域コーディネーターは、11月15日までに開催しなければならない、効果的な地区財団セミナーを計画するのに協力できる。

地区財団セミナー指導者は、地区ロータリー財団セミナーの手引きが有用な用具であることがお判りになると思います。手引きには、貴地区でのセミナーの各要素の計画、議事日程の見本、セミナー実施方法に関する諸事項の決定などのために情報を掲載しています。更にこの手引きは、ロータリー財団の各プログラムと活動についての説明、発表用メモ、配布資料見本、オーバーヘッド・プロジェクト用にトラペンとして使えるページが含まれています。各DRFCは、RRFCから手引きを受取ります。

財団セミナーで使用できる出版物が他にも、わずかな金額または無料で、たくさん用意されています。

用意されている出版物に関する詳細は、国際ロータリーのカタログを参照するか、日本サービス・センター、貴地域の財団地域コーディネーター、または国際本部の財団指導力開発担当コーディネーターにお問い合わせ下さい。セミナー資料のご注文は、国際ロータリーの注文デスク、電話番号847-866-4600、ファックス番号847-866-3276を使用されご注文ください。包装、出荷、配達のために、少なくとも6週間かかることをご了承ください。また、注文はすべて前払いで受け付けています。



DRFC小委員会 2

奨学金小委員会

財団の教育プログラムのひとつと見なされる奨学金小委員会は、国際親善奨学金、大学教員のための補助金、紛争および解決の分野におけるロータリー世界平和奨学金プログラムに地区とクラブが参加するのを推進する責任を負います。小委員会は、推進と選考、オリエンテーション、奨学生の受入、学友への連絡という4つの基本的な要素に焦点を当てます。

委員の資格条件：

小委員会委員のための地区リーダーシップ・プランに定められている最低の推奨資格条件に加えて、クラブレベルで奨学金プログラムの経験を有する者が優先されるべきです。

小委員会はできる限り、面接において申請者の言語を駆使できる能力を有する委員をもつことが望まれます。

奨学金小委員会は、少なくとも3人の委員によって構成され、小委員会委員は継続性のために2年間のロータリー年度を務めるという規定を設けることが推奨されます。従って、小委員会は、地区ガバナーと地区ガバナー・エレクトとの協力で選考されることが必要です。地区ガバナーとガバナー・エレクトは、小委員会の職権上の委員として奉仕します。

小委員会は、DRFCと協力して、シェア・システムを通して教育プログラムに割り当てる地区財団活動資金(DDF)の金額を決定します。割り当てられたDDFの金額は、地区が提供することを望む、大学教員のための補助金と国際親善奨学金の種類を反映するものとする必要があります。小委員会は、地区内のクラブに申請書類を配付し、申請可能な財団奨学金の種類と大学教員のための補助金を通知します。

注記：すべての地区は、世界競争制に基づく国際問題研究のためのロータリー・センターで勉強するロータリー世界平和奨学生候補者を選出する資格があります。また、すべての低所得国は、世界競争制に基づく低所得国のための奨学金共同資金候補者を選出する資格があります（この2つの世界競争制に基づく奨学金に関する詳細は、それぞれ15ページと21ページを参照のこと）。

小委員会の責務と任務は、下記に概要されています。詳細は、ロータリアンのための奨学金指針：国際親善奨学金および大学教員のための補助金（012-JA）およびロータリアンのためのロータリー世界平和奨学金指針（085-JA）をご参照下さい。

任務と責務

- 地区内のクラブに申請資料を配布する。財団奨学金の種類とDDF、冠名基金、世界競争制に基づく奨学金の機会を通じて、地区が支援できる大学教員のための補助金を通知する。
- 地区内の各クラブに定期的に連絡を取ったり、地区会合を通じて、財団の国際親善奨学金、大学教員のための補助金、国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムへの理解と効果的な参加を推進する。
- クラブ委員長が責務を遂行する上で、奨励し、補助する。
- クラブが推薦する候補者の中から、資格ある奨学生および補助金受領者を選考する。
- 出発前と到着時に、奨学金および補助金の全受領者を対象としたオリエンテーションを実施する。できれば、多地区合同オリエンテーションに参加する。

- DDFの配分および配布を決定する際、DRFC委員の協力を得る。スポンサー・プログラムの各参加者に、スポンサー・クラブによって指名されたスポンサー地区顧問に指針と研修を提供する。また、ホスト・クラブによって指名されたホスト地区顧問にも指針と研修を提供する。
- 留学期間中、受領者との連絡を維持する。スポンサー地区及びホスト地区ガバナーへ報告書を遅れずに提出するよう奨励する。
- マスコミおよび地区内のロータリアンに受領者の帰国を広報する。
- 受領者を地区学友委員長に紹介し、帰国後、プログラムの同窓生との関係を維持する。
- RIウェブサイト(www.rotary.org)の最新情報をアクセスするよう、クラブを奨励する。
- 委員会の責務の遂行に当たり、ロータリー財団地域コーディネーターを活用する。

国際問題研究のためのロータリー・センター



平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターは、ロータリーの最新の教育プログラム実施計画です。また、財団の世界平和と理解のための使命を達成するにあたり、主要な教育分野の優先事項となります。

7つの国際問題研究のためのロータリー・センターは、世界各地の定評ある大学との協同関係を通じて、設立されました。毎年、世界競争制に基づき、70名のロータリー奨学生(各センターに10名ずつ)が選ばれ、平和および紛争解決に関連した大学院の修士課程プログラムにおいて2学業年度、研究に従事します。第2番目の奨学生グループは、2002年11月に選考され、2003-04年度から、研究を開始します。ロータリー・センターの所在地は、下記の通りです：

- 国際基督教大学、東京、三鷹
- クイーンズランド大学、オーストラリア、クイーンズランド州、ブリスベン
- ブラッドフォード大学、英国、ウエスト・ヨークシャー州
- パリ政治研究学院、フランス、パリ
- デューク大学およびノース・キャロライナ大学、米国ノース・キャロライナ大学チャペル・ヒル
- カリフォルニア大学、米国カリフォルニア州バークレー
- サルバドル大学、アルゼンチン、ブエノスアイレス

国際問題研究のためのロータリー・センターは、次の目標を通じて、世界理解を深めるというロータリー財団の使命を支援します。

- 平和の増進、国際親善、紛争の原因および世界理解についての研究の促進と指導、および学識の育成。
- 政府、実業界、教育界、マスコミおよびその他の専門職務分野の将来性ある指導者たちに学識を育成させ世界理解を促進するために、異なった文化背景をもつ様々な国々から選ばれたロータリー世界平和奨学生たちに専門分野の研究の機会を提供すること。
- 国際ロータリーのロータリー財団と世界中のクラブが、世界平和と理解を実現するために人々の間に一層の寛容と協力精神の推進により大きな効果を発揮できるプログラムを設定すること。

ロータリー世界平和奨学金プログラムは、国際親善奨学金プログラムの充実と成功を基に設けられたものですが、この二つのプログラムが具体的な重点を置く部分や構成は、奨学金を受領する条件、選考過程、資金面などで異なります。

奨学金の機会

すべての地区は、毎年、世界競争制に基づく70名のロータリー世界平和奨学生に向けて、1名の候補者を推薦するよう奨励されます。候補者の申請書を提出するこの年次の機会は、地区がロータリー世界平和奨学金に寄付しているか否かに関係するものではありません。紛争の存在する地区は、世界中の紛争状況および紛争後の情勢に取り組む上で有益となるよう、その地域からの有力な候補者の選出が促されます。

推進と募集

ロータリー世界平和奨学金の申請者を対象とした独自の市場開発策が、奨学金小委員会によって打ち出されるべきです（詳細は、「ロータリアンのためのロータリー世界平和奨学金指針」（085-JA）を参照のこと）。地区は、十分に資格を備えた候補者の勧誘にできるだけ時間をかけ、面接を行います。地区推薦の申請書をロータリー世界本部へ提出する締切期日は、10月1日であり、面接はこの日より3カ月以上前に行なうことはしません。地区は、特に、次の受領資格を備えた候補者を探そうにします：

- ロータリー世界平和奨学金の候補者は、ロータリー・センターの1つにおける修士課程の学位取得プログラムへの入学を許可されるために提携大学により義務付けられる適切な分野においての不可欠な訓練、研究専攻分野、および実務体験がなければなりません。ロータリー・センター・プログラムは、国際関係および紛争解決に経験をもつ個人を対象としているため、通常、ロータリー財団は、大学を卒業した後の個人をロータリー世界平和奨学金プログラムに申請するよう推薦することはありません。
- 候補者は、2カ国語以上の言語に堪能で、優れた指導能力と、個人的および地域社会での奉仕活動あるいは学問および専門的な業績を通じて平和と世界理解に対する熱意を実証したものでなければなりません。
- 申請者は、ロータリアン、名誉ロータリアン、ロータリー・クラブ、地区あるいはその他のロータリー関係組織または国際ロータリーの職員、その配偶者、直系親族（血縁による子または孫、入籍している養子）、その配偶者、および前記各項の現存者の直系尊属（両親あるいは祖父母）であってはならない。

選考手続

各地区は、有資格のロータリー世界平和奨学金候補者であれば、何名でも推薦することができます。ロータリー世界平和奨学金の候補者は、クラブおよび地区レベルにおいて、国際親善奨学金の候補者とは別とみなされます。

奨学金小委員会委員長は、ロータリー世界平和奨学金候補者の推進と選考を調整します。選考手続が、2ロータリー年度に及ぶことも考えられます。例えば、地区があるロータリー年度の1月に奨学金の機会を推進し、6月に審査を開始し、翌ロータリー年度に面接と選考を実施するような場合もあります。

ロータリー世界平和奨学金候補者を審査する地区委員会が、現地区ガバナー、直前ガバナー、ガバナー・エレクト、DRFCか奨学金小委員会委員長、および平和と紛争解決、教育、市民的あるいは職業的指導力の分野を専門とするロータリアン、または非ロータリアン、3名を含むよう、管理委員会は推奨しています。

地区は、世界競走制度の下に、選考を通過した候補者の申請書類をロータリー財団に、各プログラムが開始される前年の10月1日までに提出しなければなりません（18ページの表を参照のこと）。

奨学金の資金

ロータリー世界平和奨学生への資金の支給は、世界的なロータリーの努力にかかっています。全ての地区は、いくら金額でもDDFを寄付し、毎年、各地域から世界競争制に基づく奨学金70口を支援するよう奨励されています。他の奨学金のオプションと異なり、このDDF配分は、特に、地区により選出される奨学生と関連することはありません。この資金支給方法により、奨学生の選出地区が2年間のプログラムのために奨学生に奨学金を支給できるか否かに関係なく、世界全体の公平な本来の競争制に基づいた選考手順により70名の候補者を選ぶことを保証してくれます。

地区は、教育的プログラムを目的として、未使用のDDFを配分することを考慮するよう奨励されています。毎年、およそ325地区が未使用の奨学金資金(シェアの金額と実際の奨学生の経費の差額)が、個々のDDF口座へ戻されています。

1年間に米貨25,000ドル、あるいは2年間にわたり米貨50,000ドルに相等する資金をDDFから配分することを誓約した地区は、特別な指定を受け、表彰されることになります。

ロータリー世界平和奨学金申請手続		
申請段階	2003-04年度	2004-05年度
申請書類が地区へ配布	2001年11月	2002年11月
地区がクラブへ申請書を配布し、提出の締切期日について通知する	2001年12月-2002年2月	2002年12月-2003年2月
奨学金申請者からの申請書のクラブ提出締切期日	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日 — 通常、2002年7月以前であってはならない	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日 — 通常、2003年7月以前であってはならない
クラブ推薦申請書の地区への提出締切期日	締切期日は各地区により個々に設定される — 通常、2002年7月以前であってはならない	締切期日は各地区により個々に設定される — 通常、2003年7月以前であってはならない
地区推薦申請書の国際本部への提出締切期日	2002年10月1日	2003年10月1日
ロータリー世界平和奨学生選考委員会により選考され、管理委員会により承認された申請者は、奨学金およびロータリー・センターにおける研究の指定を受ける	2002年12月15日	2003年12月15日

詳細については、ロータリアンのための奨学金指針：国際問題研究のためのロータリー・センター(085-JA)を参照して下さい。

国際親善奨学金

目標

4つの基本的な要素、即ち推進と選考、説明指導、奨学生の受入、学友への連絡に慎重な注意を払い、ロータリアンは、次のことを遂行することで世界理解と平和を促進するための財団の使命を支援する下記のプログラム目標の達成に役立つことができます：



- 他国において研究に当たるために親善使節を派遣し、異文化に対する認識と敬意を深める。
 - ロータリーの奉仕プロジェクトに積極的に参加させることを通じ、奨学生にロータリアンの理想である「超我の奉仕」を鼓吹する。
 - それぞれの地域社会および国において人々の生活の質を高めるために各自の個人生活および職業生活を通じ寄与することを奨学生に奨励する。
 - 世界社会の人道的なニーズに取り組むことができる指導者を養成する。
 - 奨学生の公平な地理的地域への配分を通じて、世界のあらゆる地域に良い影響を与える。
- 低所得国の奨学生のために教育の機会を増大させるよう世界中のロータリアンを奨励する。
 - ロータリーと奨学生の生涯にわたる関係を助長、育成する。

シェア・オプションの奨学金

2004-05プログラム年度から、地区は、地区財団活動資金を、次の3つの国際財団活動資金のどれにでも割り当てることができるようになります：

1. **1学年度国際親善奨学金** 候補者は、奨学金支給期間の始まる前に、大学での2年間の勉強を終了したか、2年間、適切な専門職の経験がある限り、年齢は不問です。この奨学金は、外国での1学年度の留学のために、指定された上限金額までの金額が、授業料、手数料、部屋代、食費、限られた言語研修(ロータリー財団によって指定された通りのもの)、および、旅費を賄うために支給されます。この上限額は、2003-04年度は米貨25,000ドルです。(これは、全ての奨学生が米貨25,000ドルを受け取るという意味ではありません。奨学生は、その金額以上支給されることはないという意味です。)この上限額は、シェア奨学金にも、冠名奨学金や奨学金基金にもあてはまりません。

奨学生に、授業料の高い教育機関が指定されている場合は、奨学金のほとんど、または、全てが、指定された教育機関での授業料に当てられる場合もあります。その場合、奨学生は、他の経費を、自費、または、その他の追加奨学金で賄わなければなりません。全ての候補者には、この方針および関連する責務について完全に伝えておく必要があります。自費で不足分を賄えない奨学生は、上限額よりもずっと少ない経費ですむ教育機関が指定されることを要請すべきです。

2. **マルチ・イヤー国際親善奨学金** この奨学金は、2年間の奨学金で、外国で学位をとるための費用の支払いを助けるためのものです。この奨学金は、2003-04年度は、1年につき一律米貨12,000ドルが支給されます。マルチ・イヤー奨学金の受領資格は、1学年度奨学金の場合と同じですが、それに加えて、更に、候補者は、特定の学位の取得を目的としていることが必要です。

3. **文化研修のための国際親善奨学金** この奨学金は、外国で3ヵ月または6ヵ月の集中的語学研修と文化実習を行なうために支給されるものです。アラビア語、英語、フランス語、ドイツ語、ヘブライ語、イタリア語、中国語、ポーランド語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語を勉強することに関心のある候補者の申請書が考慮されます。

文化研修のための国際親善奨学金の受領候補者の資格は、1学年度国際親善奨学金の場合と同じですが、それに加えて、希望言語における最低1年の大学レベルの研修を受けたことがあるか、それと同等の経験を持っていることが必要です。この奨学金は、授業料と手数料、妥当な金額の部屋代と食費、往復の旅費を支給します。2003-04年度に、それぞれ、3ヵ月の奨学金の上限額は、米貨10,000ドル、6ヵ月の奨学金は、米貨19,000ドルとなっています。

4. **ジャパン国際親善奨学金プログラム**は、試験的プログラムで、日本の地区のみが使用でき、他のロータリー地区に寄贈するものです。日本の地区は、自地区の地区財団活動資金(DDF)を、日本での語学研修と同時に実用研修のために、12ヵ月の奨学金として割り当てることができます。管理委員会は、日本の地区に、この特別な奨学金を、低所得国の地区に寄贈するように、強く勧めています。ジャパン国際親善奨学金プログラムが、貴地区に寄贈された場合は、財団は、この奨学金を推進し、候補者を選択することに関する追加情報をお送りします。

低経費奨学金のためのDDF調整

世界中のロータリアンからの照会への返答として、管理委員会は、国際親善奨学金のための初めのシェアDDF額と、ひとつの奨学金で実際に使用した金額との間の差額を、各地区に払い戻すという方針を採択しました。

同じプログラム年度中の全ての調整は、その都度払い戻されるのではなく、1年に1回、まとめて、地区に払い戻されます。2002-03年度の奨学金の調整は、2004-05年度のプログラム配分に向けての2002年11月のシェア・システム配分報告書に掲載されます。

地区が申請できる奨学金の数

毎年11月に、地区は、財団プログラムへの参加に使用できる地区財団活動資金(DDF)の金額の合計についての情報を掲載するシェア・システム配分報告書を受けます。この報告書には、更に、地区内からの寄付による使途指定寄付によって資金が提供されている冠名奨学金や奨学金基金の使用可能な金額も示してあります。*

***注記：**奨学金基金からの奨学金は、毎年自動的に提供されるわけではなく、その年に奨学金の金額の資金を提供するのに十分な収益が生じた時にのみ提供可能になります。奨学金基金からの奨学金が提供されることを広報するのは、財団からその奨学金が支給できるという連絡をはっきり受けてから行なうようにしてください。

地区は使用できるDDFの一部分を教育プログラムの分野に配分し、国際親善奨学金や大学教員のためのロータリー補助金へ資金を提供することができます。教育プログラム分野への配分は、一括された金額で配分されます。例えば、2004-05プログラム年度のために、地区が2件の1学年度国際親善奨学金を授与したい場合は、教育プログラム分野に米貨50,000ドル配分することが必要です。

同時に、地区は、地区が2件の奨学金を提供するので各クラブはそれぞれの奨学金につき一人の候補者を推薦してほしいという旨を各クラブに広報することが必

要です。インタビューの時点で、最優秀の2人の候補者のうち一人が別の種類の奨学金を希望していることが地区に明らかになった場合、選択された奨学生をスポンサーするのに必要な金額が教育プログラム分野に配分されたDDFの金額を超えない限り、地区は最初の計画に束縛されることはありません。地区ガバナーまたは地区財団委員会委員長に相談して、教育プログラム分野に配分するためのDDFの金額を決定してください。

寄贈奨学金

奨学金の寄贈を通じて、地区は、世界各地のロータリアンを奨励し、低所得国100カ国の奨学生のために教育の機会を増加させ、国際親善奨学金プログラムの重要な目標の1つを達成するのに協力できます。奨学金の寄贈は、寄贈地区と受領地区が合同選考手続に参加することで、両者の間の協調関係を活発にすることにもなります。

貴地区が寄贈奨学金の受領地区である場合は、ガバナーと奨学金委員会委員長に3月(申請書提出締切りの約6ヵ月前)に連絡が送られます。貴地区が寄贈奨学金を受け取った場合は、貴地区は寄贈地区と連絡を取り合ってその奨学金に適切な候補者を選ぶことが必要です。特に、奨学金候補者の面接および選考は、(寄贈地区によって設けられた制限に基づいて)、受領地区(すなわち、寄贈された地区)が行ないます。申請書は、優秀な候補者選考のために寄贈地区に提出されます。受領地区は、候補者が、寄贈地区により課せられた条件に見合っているか確認し、面接を行い、選考します。また寄贈奨学金を成功させるために、寄贈地区へ提出します。優秀な候補者の申請書は、受領および寄贈両地区が署名し、10月1日までにロータリー財団に提出されなければなりません。

新設された低所得国のための奨学金基金プール

地区がシェア配分の決定を行う際に、低所得地域の候補者にのみ全ての奨学金が授与されることになる、低所得国のための奨学金基金プールにいかような金額でも寄付できるオプションが設けられています。現在、国際親善奨学生の11%(150名以下)の奨学生が、毎年、低所得国から派遣されているに過ぎません。それ故、全ての地区は、低所得地区も含め、地区財団活動資金(DDF)からいくらか寄付することが奨励されています。共同資金から提供される奨学金は、職業研修奨学金および3ヵ月から6ヵ月の実際に手を使った実習を含め、どの種類の奨学金のためにも、世界競争制に基づき、授与されます。

2003-04年度を通じての試験的プログラムである低所得国のための奨学金基金プールは、地区が少額を活用し、もっと地区財団活動資金(DDF)を使用する方法を提供します、もしも地区が奨学金の1口全額を寄付する余裕がない場合に、少額を寄付することで同じ目標が達成できるオプションをもつことになります。

奨学金の推進

小委員会は、ロータリー・クラブを奨励し年度を通じて有資格の候補者を探し、地区内の単科大学、総合大学、企業、職業訓練専門学校、民間団体に連絡し、応募できる奨学金の種目を公表することが必要です。もしもあれば、貴地区のウェブサイトに奨学金の所要事項を掲載して下さい。

パンフレット「ロータリー財団国際親善奨学金」(132-JA)は、応募者にプログラムの内容を説明するものです。このパンフレットは、また、ポスターとして掲示板に展示できるようになっています。奨学生のための広報の機会(259-JA)は、奨学金プログラムの推進と提供される奨学金についての指針が掲載されています。奨学金小委員会は、また、年度を通じて、資格ある候補者を探すように、ロータリー・クラブを奨励しなければなりません。

資格ある候補者の選考

奨学金小委員会は、「ロータリアンのためのプログラム指針」(012-JA)を読んでおく必要があります。この出版物は、地区とクラブが、最良の候補者を選ぶのを助けるために必要な情報を提供するものです。更に、奨学金プログラムにおける変更についての重要な最新情報を含んでいます。

基準

- 候補者は、大学あるいは単科大学において少なくとも2年間の教科課程を修了しているか、あるいは高校教育を終了し奨学金が開始される時点で、少なくとも2年間、一般に認められている職業に従事したことがなければならない。
- 候補者は、指導力の可能性を実証し、ロータリーのために卓越した「親善使節」でなければならず、またプログラムの目的(第19ページ参照)を理解し、支持するものでなければなりません。奨学生を選考するための基準には、候補者の率先能力、熱意、適応性、言語能力、学業成績、目的意識と云った資質がある。
- 特別な専門分野を選択する、あるいは低所得国で学ぶことに興味を持つ候補者に優先権を与えることができる。
- 候補者は、奨学金の支給額の上限額についてよく理解しておくべきである。
- 通常、候補者は、ロータリー・クラブが存在する国の国民でなければならない。
- ローターアクターは資格をもち、申請が奨励されている。
- 申請者は、ロータリアン、名誉ロータリアン、ロータリー・クラブ、地区あるいはその他のロータリー関係組織または国際ロータリーの職員、その配偶者、直系親族(血縁による子または孫、入籍している養子)、その配偶者、および前記各項の現存者の直系尊属(両親あるいは祖父母)であってはならない。

申請手続

小委員会は、申請書を審査し、面接を行い、地区の奨学金候補者を選びます。面接に当たっては、候補者の全般的な資格と外国語の能力を確認しなければなりません。当該外国語に堪能な人に面接を依頼しなければなりません。各申請書が、漏れなく、正確に記入されているかどうかを確かめるのは、小委員会の責任です。

補欠候補者が選ばれている場合は、その申請書は、必要になるまで、地区レベルで保管しておく必要があります。正候補者が、2003年2月1日以前に2003-04年度の奨学金を辞退した場合、地区は連絡を受け取り、同じプログラム年度の同じシェア・オプションのために補欠候補者の申請書を提出します。2002-03年度の奨学生が2003年2月1日以降に、奨学金を辞退した場合は、この奨学金のために確保されたDDF資金は、将来の奨学金として地区に戻されます。

奨学金小委員会が、教育プログラムへのDDFの配分に基づいて候補者の数と種類を適切に選んだなら、申請書上で、地区ガバナーと小委員会委員長は、地区の候補者の推薦を承認しなければなりません。

地区の選考結果は、全ての候補者とその提唱クラブに知らされなければなりません。正候補者には、現段階では、地区の推薦の確認を受けたに過ぎず、奨学金を授与されたわけではないことを伝えてください。補欠候補者には、管理委員会が、正候補者を不適格と見なすか、あるいは正候補者が奨学金を辞退した場合に限り、考慮される旨を伝えなければなりません。奨学金の授与が確定した時には、ロータリー財団から、12月15日以前に、奨学生に連絡します。

国際親善奨学金の申請手続		
申請段階	2003-04年度	2004-05年度
申請書類が地区へ配布	2001年11月	2002年11月
地区がクラブへ申請書を配布し、提出の締切期日について通知する	2001年12月-2002年2月	2002年12月-2003年2月
奨学金申請者からの申請書のクラブ提出締切期日	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日 — 通常、2002年3月以前ではなく、2002年7月15日以降であってはならない	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日 — 通常、2003年3月以前ではなく、2003年7月15日以降であってはならない
クラブ推薦申請書の地区への提出締切期日	締切期日は各地区により個々に設定される	締切期日は各地区により個々に設定される
地区推薦申請書の国際本部への提出締切期日	2002年10月1日	2003年10月1日
管理委員会により承認された申請者は、奨学金の確認書と指定研究機関からの確認通知書を受け取る	2002年12月15日	2003年12月15日

スポンサー地区の顧問ロータリアン

提唱クラブの会長は、各正候補者に対し1人のスポンサー地区の顧問ロータリアンを任命し、その任命した顧問に関する情報を候補者の奨学金申請書に明示しなければなりません。スポンサー地区の顧問ロータリアンは、以下のことを行なう責任を有しています：

- 奨学生に連絡し、個人的に会合する。
- 奨学生が、組織としてのロータリー、ロータリー財団の目標、国際親善使節と奨学生としての自らの責務について、よく理解しているようにする。
- 奨学生と共に、地区または多地区合同のオリエンテーションに参加する。
- 奨学生が、地元のロータリー・クラブ例会や地区の行事、その他のロータリーの行事に参加できるように手配する。
- 奨学生がロータリー財団の奨学金の支給に関する方針を理解するよう、奨学金の金銭的側面を検討する。
- 奨学生が、ホスト地区の顧問ロータリアンと知り合いになれるよう、彼らが手紙のやり取りをできるよう助力する。

注記：地区の役員と協力して、あるいは多地区合同の活動の一環として可能な場所で、海外へ留学する全奨学生の適切なオリエンテーション・プログラムを実施しなければなりません。そのオリエンテーション・プログラムを企画、実施についての詳細は、「ロータリアンのための奨学金指針：国際親善奨学金および大学教員のためのロータリー補助金」(012-JA)を参照して下さい。多地区合同オリエンテーションのための補助金がロータリー財団を通じ用意されています。

国際親善奨学生の責務

全ての奨学生は、下記の事項を推進することが義務付けられています：

- ロータリー財団の使命の遂行にあたり、国際親善奨学金プログラムの目的を支援しなければならない。

- 全ての奨学生は、海外留学を通して、奨学生は、ロータリーと、自国にとっての、非公式の親善使節としての役割を果たし、国際理解を深めることであることを理解しなければならない(マルチ・イヤー奨学金の受領者のみが、学位修得のためのプログラムに在籍することを義務づけられる)。
- 出発前に全ての必要書類を定められた日時までに整え、正式な受諾書式に規定されている奨学金の条件に従う。

派遣奨学生のためのオリエンテーションが実施される場合は、それに出席すること。出席できない場合は、その代わりとなるオリエンテーション・セミナーに出席するよう手配しなければならない。正当な理由なくして欠席した場合は、奨学金の受領資格が喪失される恐れがある。

- 奨学生は、出発前に提出すべき書類をすべて締切りまでに提出し、正式の受諾書に説明されている通りの奨学金の条件に従わなければならない。
- 候補者は、管理委員会によって指定された場所のどこにでも留学する用意ができていなければならない。
- 候補者は、奨学金の金額を超える費用は、全て自費で賄わなければならない。
- 奨学生は、様々なロータリー関係の聴衆やロータリー以外の聴衆の前でスピーチを行い、自国や外国で、報道陣からのインタビューに答え、奉仕活動に参加しなければならない。

ホスト地区顧問ロータリアンの役割

地区ガバナー・エレクトは、奨学生が留学国へ到着する前の数ヶ月前、ホスト地区の顧問を任命するよう要請されています。ホスト地区の顧問ロータリアンの任務は、以下の通りです：

- 奨学生が到着する十分前に連絡を取る。
- 留学先の地区での下宿や学生寮について奨学生の相談にのり、必要ならば、指定教育機関での申請書／入学手続きに力を貸す。
- 奨学生を航空まで迎えに行き、奨学生が留学国に順応するのを助ける。
- 地区または多地区合同オリエンテーションに奨学生と共に出席する。
- 親善使節としての目標を立てる(奨学生は、ロータリー・グループと、ロータリー以外のグループの両方を訪問し、他のロータリー・プロジェクトに活発に参加しなければならない)。
- 奨学生に、1学年度が始まってから2ヵ月後に、報告書を提出するように知らせる。
- 奨学金の支給方針を検討し、奨学金の使用状況を監視する。特に、大学への授業料や手数料の支払いなど。第1回めの奨学金の支払いは、ホスト地区の顧問ロータリアンに送られ、奨学生が到着した後に手渡すことになっている。第2回目めの奨学金の支払いは、全ての必要な書類がロータリー財団に届いた後、奨学生に直接送られる。(注記：文化研修のための奨学生は、支払いを受け取るのは、普通1回限りである)。

注記：文化研修のための国際親善奨学生が貴地区に留学する際には、財団は、語学学校が行なうことができない場合は、貴地区に、奨学生のためにホームステイの家庭を見つけてもらうように依頼することがあります。研究グループ交換プログラムと、RI青少年交換プログラムの場合と同様、文化研修のための国際親善奨学生にとっては家庭に滞在することが国際的経験の重要な側面であると見なされます。

国際親善奨学生の帰国時において

スポンサー地区の顧問ロータリアンは、最近帰国した奨学生を歓迎し、奨学生が、地区学友委員長と連絡を取れるように取り計らうことが必要です。帰国した奨学生には、自らの経験を分かち合うために、スピーチを行なうよう依頼するべきです。スポンサー地区の顧問は、また、奨学生がロータリー以外のグループでも講演するようなスケジュールを組むのを助け、ロータリーの地区大会に出席するよう招待しなければなりません。

また、仮に地区が派遣した財団学友がスポンサー地区以外に居住するようになっても、奨学金プログラムの学友とは末永く連絡を保つ努力が続けられなければなりません。ロータリーアクトに入会を勧誘し、ゆくゆくはロータリー会員となるよう招待する考慮がはらわれなければなりません。

大学教員のためのロータリー補助金

大学教員のためのロータリー補助金は、開発途上国(自国以外の)の大学で教鞭を取る高等教育の教員に対して授与されます。この補助金の目的は、低所得国の高等教育を強化しながら、国際理解を深め、開発を推進することです。ホスト国の人々の役に立ち、社会経済の発展に貢献する実用的分野を教えなければなりません。

シェアを通して、地区は、この補助金に、地区財団活動資金を割り当てることができます。2つの種類の補助金が支給されています：

- 3ヵ月から5ヵ月の奉仕期間のための米貨12,500ドル
- 6ヵ月から10ヵ月の奉仕期間のための米貨22,500ドル

補助金受領者は、ホストとなる教育機関との間での手配をし、該当する場合は、現職からの休暇を得ることも、自分で責任を持って行なうことが必要です。

地区が申請できる大学教員のためのロータリー補助金の件数

毎年11月に、地区は、財団プログラムへの参加に使用できる地区財団活動資金(DDF)の金額の合計についての情報が記載されたシェア・システム配分報告書を受け取ります。地区は使用できるDDFの一部分を教育プログラムの分野に配分し、国際親善奨学金や大学教員のためのロータリー補助金へ資金を提供することができます。

そうした配分は、一括された金額で配分されますが、地区が提供したい補助金の種類と数を反映した金額でなければなりません。例えば、2003-04プログラム年度のために地区が2件の3ヵ月から5ヵ月の大学教員のためのロータリー補助金を授与したい場合は、教育プログラム分野に米貨25,000ドル配分することが必要です。同時に、地区は、それぞれの奨学金につき一人の候補者を推薦してほしいという旨を各クラブに広報することが必要です。地区ガバナーまたはDRFC委員長に相談して、教育プログラム分野に配分するためのDDFの金額を決定してください。

低所得国の地区は、これまで、それぞれの地域社会に大学教員を受け入れることに関心を表明してきましたが、どうやって他の地区に自地域のニーズを知らせたらいいのか模索してきました。低所得国の地区は、シェア・システムを通じて、他地区へ大学教員補助金を「寄贈」することで、地元の大学で奉仕する大学教員を招聘するオプションがあることを認識しなければなりません。「寄贈」地区は、地区財団活動資金(DDF)を通じ補助金を支払い、パートナー地区が、寄贈地区における具体的な教育指導のニーズを取り上げることができる大学教授を探します。

大学教員のためのロータリー補助金の推進

小委員会は、ロータリー・クラブが年度を通じて有資格者を探すよう奨励し、この補助金が提供されていることを広く広報するために、各種大学の各種学部に連絡をとることが必要です。もしもあれば、貴地区のウェブサイトにも奨学金の所要事項を掲載して下さい。

開発途上国で奉仕する大学教員のためのロータリー補助金パンフレット／申請書(193-JA)が、申請希望者に対してプログラムを説明しています。このパンフレットは、掲示板に表示できるポスターとしても使用でき、申請書が含まれています。

資格ある候補者の選定

小委員会は、ロータリアンのための奨学金指針：国際親善奨学金および大学教員のための補助金(012-JA)を精読しなければなりません。この指針は、地区およびクラブが最も優れた候補者を選考するために役立つ用具となります。それには又、大学教員プログラムの変更に関する最新の情報が含まれています。

基準

- 候補者は、補助金を使用される以前に単科大学/総合大学の教職員として少なくとも3年間奉職した経験があり、学問上の優れた経歴がなければならない。
- ロータリアン、その親類、およびロータリアン以外の人も高等教育機関において常勤で3年間の教職経験があれば大学教員補助金を受領する資格があります。ロータリアンは、奉仕活動を実施していることで資格がある。
- 通常、候補者の住居および予想されるホスト国に少なくとも1つロータリー・クラブがなければならない。
- ロータリーの大学教員は、ホスト国の実際に役立つ学問分野を教え、その国の社会経済的な発展に寄与しなければならない。
- 候補者は、指導能力の可能性を実証し、またロータリーの優れた親善使節となり、率先能力、熱意、適応性および目的意識と云った資質を発揮しなければならない。
- 候補者は、志望ホスト国の言語に堪能でなければならない。

大学教員のためのロータリー補助金申請手続		
申請段階	2003-04年度	2004-05年度
申請書類が地区へ配布	2001年11月	2002年11月
地区がクラブへ申請書を配布し、提出の締切期日について通知する	2001年12月-2002年2月	2002年12月-2003年2月
奨学金申請者からの申請書のクラブ提出締切期日	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日一通常、2002年3月以前ではなく、2002年7月15日以降であってはならない	地区の締切に基づきクラブにより設定された締切期日一通常、2003年3月以前ではなく、2003年7月15日以降であってはならない
クラブ推薦申請書の地区への提出締切期日	締切期日は各地区により個々に設定される	締切期日は各地区により個々に設定される
地区推薦申請書の国際本部への提出締切期日	2002年10月1日	2003年10月1日
管理委員会により承認された申請者は、確認通知書を受け取る	2002年12月15日	2003年12月15日

スポンサー地区の役割

補助金受領者が次のことを行なうようにさせるのは、スポンサー地区の責務です：

- ・ 組織としてのロータリーについて、ロータリー財団の目的、国際親善使節としての自分の責務について理解すること。
- ・ 地区または多地区合同のオリエンテーションに参加すること。
- ・ 地元のクラブ例会や地区行事、その他のロータリーの行事に参加すること。
- ・ 補助金の金銭的側面や、報告書の提出の義務について理解すること。

補助金受領者の責務

全ての補助金受領者は、次の事項を推進することが義務付けられています：

- ・ この補助金の目的が、低所得国での高等教育を強化することを通して、国際理解を深め、開発を推進することであることを理解しなければならない。
- ・ 補助金受領者は、ロータリーと、自国にとっての、非公式の親善使節としての役目を果たす。
- ・ 補助金受領者は、出発前に提出すべき書類をすべて締切りまでに提出し、正式の受諾書に説明されている通りの補助金の条件に従わなければならない。
- ・ 補助金受領者は、補助金の金額を超える費用は、全て自費で賄わなければならない。
- ・ 依頼された際には、補助金受領者は、様々なロータリー関係の聴衆やロータリー以外の聴衆の前でスピーチを行い、自国や外国で、報道陣からのインタビューに答えなければならない。
- ・ 補助金受領者は、スポンサー地区およびホスト地区の地域社会奉仕、同額補助金、およびその他の奉仕プロジェクトに対する理解を深めるよう奨励されている。

ロータリーの大学教員の帰国時において

スポンサー地区は、最近帰国したロータリー大学教員を歓迎し、地区学友委員長と連絡を取れるように取り計らうことが必要です。帰国した教員には、自らの経験を分かち合うために、地区内のクラブでスピーチを行なうよう依頼するべきです。その教員に、ロータリー会員になるよう勧めてみてはどうでしょう。海外に旅立つ奨学生や教員のオリエンテーションに、大学教員学友を参加させ、発展途上国に行く奨学生のために、学友を有効活用し、また大学教員を、スポンサー地区とホスト地区合同の奉仕活動に参加させましょう。

参考資料

- ㊦ ロータリアンのための奨学金指針：国際親善奨学金および大学教員のための補助金 (012-JA)
- ㊦ ロータリー財団国際親善奨学金 (132-JA)
- ㊦ 国際親善奨学金申請書 (139-JA)
- ㊦ 飛び立つ用意が完了 (ビデオテープ) (024-JA)
- ㊦ 広報の可能性 (259-JA)
- ㊦ 奨学金要覧 (133-JA)
- ㊦ 国際親善奨学金プログラム— 世界平和への投資 (432-JA)
- ㊦ 大学教員のためのロータリー補助金要覧 (191-JA)
- ㊦ 大学教員のためのロータリー補助金パンフレット/ 申請書 (193-JA)
- ㊦ 国際問題研究のためのロータリー・センター・パンフレット (081-JA)
- ㊦ 国際問題研究のためのロータリー・センター・フォルダーおよび大学の概観 (082-JA)
- ㊦ 国際問題研究のためのロータリー・センター奨学金申請書 (083-JA)
- ㊦ 国際問題研究のためのロータリー・センター奨学金リーフレット (084-JA)
- ㊦ ロータリアンのための奨学金指針：国際問題研究のためのロータリー・センター (085-JA)
- ㊦ 国際ロータリーのロータリー財団の教育プログラム：平和、親善、理解を目指した50年 (431-JA)

これらの資料は世界本部の出版物注文サービス (電話847-866-4600、ファックス847-866-3276) または日本事務局から入手できます。また、国際ロータリーのインターネット・ホームページ www.rotary.org から取得できる資料も幾つかあります。

研究グループ交換小委員会



研究グループ交換(GSE)プログラムは、ロータリアン以外の事業および専門職務経験の浅い年齢25歳から40歳までの若い人々に、異なった文化と職業の交流の場を提供する機会です。チームは、4週間から6週間で外国で過ごし、自分の職業と同じ分野の活動に参加し、ホスト地区で観光や歴史を学ぶことによって異文化経験に浸り、ホスト・ファミリーや地域社会の人々と親睦を深め、クラブ例会や多種多様なロータリー活動でロータリアンと共に活動します。

研究グループ交換小委員会の主要な責任は、研究グループ交換補助金を申請し、研究グループ交換地区指導者の手引き(165-JA)に明記されている全てのプログラム指針に適い、義務事項を果たすに当たって、ガバナー・エレクト/ガバナーを支援して地区参加を成功させることです。研究グループ交換小委員会は、訪問チームの日程を計画し実施し、また派遣チームの交換活動の準備に責任をもちます。

注記：別のGSE選考委員会には、チーム・リーダーを選考する責務があります。1996年財団管理委員会の決定により、GSE選考委員会は、委員会の委員長として地区GSE委員長を、その他、直前地区ガバナー、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、3名のロータリアンを含め、各委員の任期をずらせるようにします。

GSE小委員会委員の資格基準

小委員会委員のための地区リーダーシップ・プランに設けられている最低推奨資格基準に加え、クラブ・レベルでGSEの経験を有する者を優先するようにします。

任務および責務

- GSEを申請する際に、地区ガバナー・エレクト/地区ガバナーGSEに力を貸す。
- 地区財団活動資金の配分および配布を決定する際、DRFCの協力を得る。
- GSEチームとリーダーにオリエンテーションを提供し、語学研修に必要なロータリー財団からの資金額を決定する。
- 研究グループ交換地区指導者の手引きに明記されている全てのプログラム指針および条件がすべて適うよう確かめる。
- RIウェブサイト(www.rotary.org)にある最新情報をアクセスするよう、クラブを奨励する。
- 委員会の責務を遂行するうえで、地域ロータリー財団・コーディネーターを活用する。

地区GSE小委員会の派遣および受入の具体的な責務の詳細は、33-34ページをご参照ください。

GSE補助金の種類

- **正規のGSE補助金** — 各地区は、財団への寄付の多寡に関わらず、国際財団活動資金(WF)を通じ、各ロータリー年度につき、1件の正規のGSE補助金を申請することができます。
- **追加GSE補助金** — 地区は、米貨11,000ドルの地区財団活動資金(DDF)によって、シェアを通して2番目のGSEを申請することもできます。GSE小委員会は、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、直前元地区ガバナー、地区財団委員会委員長と協力して、地区がDDFを、追加GSEの資金

とするために教育的プログラム分野に配分し、資金を割り当てるかどうか決定する必要があります。2番目の交換からの残金があれば、国際財団活動資金に充てられます。どの地区も、1年につき、2件を超えるGSEを申請することはできません。

新しいGSEのバリエーション

- **追加チーム・メンバー** シェアDDFの配分を通して、最高2人までの非ロータリアン・チーム・メンバーを追加することができる(追加メンバーひとりにつき、米貨2,000ドル、近隣諸国との交換の場合、ひとりにつき米貨1,000ドル)。
- **特別GSE** その他のチームのバリエーションに含まれるのは、単一職業や文化チーム、また、識字率向上や薬物濫用防止などの具体的な相互の関心活動に主眼を置いたチームなどがある。地区は、更に、多地区合同チームを作ることもできる。
- **隣接国GSE** 共通の国境を持つ隣接国や近くにある国の2つの地区同志の交換を含む。地区は、大幅に減少されたシェア・カタログからの費用で参加できる。
- **非ロータリー国との交換** 地区は、管理委員会の承認があれば、例外的にシェアの地区財団活動資金を使用して、非ロータリー国からのチームをGSEに参加させることができます。DDFの金額は、一般GSEの金額と同じ米貨11,000ドルである。
- **人道的GSE** 地区は、ホスト地区での人道的プロジェクトを確認するために、専門職の知識を活用できるようなチーム・メンバーを選択する。帰国後は、スポンサー・クラブを助けて、財団補助金の提案や、世界社会奉仕プロジェクトを推進する。

経費

- ロータリー財団は、最も廉価な2つの地区間の往復の旅費と、語学研修(自習、または、適切な教育機関にて)のために米貨1,000ドルまでを支給します。その他の支給金には、次のものが含まれます：
 - 低所得地区のためのGSE国内旅行費(米貨600ドルまで)；低所得の多国地区には、その地区を構成する国々の間を訪問チームが旅する際の航空料金として、米貨2,000ドルの追加分が支給されます。
 - ホスト地区における訪問GSEチームによる地区大会参加(米貨500ドルまで)
 - シェア・プログラムの強化 — オリエンテーション(米貨500ドルまで)、追加語学研修(無制限)および追加チーム・メンバー(2,000ドルまで)
- ホスト地区は、研修プログラム中の、訪問チームの食費、宿泊費、旅費を支払う。
- チーム・メンバーは、個人的出費や雑費、査証、パスポート、予防接種費用、保険料、研修時間以外の個人的な旅行などの費用は、自費で賄う。

地区が参加できるGSEの数

シェア寄贈GSE補助金

シェア・システムを通して、地区は、更に、余分のGSEを別の地区に寄贈することができます。(その場合は、寄贈地区は、受領地区との間での交換を行なうことを計画しなければなりません。)

別の地区に余分なGSE補助金を寄贈するには、次のことが必要です：

1. その寄贈GSEを受けることになる地区と連絡をとり、その地区が、参加する意欲があること、そして、交換を容易にするために寄贈GSEが必要であることを確認する。
2. 適当なDDF金額を、寄贈オプションの種類の中で、寄贈GSEオプションに割り当てる。
3. シェア決定ワークシートに、受領地区を明記する。
4. 寄贈地区が、国際財団活動資金からの正規GSEを、寄贈GSEの受領地区以外の地区との交換に使用する場合は、寄贈地区は、地区独自の余分のGSEをも、教育プログラム分野を通して割り当てなければならない。
5. 記入済みのシェア決定ワークシートを3月1日までに財団に提出する。
6. 両地区は、お互いの地区を交換希望相手地区として明記したGSE申請書を、10月1日までに、財団に提出しなければならない。

注記：地区は、1年に、2件を超えるGSEに参加することはできません。

地区の組み合わせ

地区の組み合わせに多様性を持たせるために、地区は、管理委員会が行なう制限無しの組み合わせを受け入れるように奨励されています。けれども、地区が、組み合わせを予め決めておくことを選ぶ場合は、多様な文化、言語、地域を代表するような組み合わせを考慮することが必要です。

また、地区は、次年度のために、具体的な地域のGSEを行なうために、早いうちから連絡を取り合うように奨励されています。この連絡は、交換を行なう希望を説明する手紙をいくつかの地区に送ることによって始めることができます。

資格基準

次の資格基準は、特に注意書きがなければ、すべてのGSEプログラムに該当するものです。

- チームは、4名のロータリアン以外の人々(事業あるいは専門職務従事者)およびロータリアンのチーム・リーダーから構成されます。
- 地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、あるいは直前元地区ガバナーはチーム・リーダーに含めることはできません。バスト・ガバナーは、地区のロータリアンに対しこの指導任務が提供される機会となる公開選考手続が取られ、またもしもバスト・ガバナーが交換活動において特別な必要条件(言語、職業、あるいはその他の必要など)ゆえに最良の候補者として選ばれるならばチーム・リーダーを務めることができます。
- チーム・メンバーの申請者は、派遣地区に居住、あるいは仕事に従事しており、社会に認められた事業および専門職務に常勤している者でなければなりません。チーム員は、年齢25歳から40歳までの海外旅行での厳しい広範囲にわたる責務を遂行し、参加者にこの交換が与える長期的な影響をもたらす数週間にわたる活動に積極的に参加できなければなりません。自分の職業が目に見えて向上されそうになかったり、その職業を今後も長い間、続けることが期待できないような候補者は、不適当な選考と見なされます。義務付けられているエッセイは、自分の職業の向上を評価する助けとするためです。GSEチーム・メンバー参加申請書(161-JA)の中にエッセイについての説明が含まれています。
- 配偶者は、同じGSEチームに同伴したり、あるいは参加することは許されていません。

- 財団が承認した組み合わせ地区のガバナー・エレクトは、各地区が2年間という時間枠の中でそれぞれのチームをいつ派遣するかを、相互に決定します。

申請手続

1. 地区ガバナー月信や、その他の方法を通して、地区のロータリアンに、提案されたプログラムについて説明する。注：地区は、GSEを考慮している場合、クラブの3分の2の承認を得なければなりません。この承認は、地区大会や協議会での決議や、郵送による投票などで、得ることができます。小委員会は、この活動のために、地区ガバナーとガバナー・エレクトを支援する必要があります。地区は、10月1日までに、GSEを申請しなければなりません(下記の予定表を参照)。この日付以降に受理された申請は、来るプログラム年度において希望する地区との組合せの可能性が少なくなります。
2. クラブの承認を得た後は、地区は、3つまで希望地域を明記して、地区GSE申請書に所要事項を記入する必要があります。この申請書は、RIウェブサイトwww.rotary.orgからダウンロードすることができます。GSEパートナーシップを、地域、文化、および言語の違いを考慮して多様化するようにします。(その前の国際協議会や、その他の方法を通して、予め連絡をとっておくことが、奨励されます。多くの地区はGSEの計画を数年前から始めているという事実、地区は留意すべきです。) 管理委員会は、これらの選択を細心の注意をもって考慮しますが、どの地区がGSE補助金を受けるか、また、どの地区が組み合わせられるかについては、管理委員会に任せてください。

注記：独自の努力でパートナー地区を探して、見つけた地区は、「独自の組み合わせ」と呼ばれるプロセスにおいて予め合意をすることになります。地区同志が独自に組み合わせを行なった場合は、申請の時点で、両地区のガバナー・エレクトは、交換の合意を得た相手地区を第1希望として明記する必要があります。他のGSE条件の全てが満たされていれば、独自に組み合わせを行なった地区は、その年度のGSEを受領できます。

3. 申請書の一部として、地区は、交換によって達成されるべき明確な目的と目標を明記します。また訪問チームのための宿泊所手配の計画を提示し、派遣チームのための十分なオリエンテーションの計画を提出しなければなりません。
4. GSE補助金の授与と、地区組み合わせについては、10月1日以降のなるべく早い時期に発表されます。地区が補助金を受けたなら、GSE小委員会は、同プログラムについての手引き書、パンフレット、チーム・リーダーとチーム・リーダー用の申請書式を受け取ります。
5. 組み合わせられた地区のガバナー・エレクトは、国際協議会で、旅行の日程や到着/出発の都市などについての予備的な合意に達するために、実際に会談する機会が得られます。更に、2年後に予定されたGSEについての暫定的な取り決めをすることもできます。

研究グループ交換申請の手順	
申請段階	日付
地区への申請書配布	7月-8月
国際本部での申請書の締切	10月1日
地区が組合せ地区の確認通知を受取る	1月
チーム・メンバーとチーム・リーダーの申請書を地区へ送付	5月

派遣地区のGSE小委員会の責務

- 相手地区のGSE小委員会と、早くから頻繁に連絡をとること。
 - ― ホスト地区からのアドバイスと協力を得て、チームの訪問の長さ（日付(4週間から6週間まで)、到着場所、出発場所を決定する。
 - ― 研究グループ交換選考委員会を組織し会合を行う。選考委員会は、委員会の委員長として地区GSE委員長を選び、直前パスト・ガバナー、地区ガバナー、地区ガバナー・エレクト、および任期をずらせた3人のロータリアンを含めなければならない。同委員会は、研究グループ交換地区指導者の手引き（165-JA）において奨励されている議決権のない顧問としてロータリアン以外の地域の指導者を含めることもできる。
- チーム・リーダーを選考する研究グループ交換選考委員会を支援する。研究グループ交換チーム・リーダー参加申請書(260-JA)を受けとる。選考されたチーム・リーダーは、xxページに示されている基準に叶っており、地区ガバナーの承認を受けなければならない。全ての補助金の条件に同意し、署名されたチーム・リーダー申請書を提出しなければならない。
- チーム・リーダーも含まれた研究グループ交換選考委員会を支援し、31-32ページの基準に従い、また地区ガバナーの承認により、チーム・メンバーの面接を行い、メンバーを選考する。
 - ― チーム・メンバーは、補助金の全ての条件に同意し、署名されたチーム・メンバー申請書を提出しなければならない。
- 各チーム・メンバーの履歴書を、出発の少なくとも3カ月前にホスト地区に送る。
- チームのための旅行要請書式は、国際ロータリー旅行担当課(RITS)またはRI指定の旅行代理店に、出発の少なくとも2カ月前に提出する。
- チーム・メンバーの申請書、健康診断書、保険加入証明書を、出発の少なくとも2カ月前に財団のGSE担当コーディネーターに送る。
- 派遣GSEチームへのオリエンテーション・プログラムと説明セッションを行い、少なくとも12時間の良く纏まったプログラムを含んでいなければならない。

受け入れ地区GSE小委員会の責務

- 相手地区のGSE小委員会と、早くから頻繁に連絡をとり、研修旅行の適当な期間についての提案をする。
- GSEプログラムを広報し、国際理解の増進と同様に、職業および指導力開発の機会という側面を強調する。
- ホスト側での日程を立てる。
 - ― 旅程は、基本的研修計画に基づき、各チーム・メンバーにとって、少なくとも5日間の、特別に計画された職業研修(チーム全体としては約20日間の研修日)を盛り込まなければならない。この職業研修で

は、メンバーは、自分の事業や職業と同じ仕事に従事している人々と、個人的に会う時間をとると同時に、適当な休息の時間をも含めることが大切である。これらの条件を満たせない場合は、最低1年の間地区はGSEプログラムに参加できなくなることがある。

- 旅程には、さらに、旅行の開始前にホテルで1日か2日の休息をとる日、毎週の間中に半日の自由時間、各週末にまる1日と旅行の途中に1日か2日、ロータリアンとの接触を持たない自由行動の日を含まなければならない。旅程には、1週間に3回を越えるロータリー・クラブ例会を含んではならない。
- 最終的な旅程は、チームの到着の少なくとも2ヵ月前までに、完了されなければならない。最終的旅程のコピーをロータリー財団、派遣地区と受け入れ地区の地区ガバナー、派遣地区のGSE小委員会、受け入れ地区の各クラブに、配布する。

GSEチームの帰国時において

派遣地区は、最近帰国したGSEチーム・メンバーを歓迎し、チームが地区学友委員会委員長と連絡できるように取り計らう必要があります。帰国したチーム・メンバーには、地区内のクラブと体験を分かち合うために、スピーチを行なうように依頼すべきです。仮に、チーム・メンバーがスポンサー地区以外に居住する場合でも、未長く、学友との連絡を保つ努力が続けられなければなりません。資格のある元チーム・メンバーには、ロータリー・クラブやローターアクト・クラブへの入会を勧誘することを考慮してみましょう。

参考資料

- GSE地区申請書 (167-JA)
- 研究グループ交換 (160-JA)
- 研究グループ交換要覧 (165-JA)
- 研究グループ交換チームの手引き (164-JA)
- 研究グループ交換チーム・リーダー参加申請書 (260-JA)
- 研究グループ交換チーム・メンバー参加申請書 (161-JA)
- 研究グループ交換—国際的専門職務推進プログラム (304-JA)

これらの資料は国際ロータリー日本事務局、または世界本部の出版物注文デスクから入手できます。電話：847-866-4600、ファックス：847-866-3276、また国際ロータリーのウェブサイトwww.rotary.orgから引き出し、入手できる資料も幾つかあります。

補助金小委員会



ロータリー財団の人的補助金は、ロータリー・クラブおよび地区を国際的な共同提唱活動に協力させ、異文化間の相互の理解を推進するものです。クラブおよび地区は、飢餓、伝染病、無知、および貧困と闘うためのプロジェクトに資金を援助する用具として人的補助金を活用するよう奨励されています。

補助金小委員会には、国際奉仕に参加する方法を開発し、ロータリー・クラブおよびプロジェクトを計画している地区プロジェクト委員会に、財団補助金について知らせる上で、クラブを補助する責務があります。

注記：2003年7月1日より、補助金小委員会は、申請書がロータリー財団に提出される前に、すべての人的補助金申請書を受け取り、その正確さを証明する責務を負うことになります。また、DRFC委員長と協力し、地区がスポンサーとなっている補助金の適切な最終報告書がロータリー財団に提出されるよう確認する責務もあります。最終報告書の提出を怠った場合、その後の補助金提案書に対する資金が地区に提供されないことになるため、この点は重要です。

委員の資格条件：

小委員会委員のための地区リーダーシップ・プランに定められている最低の推奨資格条件に加えて、財団補助金による国際奉仕プロジェクトの実施に直接貢献した経験を有する者が優先されるべきです。

また、プロジェクト・パートナーと直接意思の疎通を図ることのできる第二外国語を話す候補者も優先されるべきです。

公衆衛生、国際開発、あるいは補助金準備の分野における専門的な知識や技術が、強く求められます。

任務と責務

- 補助金委員会委員長は、加盟クラブおよび地区後援のすべての補助金申請書を審査し、財団に提出する前に、漏れなく、正確に記入されていることを証明する責務を負う。地区が証明した申請書は財団に提出することができる。但し、すべての補助金は管理委員会の最終的な承認を受けなければならない。財団によって正式に発表されるまで、プロジェクトを着手してはならない。
- DRFC委員長と協力し、地区後援の補助金プロジェクトの適切な最終報告書がロータリー財団に締切期日までに提出されるよう確認する。
- 各補助金プログラム、受領資格、申請手続について精通し、ロータリアンが財団の指針を理解できるよう助ける。
- 地区財団活動資金（DDF）の配分と配布の決定にあたり、DRFC委員と協力する。
- クラブや地区と協力し、プロジェクトの恩恵を受ける地域とロータリアンの直接関与を求め、継続可能な人的プロジェクトを開発する。

- 全財団資金の明朗な会計管理を徹底させるよう奨励する。承認された補助金プロジェクトの全スポンサー並びにロータリー・ボランティア補助金受領者から、締切期以内に財団報告書を提出してもらう。
- 世界社会奉仕、職業奉仕委員会のような国際奉仕委員会と協力し、財団補助金に値するプロジェクトを探し出す。
- 人道的プログラム分野へ配分されるすべてのDDFを十分に活用させるために、クラブと地区の役員と協力する。DDFがどのプロジェクトに配分されたか、また、どの補助金が承認されたかの正確な記録を維持する。
- ロータリー・ボランティアのための補助金の受領者や、マッチング・グラントおよび3-H補助金の連絡担当者や、国際開発に携わっている地元の団体などから興味深い講演者を探すのにクラブを助ける。
- 地区が関与しているプロジェクトに援助を提供する。地区ガバナーが承認されたマッチング・グラントまたは3-H補助金プロジェクトの進捗を監視するのを補助する。
- ロータリー・ウェブサイト(www.rotary.org)の最新情報をアクセスするよう、クラブを奨励する。
- 委員会の責務の遂行に当たり、ロータリー財団地域コーディネーターを活用する。

国際的な共同提唱者と協力活動

1. 国際大会への参加を計画している地区のロータリアンは、地域の地区/クラブの考慮している実施が見込まれるプロジェクトについて認識しておくべきです。大会期間中、地元のロータリアンは、プロジェクトの協同活動の可能性を他の大会参加者と協議することができます。
2. もしもクラブが多国地区の一部である場合、そのクラブ会員たちは、自分らの地区大会において実施が見込まれるプロジェクトの国際的な共同提唱者を探することができます。
3. 研究グループ交換訪問は、合同の国際奉仕プロジェクトを探し出す機会を提供してくれます。
4. 世界社会奉仕(WCS)プロジェクト交換は、世界の異なった地域のクラブおよび地区の間においてプロジェクトに関する連絡を容易にしてくれます。クラブは、記入済の世界社会奉仕計画資料書式(784-JA)を提出され、プロジェクトを登録することができます。登録されたプロジェクトは、毎年2回、改訂される世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表(754-JA)に含まれます。プロジェクト交換一覧表は、RIのウェブサイトwww.rotary.orgにも掲載され2カ月毎に改訂されています。
5. 国際パートナーを業界関係、業務出張や個人的な旅行を通じ探して下さい。海外旅行時にロータリアンは、メイクアップでクラブ例会に出席しますが、他の国のロータリアンとそれぞれのプロジェクトについて話し合う機会があります。
6. 受益国以外の協力クラブあるいは地区のロータリアンは、時間と能力を提供することができます。プロジェクトの実施地で4週間乃至8週間奉仕することができるロータリアンは、往復運賃に対して補助金を受領できる資格をもち、またロータリー・ボランティア・プログラム(47ページ参照)補助金を通じて生活費を受けることもできます。

7. 定着化できる開発プロジェクトのニーズは、金銭あるいは物資の寄付を通じて異なった国のロータリー・クラブあるいは地区により叶えることができます。創意工夫にとむ募金活動の収益は、例えば、プロジェクトのために資材や供給品の購入や出荷のために使うことができます。また交際的な寄付も、同額補助金に対して資格があります(39ページ参照)。
8. 異なった国のロータリー・クラブあるいは地区は、プロジェクトに参加しているロータリアンとロータリー以外の奉仕団体あるいは政府機関の連絡責任者として行動することができます。

プログラム

人道的国際奉仕プロジェクトのためのマッチング・グラント

マッチング・グラント・プログラムの急速な発展に呼応して、ロータリー財団管理委員会は、2001年10月の会合において、ロータリアンがより申請しやすいように、人道的補助金プログラムの新構造を採択しました。人道的補助金プログラムは、ロータリー・クラブが地元および国際地域における人々の基本的なニーズに取り組むプロジェクトを支援する目的で開発されるものであると、管理委員会は合意しました。更に管理委員会は、財団が支援するプロジェクトが、次のようであることに合意しました：

1. ロータリアンを積極的に直接参加させます。
2. 様々な国々のクラブが、プロジェクト実施地でロータリー・クラブがプロジェクトを実施するために協力し合う際に、ロータリーのネットワークを強化するのを援助します。
3. 四つのテストと責任ある会計の監督を反映した資金（世界各国からの任意寄付による）管理への専心を示します。
4. ロータリー・クラブが地元地域で見極めた人道的ニーズに取り組み、継続して発展していくことを目標とします。

管理委員会は、更に、人道的補助金の新しい構造を採択しました。これは2003年7月1日有効となります。本手引きが印刷に回された時点では、新しい補助金の構造の実施計画が練られており、2002年4月の管理委員会会合において検討されることになっていました。財団人道的補助金は、新しく3つの主要部門に分けられました：

- 地区補助金
- 個人向け補助金
- マッチング・グラント（大小共）

新人道的補助金の構造の概要

プログラム	地区補助金	個人向け補助金	マッチング・グラント	
			大	小
目的	ロータリアンが、さまざまな地元または国際的な奉仕プロジェクトを始めるために、地区財団活動資金(DDF)を早急に活用できるようにする。	ロータリアン個人あるいは数人のロータリアンから成る小グループに、短期の国際ボランティア奉仕、または国際奉仕プロジェクトを企画するための旅行用の資金を提供する。	継続して発展してゆける幅広い国際プロジェクトを支援する。	
申請者	地区のみ毎年地区は、DDFの一部をどのように使用するか、計画をロータリー財団に提出する。地区は、事前に受領補助金の手続を確認するよう要請されている。地区は、計画が財団によって承認された時点で、資金を受領する。	ロータリアン個人あるいはロータリアン小人数グループ	ロータリー・クラブ	ロータリー・クラブおよび地区
資金源	DDF	国際財団活動資金 カールP. ミラー基金	国際財団活動資金	国際財団活動資金
同額補助	なし	なし	財団が国際財団活動資金から提供する補助金 1. DDF (1対1) 2. 現金寄付(1対0.5)	財団が国際財団活動資金から提供する補助金 1. DDF (1対1) 2. 現金寄付(1対0.5)
承認手続	非競争制 (RI事務総長に委任)	非競争制 (RI事務総長に委任)	非競争制 (RI事務総長に委任)	米貨25,000ドル以下；非競争制； 米貨25,001ドル以上 一管理委員会による承認
国際的領域	パートナーシップの必要なし	ボランティアは、「ホスト」ロータリー・クラブの招きにより、自国以外の国で奉仕しなければならない。	国際パートナーが必要	国際パートナーが必要
最低支給額	なし	なし	なし	米貨2,001ドル
支給額の上限	DDFの20パーセント	個人に対し米貨3,000ドル グループに対し米貨6,000ドル（航空運賃を含む）	米貨2,000ドル	米貨150,000ドル
補助金の数の制限	年間に1地区につき1件	事務総長推薦数に限度あり	事務総長推薦数に限度あり	事務総長推薦数に限度あり
その他	各ロータリー年度末に、各地区が資金使途を報告。報告書が未提出の場合、あるいは資金の使途が不適切とみなされた場合、地区に資金が提供されなくなる。		簡潔な2ページの申請書	

新しい補助金構造の実施計画が、管理委員会によって最終的に承認された時点で、その詳細の説明が地区に送付されることになります。

人道的な国際プロジェクトのためのマッチング・グラント

マッチング・グラントは、ロータリー財団の使命の推進に寄与し、人々の生活の質を高める方法として、ロータリー・クラブと地区が、他国のロータリアンと協力して、世界社会奉仕人道的プロジェクトを実施するのを助けます。補助金は比較的小規模で1回限りのプロジェクトに資金を提供するもので、プロジェクトの完了の後も自立的に継続していけるプロジェクトが特に優先されます。

注記：2002年7月1日より、財団は承認されたマッチング・グラント・プロジェクトへのスポンサーからの現金寄付に対し50パーセントの補助金を提供します。承認されたマッチング・グラント・プロジェクトへのスポンサーからのDDF寄付に対しては、これまで通り1対1のマッチング・グラントが提供されます。

外国との接触の無いクラブや地区は、ロータリーの世界社会奉仕プロジェクト交換一覧表(754-JA)を活用して(36ページの4を参照のこと)、支援を必要としている具体的なプロジェクトについて調べることが奨励されています。具体的なプロジェクトを選択した後は、スポンサーは、マッチング・グラントを申請することによって、資金を増やすことができるようになります。

受領資格基準

- マッチング・グラントは、以下の基準を満たしていることが必要です。
 - ニーズのある地域社会に恩恵を与える人道的な条件内容に取り組むもの、あるいは地元や他団体によって既に取り組まれているものでなければならない。プロジェクトは、6人以上の個人および恩恵を受ける地域社会全体を直接的に助けるものであることが明らかでなければならない。
 - ロータリアンによる積極的な参加なければならない。プロジェクトは、少なくとも2カ国の協力クラブ/地区による合同の共同提唱活動でなければならない。プロジェクト国および国際援助国の地元クラブ/地区の会員は、プロジェクトの実施と監視活動を積極的に援助しなければならない。プロジェクト国の連絡担当者は、提唱国の連絡担当者と密接な連絡を保ち、提唱者側の言語に堪能でなければならない。
 - ロータリー財団、国際ロータリーに対し、補助金の金額を支払うこと以外に何の責任をも負わせないこと。
 - 同じ申請者がこれまでの5ロータリー年度以内に既にマッチング・グラントを受領したことがある他のどのプロジェクトとも明確に異なる(例、異なった種類あるいは分野)ものでなければならない(これは、異なった別の地域社会に恩恵をあたえる成果のあったプロジェクトの繰り返しを妨げるものではない)。
- マッチング・グラントは、以下の事項のために使用することはできません。
 - プロジェクトは、個人が、学位を取得したり、上級専門教育を受けたり、セミナー、大会、国際交換プログラムなどに参加したりするのを助けるものであってはならない。教育的研修を含むことはできるが、研修は、短期的なもので、基本的教育のニーズのみに応えるものでなければならない。
 - 現存する財団あるいは他のロータリー提唱プログラムと重複してはならない。
 - 恒久基金、信託、あるいは利子の付く口座の設置。補助金プログラムは、回転ローン資金の設置を含んでもかまわない。但し、このよ

うな補助金は、ロータリー財団からは最高米貨10,000ドルに限られ、研修と、資金の小切手での受領の詳細なスケジュールが含まれていなければならない。

- 次の人々は、直接的受益者となってはならない：ロータリアン；クラブ、地区、その他のロータリー組織、国際ロータリーの職員；生存中のロータリアン、または、ロータリー職員の、配偶者、直系親属(血縁または入籍した子および孫)；直系親属の配偶者；直系尊属(血縁による親または祖父母)。
- 土地や建物の購入、実質的な建物*の建築
- 給与、その他の人権費の支払い(必要に迫られた、1回限りの契約による技術的専門家からの援助は除く)
- セミナー、会議、国際交換に関連する旅費**
- いずれの組織の運営費を賄うこと。

*管理委員会は、低廉簡易住宅プログラムに競争制のマッチング・グラント・プログラムを通じて引き続き資金を支給することを決定しました。これらのマッチング・グラントを通してこのような恵まれない家族のための簡易住宅の建設のための資金を受領するためには、適切なプログラムのための既存の指針に従うと同時に、その具体的な建設物のための特別の指針に従うことが必要です。マッチング・グラント・プログラムの下において、財団の補助金は、簡易住宅1軒につき、米貨1,000ドルを超えることはありません。詳細は、43ページの「恵まれない家族のための簡易住宅」の項を参照してください。

**補助金は、その旅行がプロジェクトの成功に不可欠の場合、個人の旅費に使用できます。資金は、セミナー、会議、国際交換に関連する旅費のために使用することはできません。旅費は、プロジェクトの予算の10パーセントに制限されています。

- 参加クラブ/地区からの寄付金は少なくとも財団に要請する金額と同額でなければならない。加えて、寄付金の大部分は、プロジェクト実施国以外のクラブ/地区の寄付したものでなければならない。
- マッチング・グラントは、ロータリー財団管理委員会の審査と承認を条件に、将来実施されるプロジェクトのみに支給される。補助金は、既に実施された、また現在進行中、あるいは完了したプロジェクトに対してクラブ/地区へ弁済するために使用することはできない。
- 補助金が承認されたならば、管理委員会に最初に提示された内容からずれが生じた際のプロジェクトに対する如何なる変更も、実施に先立ち書面にて財団の承認を得なければならない。
- プロジェクトの開始から、補助金はどのように使用するつもりか、どのように使われているかについての説明を詳細に記録しておかなければならない。中間報告および最終報告の提出が義務付けられている。また、プロジェクトは、1年を基盤に無作為に監査される。
- マッチング・グラント・プロジェクトが非ロータリー組織との協力で実施される場合は、以下の条件が満たされなければならない：
 - ロータリアンの実質的な参加がなければならない。またロータリーのスポンサーは、プロジェクトが、参加ロータリー・クラブや地区によって、着手され、管理され、実施されることを明確に実証しなければならない。ロータリーの共同提唱者と地元のロータリー・クラブ(該当する場合)の両方は、その非ロータリー組織が評判のよい、責任感のある組織であり、参加に同意し、資金面の審査に関連する全ての活動に全面的に協力しなければならない。

- ロータリーの共同提唱者と地元のロータリー・クラブ(該当する場合)の両方は、その非ロータリー組織が評判のよい、責任感のある組織であるという知識を持たなければならない。またその組織を推進し、その組織がプロジェクト実施国内で登録され、法に従って活動している組織であることを確かめなければならない。
- これらのプロジェクトに協力しているロータリー以外の組織は、そのプロジェクトに関わる全ての財務監査活動に参加し協力することに合意しなければならない。
- マッチング・グラントの資金は、既存のプロジェクトや、非ロータリー組織が主体になって提唱されている活動に対しては、支給されない。

注記：財団管理委員会は、1つの協力団体と共に実施されるマッチング・グラントプロジェクトは、1年に、8件までのみ支給することを決定しました。協力組織と共に実施されるプロジェクトへの申請は、先着順に承認されます。

マッチング・グラント申請手続き		
「人道的な国際プロジェクトのためのマッチング・グラント」(144-JA)には、申請手続きの説明と記入済みの申請書の見本が含まれており、マッチング・グラントの申請書に記入する前に熟読しておくことが必要です。また、記入済み申請書の見本も含まれていますので、ご参照ください。		
申請段階	申請締切期日	管理委員会の決定
財団に提出するマッチング・グラント申請書式(141-JA)に、所要事項を記入する。所要事項の記入洩れは、管理委員会が申請する補助金を考慮するに当たり、かなりの遅延をきたす。申請書が処理され、プロジェクトの開始に先立ち承認されるまでに少なくとも15週間見しておく。 申請書は、毎ロータリー年度、7月15日から3月31日までに受理される。職員は、ロータリアンと協力し、申請書を検討し、記入洩れがなく、全ての資格基準に適合しているか確認する。	米貨25,000ドル以下のマッチング・グラントの申請は、予算があれば、各ロータリー年度の8月15日から5月15日の間に受理され、授与される。 米貨25,001ドルから5万ドルまでの補助金の申請は、年に2回競争制により考慮される。 25,001ドルから50,000ドル(上限)までの補助金申請は、年に2回、競争制により考慮され、これらの高額のマッチング・グラントのために使用されるのは、毎年のマッチング・グラント予算の20パーセントが限度となっているからである。 8月1日あるいは1月1日	管理委員会は、プロジェクトの申請が資格基準と目的に適合しているかどうか、申請を承認するかどうかを判定し、また支給する補助金の金額を考慮するために審査を行う。 米貨25,001ドルから50,000ドルまでの補助金の申請について、決定は次の通り行われる：10月/11月または4月/5月の管理委員会会合

管理委員会が、申請を承認したなら、提唱者には、正式の連絡と、署名のうえ送り返す合意書が送付されます。この合意書に署名することで、提唱者は、補助金を受け、財団に対しプロジェクトの実施により起こるいかなる損害の責任をも負わせないことを約束し、管理委員会によって決定された資金管理と報告に関する方針に従ってプロジェクトを実施することに同意し、またプロジェクト完了後に報告書を提出することに同意します。この書式と、提唱者からの寄付金(該当する場合)が財団に届かなければ、補助金は送られません。

注記：提唱者としてのマッチング・グラントに対する寄付は、補助金の申請が承認されるまで、財団へ送金してはなりません。承認される以前に資金が送付されると、補助金が承認された時点で補助金の用意がない危険があり、支給手続に支障と遅延をきたします。提唱者としてのマッチング・グラントに対する寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となります。

シェアの地区財団活動資金を使用する場合

人道的プログラム分野に割り当てられている、2002-03年度シェアの地区財団活動資金(DDF)は、マッチング・グラントの提唱者側の出資額の全部または一部として使用することができます。申請書は次の条件が満たされていなければなりません：

- 地区は、提唱者側の出資額の全部または一部として地区がDDFを使用することを明記することが必要です。地区ガバナーは、DDFの使用を認可するために申請書に署名するか別に書簡を提出しなければなりません。
- シェアから資金が出資されない通常のマッチング・グラントの申請書の場合と同じ資格基準を満たしていなければなりません。
- その配分が使用できる年度(2002-03年度)中に承認されなければなりません。

恵まれない家族のための簡易住宅

財団管理委員会は、極度に恵まれない家族が人間としての根本的ニーズを満たすのに助力するため、低廉簡易住宅の建設に関する新方針を設けました。次に挙げるのは、財団により資金が提供される「恵まれない家族のための簡易住宅」についての指針です。

1. 低廉簡易住宅は、一家族専用、適切で安全な環境（洪水、地滑り、火山噴火などの影響のない地域）において安全な住居を提供するものです。
2. 低廉簡易住宅、建設地、安全な水、衛生施設の概要図と共に、電源の接続に関連する資料、およびプロジェクトの技術、財政両面における検討を促進するのに必要とされるその他すべての情報を含む総括的計画書が、低廉簡易住宅建設を支える申請書と共に要請されます。
3. 一口の補助金で最低5軒の低廉簡易住宅の建設が要請されます。これは、適切な水、衛生施設の取り付け、および管理費を最小限に抑え、節約を図るものです。財団資金の総額を費やして、一つの場所に建設が許されるのは最高50軒までです。
4. プロジェクトの経費を削減するため、低廉簡易住宅の建設にあたって、共通の壁を使用することが奨励されています。
5. すべての申請書と共に、土地寄贈者および現地責任者の双方から、プロジェクトを全面的に支援し、補助金が支給されたなら遅滞することなくプロジェクトの開始を許可すると記述された文書を添付する必要があります。
6. 低廉簡易住宅建設の初期計画において、個々の簡易住宅の建て増し並びに改造が認められることはありません。あるいは簡易住宅が建設されてから5年間は、建て増しや改造が実際に実施されることはありません。
7. 低廉簡易住宅プロジェクト資金は、合意に基づいた支払計画により分割して支払われます。第一回目の支払は、支払に関連したすべての必要書類を受領した時点で、その後は、プロジェクトの進捗を証明する写真を添付した適切とみなされる中間報告を受領した時点で、行われます。また、簡易住宅が完成し、すべての評価訪問が実施され、すべての報告書が提出され、承認されるまで、プロジェクト予算の最低10パーセントに相当する米貨5,000ドル、もしくはそれ以上の金額の支払が差し控えられます。
8. 低廉簡易住宅プロジェクトを長期間維持していく方法として、全プロジェクトの住宅維持計画を併せて実施することが奨励されます。このような計画は、個人や集団で井戸、簡易便所、屋根などの建設要素の維持と管理方法に関する研修を、提供するものでなければなりません。

資料類

- ㊦ 人道的補助金プログラム・パンフレット (130-JA)
- ㊦ マッチング・グラント申請書(141-JA)
- ㊦ 人道的国際奉仕プロジェクトのためのマッチング・グラント要覧 (144-JA)
- ㊦ 世界社会奉仕プロジェクト交換 (754-JA)
- ㊦ ロータリー財団人道的補助金申請のための指針(125-JA)
- ㊦ 国際奉仕プロジェクトを推進・管理するための指針 (126-JA)
- ㊦ 人道的プログラム：よりよい世界を築く ビデオ (118C-JA)

以上の資料および補助金小委員会が使用できる他の資料は、日本事務局か世界本部の出版物注文サービスから入手できます。電話番号：847-866-4600、ファックス：847-866-3276。申請書式はRIのウェブサイト（www.rotary.org）からダウンロードすることもできます。

世界社会奉仕助成金

世界社会奉仕助成金は、国際奉仕プロジェクトの発展させるための着手金を提供します。補助金は、そうしたプロジェクトの計画を促進するために提唱クラブあるいは地区により選ばれた個人の旅費、食費、および関連経費を賄うために支給されます。世界社会奉仕助成金は、カールP. ミラー基金あるいは地区財団活動資金(DDF)のいずれかを通じ資金が支給されます。2つの資金授与の仕組みの類似点と相違点が次に示されています：

資金の種類	カールP. ミラー基金	地区財団活動資金(DDF)
受領資格	同じ	同じ
申請書の必要の有無	有	有
申請締切期日	有	無
競争	有	無
資金支給の優先順の有無	有	無
補助金の上限額	米貨3,000ドル	米貨5,000ドル

カールP. ミラー基金を通じての世界社会奉仕助成金

世界社会奉仕カール・ミラー助成金は、元RI会長のカールP. ミラーとルース・ミラー夫人の100万ドルの基金から支給されます。管理委員会は、同基金の収益で賄いきれない多くの世界社会奉仕助成金の申請を受理します。それ故、助成金は、世界競争制で授与されます。助成金はそれぞれ、上限額米貨3,000ドルまでで、国際奉仕プロジェクトの継続あるいは将来の計画を最終化するために必要な計画立案のために、旅費および関連経費を補足するためにロータリー・クラブあるいは地区に対し提供されます。

競争制のカール・P・ミラー助成金の資金提供における優先事項は以下の通りです：

- 管理委員会は、成功する国際奉仕となる可能性のある特定のプロジェクト、あるいはスポンサーがこれまでに助成金を受領したことのあるプロジェクトとは、全く内容を異にする世界社会奉仕プロジェクトの調査あるいは立案計画を実証するものであること。
- 助成金が最大限に活用されることが推測でき、またそれぞれが特定の役割を担う適切な数の視察旅行チーム・メンバーが明示されていること。

- (協力組織のプロジェクトとしてではなく)ロータリーの積極的な関与と参画の可能性を持っていること。
- 既に初期の基礎準備は進んでおり、実際に実施地を訪問しなくとも、最大限の範囲でプロジェクトの調査が済んでいることが明示されていること。

次の特徴をもつ申請には資金支給の可能性が低くなります：

- 提唱者が以前、受理した世界社会奉仕助成金のプロジェクトの視察旅行と重複するもの。以前の補助金プロジェクトと類似した内容のプロジェクトではあるが、異なった国においての実施を提案している申請は、優先的に審査され承認される率が高い。
- 国際奉仕プロジェクトの共同提唱者を探すために他国への旅行を提案するもの。

DDFによる世界社会奉仕助成金

地区は、シェアのDDFを使用して、人道的プログラム分野に資金を割り当てて、世界社会奉仕助成金を申請することができます。そうした助成金の上限額は、米貨5,000ドルです。

- 提唱地区は、世界社会奉仕助成金申請書(198-JA)に、その補助金がDDFを使用して提供する旨を明記しなければならない。DRFC委員長は、DDFの使用を許可するために申請書に署名しなければならない。
- 地区財団活動資金(DDF)によって資金を受ける世界社会奉仕所背金申請書は、正規のシェアを通さない助成金の場合の申請資格と同じ資格を満たし、また使用できる配分がある年度中に承認されなければならない(2002-03年度)。

受領資格基準

世界社会奉仕カール・ミラー助成金とDDFによる世界社会奉仕助成金は、ロータリー・クラブあるいは地区により提唱されなければなりません：

- 視察旅行に少なくともロータリアン1人が参加しなければならない
- 申請者が過去5ロータリー年度内に既に世界社会奉仕助成金を受領したことがある他の計画立案のための視察旅行とは異なった種類あるいは分野のものであること。
- 共同ロータリー・クラブあるいは地区からのホームホスピタリティーを提供する用意がある、あるいはそれが得られない場合の理由が記載された書面による招待状がなければならない。地元のロータリー・クラブが積極的に関与できない場合、あるいは非ロータリー国の場合にその地域への計画立案の視察旅行のホストを務める協力団体の招待状が必要である。その場合、協力団体からのホームホスピタリティーは考慮する必要はない。
- 連絡担当者の所要事項を含める。
- 承認されてから9カ月以内に実施し、実施されなかった場合、助成金は取り消されることになる。また既に実施された計画立案の視察旅行のための申請は、資金の受領資格がない。
- 共同提唱者は、将来、世界社会奉仕助成金を申請する前に全ての報告義務を完了していることが義務付けられている。いかなるクラブあるいは地区も6ヶ月の期間を通じ1件以上の世界社会奉仕助成金を授与されることはない。

プロジェクトに許可されていること：

- 異なった地域社会に恩恵を与える、成果のあったプロジェクトの繰り返しは許可されるが、プロジェクトの重複は許可されない。
- プロジェクト実施国内に代わって提唱者の国において実施する計画立案のための旅行に資金を支給する場合：
 - ― 計画立案がプロジェクト実施国ではなく、提唱者の国において一層有効である旨の明確な理由。
 - ― 提案されているプロジェクトに対するホスト・ロータリー・クラブあるいは地区の熱意に関しての確固とした証拠。
- 二つの別々の地区が申請する場合に、同じ計画立案の視察旅行に対し別々の申請に資金が授与される。

注記： 会合あるいは大会への出席、姉妹クラブの締結/地区の関係を確立したり、クラブあるいは地区の募金活動として役立てるためのプロジェクトには資金が授与されることはありません。

世界社会奉仕カール P. ミラー助成金申請手続		
世界社会奉仕カール P. ミラー助成金は、毎年、2回、競争制で、以下のスケジュールで、考慮されます。		
申請書提出締切期日	10月1日	4月1日
助成金の発表	11月15日	5月15日
視察旅行を行なう期間	11月15日から6月30日まで	5月15日から9月30日まで

DDFによる世界社会奉仕助成金
DDFによって資金を受ける世界社会奉仕助成金の申請書は、該当するプログラム年度中のいつでも提出できます。

世界社会奉仕助成金のチーム・メンバーの帰国に際して

スポンサー・クラブ/地区は、最近帰国した世界社会奉仕助成金チームが、地区学友委員会委員長と連絡できるように取り計らう必要があります。帰国したチーム・メンバーには、地区内のクラブと経験を分かち合うために、スピーチを行なうように依頼すべきです。仮に、チーム・メンバーがスポンサー地区以外に居住する場合でも、未長く、学友との連絡を保つ努力が続けられなければなりません。

資料類

- ㊦ 人道的補助金プログラム・パンフレット (130-JA)
- ㊦ 世界社会奉仕助成金申請書 (198-JA)

以上の資料および補助金小委員会が使用できる他の資料は、日本事務局か世界本部の出版物注文サービスから入手できます。電話番号：847-866-4600、ファックス：847-866-3276。「世界社会奉仕助成金申請書」(198-EN)はRIのウェブサイト (www.rotary.org) からダウンロードすることもできます。

保健、飢餓追放および人間性尊重補助金(3-H)

保健、飢餓追放、および人間性尊重(3-H)補助金プログラムは、クラブや地区にとって大きすぎる長期にわたる、自主自助の草の根的な開発プロジェクトを支援するために授与されます。プロジェクトは、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的、社会的向上発展をはかることを目的としたものです。発展とは、自助につながるような能力の向上による生活の質の改善を意味します。

補助金の額は、米貨100,000ドルから300,000ドルで、2年から3年にわたって授与されます。プロジェクトの共同提唱者は、補助金の支給金額の一部が支弁される前に、補助金の総額の最低10パーセント(米貨25,000ドルを超えない金額)を寄付することが義務づけられています。

注記：2001年7月1日より、管理委員会は、資金ができるまで新しい3-H補助金を一時的に停止しました。本手引きが印刷に回った時点で、3-H補助金プロジェクトの新しい申請書は一切受け付けておりません。管理委員会は、毎年、この一時停止を検討することに合意しました。3-H補助金プロジェクトの現況に関しては、人道的補助金プログラム担当職員にお問合せください。

ロータリー・ボランティア補助金

ロータリー・ボランティア補助金は、個人に、ボランティア奉仕活動の補助金や旅費を提供して、現地の人々の生活水準を向上させるために専門的な支援が必要な所で奉仕するためのものです。

受領資格

- いかなるロータリアン、財団学友(財団奨学金あるいは補助金の元受領者)、ローターアクトーも、ロータリー・ボランティア・プログラムに登録して、国際奉仕実施地を見つけさえすれば、奉仕の資格を有していることになります。
- ボランティアは、4-8週間継続して直接奉仕を提供しなければなりません。
- ボランティアは、できれば、プロジェクトの実施地の近くのロータリー・クラブの例会に出席することが強く奨励されています。
- ボランティアは、奉仕期間の終了後1ヶ月以内に、報告書を提出しなければなりません。
- ボランティアは、奉仕期間完了後は、自国のロータリー・クラブや地域団体で、講演する機会を活用しなければなりません。

経費

- 補助金は、資格ある候補者に対し、最低エコノミークラブの往復航空料金と、一日米貨50ドルの日当を支給します。航空券は、国際ロータリー旅行サービス(RITS)を通して購入されます。
- これらの補助金は、補助金申請が承認された上で十分な資金がある場合のみ支給されます。ロータリー・ボランティアに登録してあるロータリアンが、そのまま自動的に補助金を受けられるということではありません。

ロータリー・ボランティアの申請に先立つ手続	
1.	ロータリー・ボランティア国際ボランティア登録書式(284-JA)に記入のうえ提出して国際本部のロータリー・ボランティア・プログラムに登録する。(ロータリー財団が、ボランティアを派遣したり、探したりすることはありません。)注記：全てのボランティアは、2年毎に登録し直さなければなりません。
2.	ロータリー・ボランティア国際プロジェクト実施地リスト(279-JA)、ロータリー・ボランティア援助団体名簿(288-JA)、他の非営利団体、あるいは他国のロータリー・クラブや地区を通じ奉仕地を見つける。ボランティアを求めているプロジェクト/ロータリー・クラブ/地区は、奉仕する用意がある全てのボランティアが記載されているロータリー・ボランティア国際ボランティア登録リスト(280-JA)を活用する。
3.	プロジェクト実施地の最寄りのロータリー・クラブからボランティア活動を要約した招待状を取得する。同じ実施地での奉仕期間を繰り返す場合は、各々の奉仕期間に対しホスト・クラブあるいは地区からの新しい招待状が義務付けられている

ロータリー・ボランティア申請手続	
申請段階	提出期日
1. ボランティア活動のためのロータリー・ボランティア補助金申請書に記入し、現地区ガバナーから承認(署名)を得る。	
2. 補助金申請書、招待状、履歴書を世界本部の財団に提出する。	奉仕期間の開始予定期日の少なくとも6週間前。ロータリー年度の最初の2カ月の期間中に奉仕期間の終了を希望するボランティアは、財団の職員まで連絡する必要がある。
3. ボランティア合意書、健康診断書の両書式の所要事項を記入し、署名し、財団に返送する。(両書式は、補助金が承認されたならばボランティアへ送付される)。	奉仕期間が開始される前

ロータリー・ボランティアの帰国に際して

ロータリー・ボランティアは、行った奉仕と成し遂げた業績の詳細に関する報告書を財団に提出するよう義務づけられています。スポンサー・クラブ/地区は、最近帰国したロータリー・ボランティア補助金受領者が、地区学友委員会委員長および地元の報道機関と連絡できるように取り計らうことが必要です。帰国したボランティアには、地区内のクラブと経験を分かち合うように依頼すべきです。仮に、学友がスポンサー地区以外に居住する場合でも、未永く、学友との連絡を保つ努力が続けられなければなりません。

参考資料

- Rotary Volunteers International Site List (279-EN)
- Rotary Volunteers International Resource List (288-EN)
- Rotary Volunteers International Volunteer List (280-EN)
- ロータリー・ボランティア国際ボランティア登録書式 (284-JA)
- Rotary Volunteers Handbook (ロータリー・ボランティア要覧) (263-EN)
- ロータリー・ボランティアのための補助金申請書
- 人道的補助金プログラム・パンフレット (130-JA)

ロータリー・ボランティア登録書式(284-JA)とロータリー・ボランティア要覧(263-EN)および人道的プログラム・パンフレット(130-JA)は、日本事務局あるいは世界本部の出版物注文サービスから入手できます。電話：847-866-4600、ファックス：847-866-3276。ロータリー・ボランティアのための登録書式は、国際ロータリーのウェブ・サイトwww.rotary.orgからも取得できます。ロータリー・ボランティア国際プロジェクト実施地リスト(279-JA)、ロータリー・ボランティア援助団体名簿(288-JA)、ロータリー・ボランティア国際ボランティア登録リスト(280-JA)は、年2回発行され、世界本部の人道的プログラム部から入手できます。ロータリー・ボランティア補助金申請書は、世界本部の人道的プログラム部へ連絡され入手できます。ファックス：847-866-3336。

ヘルピング・グラント

ヘルピング・グラントは、非ロータリー国でのプロジェクトや、または、プロジェクト実施地から遠いために地元のロータリー・クラブがロータリアンによる実質的な参加と監視を提供できない場合のプロジェクトに、補助金を提供します。ヘルピング・グラントは、プロジェクトが実施される国以外のロータリー・クラブや地区によって着手され、提唱され、監視されるものでなければなりません。

クラブ/地区による寄付の50パーセントに基づき、最高米貨15,000ドルまでのヘルピング・グラントが授与されます。

受領資格基準

- ヘルピング・グラントを受領するためには、プロジェクトは、管理委員会によって設定された以下の基準の全てを満たしていることが必要です：
 - 経済的に恵まれない人々に対する人道的ニーズを満たし、地元やその他の組織から得られない援助を提供するものであること。
 - 6人以上の人々を直接に助けるものであり、地域社会全体に恩恵をもたらすものであること。
 - 提唱国のロータリアンが積極的な参加し、提唱ロータリー・クラブ/地区がプロジェクトを監視する意欲のあること。
 - プロジェクトが非ロータリー国で実施される場合でも、ロータリーのプロジェクトであることが明確に示されていること。
 - 参加するクラブ/地区から財団に要請する金額の少なくとも2倍の寄付があること。クラブ/地区からの寄付金の少なくとも半分为、プロジェクト実施国以外からのものでなければならない。
 - ロータリー財団、国際ロータリーに対し、補助金の金額を支払うこと以外に何の責任をも負わせないこと。
 - 同じ申請者がこれまでの5ロータリー年度以内に既にマッチング・グラントを受領したことがある他のどのプロジェクトとも明確に異なる(例、異なった種類あるいは分野)ものでなければならない。
 - プロジェクトがロータリー国で実施される場合、地元のロータリー・クラブはプロジェクトを文書により確認し、ロータリーの活発な参加を限定する、あるいは、妨げる理由を説明しなければならない。
- ヘルピング・グラントは、次の目的のために使用してはなりません：
 - 恒久基金、信託、あるいは利子の付く口座の設置。(補助金プロジェクトは、回転ローン基金を設置することができますが、研修と借手の返済予定に関する詳細な書類を含めなければなりません)。
 - 個人の学位の取得、上級専門教育を受けたり、あるいはセミナー、大会への出席、あるいは国際交換活動への参加の援助。
 - 次の人々は、直接的受益者となってはならない：ロータリアン；クラブ、地区、その他のロータリー組織、国際ロータリーの職員；生存中のロータリアン、または、ロータリー職員の、配偶者、直系親

属(血縁または入籍した子および孫)；直系親属の配偶者；直系尊属(血縁による親または祖父母)。

- 既存の財団あるいは他のロータリー提唱プログラムの重複。(これは、別の異なった地域社会に恩恵を与えることになる、以前に成果のあったプロジェクトを繰り返すことを妨げるものではありません。)
 - 土地の購入、あるいは実質的な建物の建築。
 - 給与、その他の人件費の支払い、(必要に迫られた、1回限りの契約による技術的専門家からの援助を除く)。
 - 海外への旅費全般の支払い。そうした費用は、その旅行がプロジェクトの成功に不可欠である場合、予算の10%までを個人の旅費に使用できる。
 - いずれの組織の運営費を賄うこと。
 - 既に実施された、また現在進行中の、あるいは完了済みのプロジェクトのためにクラブ/地区への支給。
3. ヘルピング・グラント・プロジェクトが非ロータリー組織との協力で実施される場合は、以下の条件が満たされなければなりません：
- ロータリアンの実質的な参加がなければならない。ロータリーのスポンサーは、プロジェクトが、参加ロータリー・クラブや地区によって、着手され、管理され、実施されることを明確に実証しなければならない。
 - ロータリーの共同提唱者と地元のロータリー・クラブ(該当する場合)の両方は、その非ロータリー組織が定評があり、責任感のある組織であるという知識を持ち、その組織を推進し、その組織がプロジェクト実施国内で登録され、法に従って活動している組織であることを確かめなければならない。
 - ヘルピング・グラントの資金は、既存のプロジェクトや、主として非ロータリー組織によって提唱されている活動に対しては、支給されない。

注記：財団管理委員会は、1つの協力団体と共に実施されるヘルピング・グラント・プロジェクトは、1年に、8件までのみ支給すると決定しました。協力組織と共に実施されるプロジェクトへの申請は、先着順に承認されます。

ヘルピング・グラント申請手続		
申請段階	申請締切期日	管理委員会の決定
財団職員は、ロータリアンと協調し、提唱クラブ/地区が記入済のヘルピング・グラント申請書(150-EN)を検討し全ての基準に適合しており所要事項が全て記入されているか確認する。	申請書は、毎ロータリー年度、7月15日から3月31日までに受理される。職員は、ロータリアンと協力し、申請書を検討し、記入洩れがなく、全ての資格基準に適合しているか確認する。 ヘルピング・グラント申請書は、毎年8月15日から5月15日までに受理され、補助金が授与される。	管理委員会は、プロジェクトが受領資格基準と目標を満たしているか、申請書を承認すべきか、いくらの補助金を授与すべきかを決定するために申請書を検討する。

管理委員会が、申請を承認したなら、提唱者には、正式の連絡と、署名して送り返す合意書が送られます。この合意書に署名することにより、提唱者は、補助金を受け、財団にはプロジェクトの実施から起こるいかなる損害の責任をも負わないことを約束し、管理委員会によって決定された資金管理と報告に関する方針に従ってプロジェクトを実施することに合意し、プロジェクト完了後に報告書を提出することに合意します。この書式と、提唱者からの寄付金(該当する場合)が、財団により受理されるまでは、補助金は送られません。

注記：提唱者としてのヘルピング・グラントに対する寄付は、補助金の申請が承認されるまで、財団へ送金してはなりません。承認される以前に資金が送付されると、支給手続に支障と遅延をきたします。提唱者としてのヘルピング・グラントに対する寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となります。

シェアのDDFを使用する場合

2002-03プログラム年度のために人道的プログラム分野に割り当てられている、シェアDDFは、ヘルピング・グラントの提唱者側の出資額の全部または一部として使用することができます。

- 地区は、ヘルピング・グラント申請書に、提唱者側の出資額の全部または一部として地区がDDFを使用することを明記する必要があります。地区ガバナーは、DDFの使用を認可するために申請書に署名するか、別の書簡を提出しなければなりません。
- 提唱者側の出資額にDDFを使用する場合のヘルピング・グラント申請書は、シェアから資金が出資されない通常のヘルピング・グラントの申請書の場合と同じ資格基準を満たしているものでなければならず、その配分が使用できる年度(2002-03年度)中に承認されなければなりません。

参考資料

- ヘルピング・グラント申請書(150-JA)
- 人道的補助金プログラム・パンフレット(130-JA)

以上の資料および補助金小委員会が使用できる他の資料は、日本事務局か世界本部の出版物注文サービスから入手できます。847-866-4600、ファックス：847-866-3276。ヘルピング・グラント申請書(150-EN)は、RIのウェブサイト(www.rotary.org)からダウンロードすることもできます。

新人道的補助金

新人道的補助金は、世界社会奉仕や、その他の国際奉仕活動のために、ロータリー財団から地区が資金を受け取る機会を提供します。補助金は、新しく、ユニークな奉仕プロジェクトや、現存の財団プログラムの受領資格基準を必ずしも満たしていない奉仕プロジェクトを考案する自由を地区に提供するものです。新人道的補助金は、DDFからのみ資金提供されます。

受領資格基準

- プロジェクトは次の条件を備えていなければなりません：
 - プロジェクトの内容は、ロータリー財団の使命に合致したもので、ロータリーの理想にかなったものであること。
 - プロジェクトは、実証できる人道的利益を持ち、実証されたニーズを満たすものであること。
 - プロジェクトは、国際的な規模を持つものであること。例えば、DDFは、地区の自国以外の国でのプロジェクトのために使用されなければならない（多国地区内のプロジェクトのためには、例外が設けられる）。
- 地区は、少なくとも要請する補助金の金額と同等額である、DDFからの補助金の一部を新人道的プログラム分野に配分していなければならない、その金額は、米貨1,000ドルから10,000ドルの間でなければならない。
- 提供されたDDFは、土地や建物の購入、また、実質的な建物の建設(実質的な建物とは、人々が住んだり、毎日の多くの時間をそこで過ごしたり、働いたりすることができる建物のと定義される)に使用されてはならない。
- 次の人々は、プロジェクトの直接的受益者となってはならない：ロータリアン；クラブ、地区、その他のロータリー組織、国際ロータリーの職員；生存中のロータリアン、または、ロータリー職員の、配偶者、直系親属(血縁または入籍した子および孫)；直系親属の配偶者；直系尊属(血縁による親または祖父母)。
- プロジェクトは、既存のロータリー財団プログラムや国際ロータリー・プログラムと重複するものであってはならない。プロジェクトは、ユニークな違った種類の分野(過去に同じ補助金を受けたことのある奉仕分野とは異なる)のものであること。(これは異なった地域社会／人々に恩恵をもたらしたプロジェクトの反復を妨げるものではない)。
- プロジェクトには、提唱国、または、受領国で、相当数のロータリアンの参加がなければならない。
- プロジェクトは、ロータリー財団と国際ロータリーに、DDFの補助金の金額を支払うこと以外に何の責任をも負わせるものであってはならない。
- 補助金は、他の組織やそのプログラム/プロジェクトへの資金提供のために使用されてはならない。
- 補助金は、他国で直接、特定の奉仕を提供する短期のボランティアに資金を与えるために使用できる。
- プロジェクトの期間は1年を超えてはならない。
- 地区は、何件かの新人道的補助金を組み合わせて、より大きな規模のプロジェクトへの資金提供をすることはできない。
- 各地区は、1年につき3件まで、新人道的補助金を申請できる。
- 各地区に対して同時に承認される新人道的補助金は2つのみである。前回の新人道的補助金の最終報告と財務記録が提出されなければ、次の新人道的補助金への支払いは行われない。

新人道的補助金申請手続	
申請段階	管理委員会委員長の決定
新人道的補助金申請書(128-JA)に記入のうえ財団へ提出する。申請書は、地区ガバナーあるいはプロジェクトが実施される年度に職務遂行にあたるガバナー・エレクトの署名がなければならない。	管理委員会は、プロジェクトが受領資格基準と目標を満たしているか、申請書を承認すべきか、いくら補助金を授与すべきかを決定するために申請書を検討する。

申請が承認されたなら、提唱者には、正式の連絡、合意書、および、補助金の支払いが送られます。この合意書に署名することにより、提唱者は、補助金を受け、財団にはプロジェクトの実施から起こるいかなる損害の責任をも負わないことを約束し、管理委員会によって決定された資金管理と報告に関する方針に従ってプロジェクトを実施することに合意し、プロジェクト完成後に報告書を提出することを合意します。

参考資料

- 新人道的補助金申請書(128-JA)
- 人道的補助金プログラム・パンフレット(130-JA)

以上の資料および補助金小委員会が使用できる他の資料は、日本事務局か世界本部の出版物注文サービスから入手できます（847-866-4600、ファックス：847-866-3276）。新人道的補助金申請書はRIウェブサイト（www.rotary.org）からダウンロードすることもできます。

地域社会援助補助金プログラム

地域社会援助プログラム(CAP)は、ロータリー財団の世界理解および平和の目的を推進する方法の一つとしてロータリアンに地元地域社会あるいは自国内においてプロジェクトを実施するためにDDFを活用する機会を提供します。本プログラムは、2004年まで試験的プログラムとして実施されることになります。

各地区は、地域社会援助プログラムのプロジェクトに資金を充当するために人道的プログラム分野のためにシェア配分の一部を活用する選択肢があります。地区は、その前年度の年次寄付の最高10%を使用でき、米貨10,000ドルが最高額となります。例をあげますと、もしも地区の年次寄付が前年度に米貨100,000ドルあり、人道的プログラム分野に米貨10,000ドルを配分したとしますと、地域社会援助プログラム(CAP)のために米貨10,000ドルまで使用することができます。

地区は又、数次の補助金の配分を決定することができます。地区に米貨1,000ドル以下しかない場合は、そのロータリー年度において補助金1口に限定されます。

受領資格基準

各地区は、地域社会援助プログラムを通じ資金を受領することを提案したプロジェクトを選出する仕組みを設置することが期待されています。資金を受けるために、地域社会援助プログラム・プロジェクトは、次のことを満たさなければなりません：

- ロータリー・クラブおよび地区が存在する地域社会に違いをもたらし、また恵まれない人々の生活を向上する。
- 一度限りのロータリー提唱の地域社会奉仕活動で、ロータリアン個人の積極的な参加と関与があると云った一般の認識を高める。

- 次の人々は、プロジェクトの直接的受益者となってはならない：ロータリアン；クラブ、地区、その他のロータリー組織、国際ロータリーの職員；生存中のロータリアン、または、ロータリー職員の、配偶者、直系親属(血縁または入籍した子および孫)；直系親属の配偶者；直系尊属(血縁による親または祖父母)。
- 他の団体が主体となり提唱している実施中のプロジェクトや活動、あるいはその団体の運営費として資金を使用してはならない。
- 旅費、給与、あるいはその他の管理運営費に使用してはならない。
- ロータリー財団と国際ロータリーに、DDFの補助金の金額を支払うこと以外に何の責任をも負わせるものであってはならない。
- 既に開始あるいは終了したプロジェクトの申請者への弁済に使用してはならない。
- 土地や建物の購入、また、実質的な建物の建設に使用してはならない。資金は、建設および改修についての財団の方針に準拠し使用されなければならない。
- 現在実施中のロータリー・クラブあるいは地区のプロジェクトに使用してはならない。これは、他の地域社会に恩恵をもたらす成功を収めたプロジェクトの反復を妨げるものではない。

プロジェクトの補助金授与

地域社会援助プログラム(CAP)補助金を受領するプロジェクトは、支払いを受けてから1年以内に完了しなければなりません。更に、

- 資金は、プロジェクトが承認される1年の間、特にプロジェクトのために設置された口座に入金しなければならない。
- 地域社会援助プログラムのための資金の全額は、現ロータリー年度に使用されなければならない。次年度に資金を累積するために繰り越すことはできない。
- 財団は、ロータリー提唱者が受領した資金の誤用を監視し、管理に当たる2人のロータリアンを任命し、また財団との連絡担当者を務めることを期待している。
- プロジェクト提唱者は、管理委員会設定の財務管理に関する指針に基づき業務にあたり、また人道的補助金プロジェクトのためにその指針と規則を適用することに同意しなければならない。
- プロジェクトの進捗報告書は補助金支給期間中6カ月毎に、最終報告書はプロジェクト終了の2ヵ月以内に提出しなければならない。

CAP 申請手続

申請書は、各ロータリー年度の9月15日から4月15日までのいつでも提出でき、その期間を通じ申請受理順に審査される。洩れなく記載された申請書は、地区ガバナーと提唱クラブの会長の署名を受け、財団の地域社会援助プログラム担当コーディネーターまで提出しなければならない。

参考資料

- ↳ 地域社会援助プログラム・パンフレット (093-JA)
- ↳ 地域社会援助プログラム申請書(116-JA)

以上の資料は、日本事務局か世界本部の出版物注文サービスから入手できます。
電話：847-866-4600、ファックス：847-866-3276。申請書式はRIのウェブサイト(www.rotary.org)からダウンロードすることもできます。

ポリオ・プラス小委員会



ロータリー財団管理委員会とRI理事会の要請で、1995年規定審議会は、ポリオ撲滅に対するロータリーの貢献を新たにし、それを、ロータリー・クラブと地区にとっての「最高の優先事項」として明確に定めました。財団管理委員会は、各地区に、地区ロータリー財団委員会の下にポリオ・プラス小委員会を任命するように要請しました。更に、管理委員会とRI理事会は、各ロータリー・クラブにも、ポリオ・プラス委員会を任命するように奨励しています。管理委員会は、このような機構が、ポリオ・プラス活動への広範囲にわたるロータリアンの参加を促すことを望んでいます。

ロータリアンの参加に関する重要な局面は、ポリオ・プラス擁護活動です。これは、2005年までにポリオ撲滅活動を証明する有益性を世界的な、各国の、およびそれぞれの地域の指導者に働きかけるロータリアンの努力活動であり、そうすることでこの目標に到達するために必要な資金的、技術的、およびその他の資金源が時宜を得て充当されることになります。擁護活動を通じて、ロータリアンは、次のことに協力します：

- ポリオ蔓延国におけるポリオ撲滅プログラムのニーズに不足が生じた場合に、緊急に特別な寄贈を行うよう寄贈見込国の資金提供組織に通知する。
- ポリオをはじめワクチンで予防可能な伝染病に対しできる限り高レベルの定期的な免疫付与の実施を維持するようポリオ蔓延国の指導者に働きかける。
- ポリオをはじめワクチンで予防可能な伝染病を駆逐する全てのプログラムに対する一般の人々の支援を得られるようその協力活動の有益性に関して広報する。

地区ポリオ・プラス小委員会には、ロータリーの誓約を支援し、全ロータリアンによるポリオ・プラス活動への参加を奨励する責務があります。各地区小委員会の焦点は、地区にポリオが蔓延しているかいないか、また、その地区または国家がポリオ撲滅過程のどの段階にあるかによって異なります。

委員の資格基準

地区リーダーシップ・プランで規定された最少推奨資格規準の他、クラブレベルにおけるポリオ・プラス・プログラムの経験を有する個人を優先させます。

ポリオ・プラス小委員会には、少なくとも3名の地区ロータリアン、少なくとも1名の委員会に職業的な関連（公衆衛生、市場開発、輸送など）をもつ委員を含むようにします。一貫性を持たせるために、数年間の任期で任命し、それぞれの委員の任期をずらせます。各地区小委員会の焦点は、地区にポリオが蔓延しているかいないか、また、その地区または国家がポリオ撲滅過程のどの段階にあるかによって異なります。地区小委員会は、全国ポリオ・プラス委員会（多国地区の場合は、関連した地域ポリオ・プラス委員会）と密接に調整します。

注記：2002年の国際協議会にて、ロータリー財団は1年間の募金キャンペーンを発表しました。「約束を守ろう：ポリオをなくそう」という目標は、2005年までにポリオを完全に撲滅するために必要な資金不足を補足するために、2002-03年度に米貨8,000万ドルの資金を調達することを目標としています。この募金キャンペーンがどのように組織されるかの詳細については、2002年のスペイン、バルセロナにおけるRI国際大会にて発表されます。

任務と責務

- 地区内の全てのクラブが、自地区または別の地区でのポリオ撲滅推進活動を支援するようなポリオ活動の少なくとも1つに参加するよう奨励すること。
- ポリオ・プラス資金への寄付を通して、ポリオ撲滅を支援する。
- DRFC委員と協力して、地区財団活動資金の配分と割り当てを決める。
- クラブのポリオ・プラス委員会を通じて、ポリオ撲滅の推進に関して、地区内のクラブを援助する。具体的には、地域の児童を対象とした予防接種の推進方法を伝えたり、ポリオ撲滅に関する情報および資料の配布したり、クラブのプログラムに講演者を招いたりする。(公式名簿にあるポリオ・プラス講演者ビューローを参照のこと)。
- 年に一度は地区のポリオ・プラス活動を組織する。
- DRFC委員長、地区広報小委員会、地区ガバナー、クラブ会長と協力して、クラブおよび地区の模範的なポリオ撲滅活動を適切な方法で表彰する。
- 地区大会の議事日程にポリオ・プラスを入れるよう、ガバナーに要請する。
- 地区大会と会長エレクト研修セミナーにおけるロータリー財団の一部としてポリオ・プラスのプレゼンテーションに関し、ガバナー・エレクトと地区研修リーダーを援助する。
- 全国あるいは地域ポリオ・プラス委員会、地元の政府、その他の組織と協力して、全国予防接種日などのポリオ撲滅活動を実施する。
- クラブが、RIウェブ・サイト(www.rotary.org)で最新情報を得るよう奨励する。
- 委員会に関する責務を実行するに当たり、地域財団コーディネーターの支援を活用する。

さらに、財団管理委員会とRI理事会は、地区ポリオ・プラス小委員会のようなクラブ・ポリオ・プラス委員会を設立するようクラブ会長を奨励します。クラブ委員会は、次のようなポリオ・プラス撲滅活動を組織し、実施する責務を負います。

- 地域社会内の子供たちの免疫付与を推進する方法をクラブに知らせ、ポリオ撲滅に関する情報や資料を流布し、クラブ協議会や例会のためにポリオ関係の講演者を探したりしながら、クラブ・ポリオ・プラス委員会を通して、ポリオ撲滅の推進のために地区内のクラブを援助する。ポリオから解放されている国は、ポリオ蔓延国の活動支援方法を提案する。
- ポリオ蔓延国の地区は、ポリオ撲滅活動にあたり、全国ポリオ・プラス委員会を支援する。
- ポリオ監視ネットワークを、地域社会内に組織する。(詳細は、全国ポリオ・プラス委員会委員長に問い合わせる。)
- できれば地元の医療専門家を含む、ポリオ免疫付与の企画調整を行う免疫付与連合委員会に参加するか、それを組織する。地元や国家レベルでのポリオ撲滅キャンペーンで、主要な企業や組織からの参加を得る。

- ザ・ロータリアン誌や、地域雑誌、ロータリー・ニュースバスケット、ロータリー・ワールド、その他の情報源からの、ポリオ・プラスについての最新情報を、毎月のクラブ会報に掲載する。
- 社会奉仕委員会委員長とクラブ会長と協力して、クラブの模範的なポリオ撲滅活動を適切な方法で表彰する。
- クラブレベルあるいはDRFCのポリオ・プラス委員会(多国地区の場合は、全国ポリオ・プラス委員会)、地元の政府、その他の組織と協力して、全国予防接種日などのポリオ撲滅活動を実施する。
- ポリオ・プラス講演者ビューローから会員を招いて、クラブまたは多地区合同の例会でスピーチをしてもらう。

受領資格基準

ポリオ・プラス補助金は、政府関係と、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、米国防疾センター(CDC)、ロータリー、およびその他の寄付機関がそれぞれの役割、支援、および活動を示す協力計画案を立案した選定国における特別撲滅活動のために授与されます。ポリオ・プラス資金は、ワクチンの供給支援、全国免疫付与の日の運営費、研究所の支援と追加的な社会動員および特にポリオ撲滅の最終段階に向けての監視活動をふくめ、最も効率のよい、直接的な方法でポリオの撲滅に役立てるために使用されます。

ポリオ・プラス補助金申請手続

ポリオ・プラス補助金は、政府関係と、世界保健機関(WHO)、米国防疾センター(CDC)、ユニセフなどのプログラム・パートナーのすべてとともに、準備されます。しばしば、地域ポリオ・プラス委員会は、地域の提案の作成と検討を援助します。全国ポリオ・プラス委員会のある国々の場合は、その委員会がプログラム・パートナーと協力してニーズを把握します。申請書は、国際ポリオ・プラス委員会によって検討され、定期的な会合で、ロータリー財団管理委員会によって考慮されます。詳細に関しては、全国、または地域ポリオ・プラス委員会委員長に連絡してください。

ポリオ・プラス支援のためにシェアDDFを使用する場合

地区は、DDF決定ワークシートの寄贈分野のポリオ・プラス基金のオプションを使用し、地区財団活動資金の一部をポリオ・プラス基金へ寄付することができます。

参考資料

- PolioPlus Video Feature Report : (ポリオ・プラス・ビデオ特集 : “Polio: The Final Chapter” (「ポリオ : 最終章」) (328-EN)
- ポリオ・プラス・パンフレット(323-JA)
- ポリオ・プラス : 世界中の子供たちへの贈物 (317-JA) のビデオ

これらの資料は、電話 : (847) 866-4600、ファックス : (847) 866-3276をご使用になり、世界本部の出版物注文サービスから入手できます。

世界本部から注文できるポリオ・プラス・プログラムについてのその他の資料 :

- ポリオ・プラス情報シート — 世界的規模のポリオ撲滅活動へのロータリーの参加の歴史と現在の簡潔な概観。
- ポリオ・プラス年次報告書 — プログラムの運営についての世界的および地域的概要。補助金についての具体的情報と、世界的活動の最新情報を含む。

→ 現在の事実と数値についてのポリオ・プラス声明。

ポリオ・プラス・パートナー・プログラムについての情報は、ウェブ・サイト www.rotary.org でも取得できます。

学友小委員会

財団学友は、世界中からの様々な職業の男女を8万人以上含んでいます。これらの元財団プログラムの参加者には、元国際親善奨学生、研究グループ交換元チーム・メンバーと元リーダー、元ロータリー・ボランテニア、カール・P・ミラー助成金元受領者、大学教員のためのロータリー補助金元受領者、ある場合には、新人道的補助金の受領者も含まれます。彼らの中には、大学教授、医者、弁護士、高等裁判所判事、外交官、その他の政府高官、作家、企業の社長などがいます。ノーベル賞の受賞者、プリッツァー賞の受賞者などもあります。彼らの財団プログラムへの参加が、人類へ恩恵を与える無数の業績のためのインスピレーションとなったのです。

学友は、財団において多くの重要な役割があります。彼らは、財団プログラムの熱心な支援者であり、クラブ例会や他の財団活動と行事においてスピーチを行うことができます。彼らのロータリーについての知識と、それぞれの分野での専門知識は、財団とその使命の支援において、多くのことを行うことができます。しかし、学友には、ロータリーの活動に参加を依頼するべきです。学友は、通常それを喜んで行ってくれます。

学友小委員会は、財団の最も貴重な援助源である学友がロータリー活動に関与していることを確かめます。

委員の資格基準

地区リーダーシップ・プランで規定された最少推奨資格規準の他、クラブレベルにおける学友プログラムの経験、あるいは地区レベルにおける奨学金か研究グループ交換小委員会を有する個人を優先させます。地区学友小委員会は、少なくとも3人の委員によって構成され、その一人は、元地区ガバナーであることが理想的です。一般に、小委員会の委員は3年間の任期で任命され、それぞれの委員の任期をずらせることで、小委員会の計画と指導において一貫性を持たせるためです。

任務と責務

- 現在の財団プログラム参加者および地区提唱、あるいは地区在住の学友の完全で正確な最新の地区名簿、またはデータベースを作成し維持する。また、このデータベース、あるいは名簿への追加、変更がある場合、それをロータリー財団に知らせる。
- 帰国した奨学生やGSEチーム・メンバーが、スポンサー地区で義務付けられたスピーチを行うのを助ける。学友をクラブ会合や行事に招待し、スピーチを行ってもらい、特定の財団プログラムへの参加を促進する。
- DRFC委員と協力して、地区財団活動資金の配分と割り当てを決める。
- 学友を奨励し、ロータリー・クラブの会員となり、引き続きロータリーに関与してもらったり、将来のプログラム参加者を見つけることに貢献してもらったり、ロータリー・クラブの社会奉仕や世界社会奉仕に参加してもらう。

- ロータリー財団学友人道奉仕賞の受賞候補者を地区から推薦し、財団に提出する（85ページ参照のこと）。
- 学友/地区親睦活動を育成し、地区に住む学友のために、定期的に同窓会や活動を催す。
- 奨学金小委員会および研究グループ交換小委員会と協力し、受入および派遣奨学生のための説明指導セミナーを実施する際に、学友に参加してもらう。
- 地区学友組織を創設し、維持する。
- ロータリー財団へ寄付を行うよう、学友を奨励する。
- クラブが、RIウェブ・サイト(www.rotary.org)で最新情報を得るよう奨励する。
- 委員会に関する責務を実行するに当たり、地域財団コーディネーターと財団学友諮問グループの支援を活用する。
- REConnectionsや、学友公報などの、学友についての記事や、学友関係の行事のスケジュール、また、財団に関する一般的情報などが掲載されている学友資料を入手する。

インターネットを使用できるロータリアンと学友は、RI ウェブ・サイトの www.rotaryintl.org の学友ページを通して、あるいは電子メール符号、alumni@rotaryintl.org を使用し、Foundation Alumni Relations Section(財団学友関係部)に連絡を取ることができます。

年次寄付小委員会

年次プログラム基金への寄付が、財団の支給資金の基盤を形成しており、2000-01年度には合計6,110万ドルに上りました。たいいていのロータリアンは、財団への最初の寄付は、地区またはクラブの年次寄付プログラムを通して行います。一貫した年次寄付による支援をされていることが、その個人の、大口寄付や計画的寄付を行う能力があるということを示す明確な印です。これらの寄付見込み者を見つけ出し、善意に働きかけて行くことが必要です。

ロータリー財団の年次寄付活動は、下記の4つの主要目標が含まれます：

- ロータリアンや、その他の人々に対して、財団の多くの成功例を伝える。
- 彼ら一人一人からの年次寄付を奨励する。
- 財団の運営に関して、ロータリアンを教育する。
- 財団プログラムに参加するようにロータリアンに動機を与える。

これらの活動を通して、ロータリアンは、財団の価値を個人的に認めることができるようになり、自主的な寄付を通して、そのプログラムを支援したいと思うようになります。

年次寄付小委員会は地区の年次寄付目標を達成するために、包括的かつ効果的な地区プログラムを計画し、実施する責務を担っています。

委員の資格基準

地区リーダーシップ・プランで規定された最少推奨資格基準の他、募金活動、営業、市場開発、広報、または財務分野の専門知識を有する個人が、強く求められます。年次寄付小委員会は、少なくとも3人の委員で構成され、その一人は、元地区ガバナーであるとよいでしょう。一般的に言って、小委員会の委員は、3年の任期で任命され、小委員会の計画と指導における継続性を保つために、各委員の別々の任期が重複するようにすることが必要です。

任務と責務

- 難しいながらも現実的な年次プログラム基金寄付目標を設定する際に、ガバナー・エレクトとDRFCを助けます。財団管理委員会の目標が、西暦2005年までに一人当たり米貨100ドルの目標であることを銘記する。
- DRFC委員と協力し、地区財団活動資金の配分と配布を決定する。
- 毎年、全ロータリアンが年次寄付を行うよう促す。
- 地区の設定した年次プログラム資金の目標達成を助ける個人やクラブの寄付を奨励する。
- 目標を毎月、公表し、目標達成に向かっての進展状況をロータリアンに知らせる。
- 財団支援のために、クラブや地区が募金活動や特別な活動を組織するのを助ける。
- 法人のマッチング・ギフトや、寄付をする見込みのあるロータリアンの寄付額を最大限にするための地域社会による財団の支援などといった、特別な寄付の機会を推進する。
- 地区ロータリー財団委員会委員長と協力し、ロータリー財団月間中、地区を通じて、特別プログラムを組織し、推進する。
- クラブ寄付報告書やクラブの寄付記録について、クラブからの質問に答える。
- クラブが、RIウェブ・サイト(www.rotary.org)で最新情報を得るよう奨励する。
- 委員会に関する責務を実行するに当たり、地域財団コーディネーターの支援を活用する。

年次寄付の期日と行事	
期日	行事
11月	ロータリー財団月間
12月31日	ロータリー財団への寄付の送金期日で、同日あるいはそれ以前の日付の消印が暦年の寄付として認証されることになる。
6月30日	当該暦年の寄付金受理締切日

下記に表示されているのは、年度における地区の年次プログラム基金の目標達成の適切な時期です：

20% 9月30日までの目標の達成率	(7月1日から9月30日)
33% 11月30日までの目標の達成率	(10月1日から11月30日 [財団月間])
50% 12月31日までの目標の達成率	(12月1日から12月31日)
67% 3月30日までの目標の達成率	(1月1日から3月30日)
100% 6月30日までの目標の達成率	(4月1日から6月30日)

年次寄付の仕組み

ロータリー地区、クラブ、ロータリアン、その他の人々からの使途が指定されない無条件寄付は、年次プログラム基金への寄付となり、財団の人道的、教育的、および文化的交換プログラムを支援するのに使われます。これらの寄付は、財団プログラムに使われる前に、3年間投資されます。例えば、2002-03年度の寄付金は2005-06プログラム年度に支給されます。

財団の特別な特徴は、寄付された全額がプログラムに使用されるということです。シェア制を通じ、60パーセントが地区財団活動資金(DDF)として直接、地区へ戻され、そして40パーセントが国際財団活動資金(World Fund)として、人道的プログラムおよび全地区への研究グループ交換補助金として地区へ還元されます。

注記：2003-04寄付年度、シェアの分割は、50パーセントの地区財団活動資金と50パーセントの国際財団活動資金に変わります。2003-04年度の寄付金は、2006-07年度にプログラムに活用されます。

利子や配当金の収入、投資の売却からの利益と損失、投資の売却における為替レート調整などの、年次プログラム基金の投資からの収益が、寄付増進や一般的管理費を賄います。これらの収益は、財団の財務報告書の「年次プログラム基金—投資による収益基金」の項に報告されます。

年次プログラム基金への支援

ロータリー財団は、寄付の懇請の方法は、その国の習慣や文化に適したものでなければならぬことを理解しています。以下の方法のいくつかは、各地域での人々の態度や習慣に合わせて調整することが必要であるかもしれません。

個人による寄付

ロータリー財団に代わっての寄付の懇請は、1対1で依頼するときが、最も成功をおさめます。この方法は、また、地区やクラブの年次寄付目標の達成にとっても、効果的な方法です。伝統的には、個人的寄付は、ロータリアンが財団を金銭的に支援する主要な方法であり続けてきました。各ロータリアンは、究極的には、ロータリー財団の「株主」であり、各ロータリアンが、財団のプログラムと活動を支援する機会を個人的に与えられるべきであるからです。

地区とクラブの中には、各ロータリアンが、各自の能力に応じて年次寄付をするように個人的に依頼する、「全会員」キャンペーンを実施しているところも多くあります。成果のあるキャンペーンで用いられる3つの方法には、各ロータリアンに対する個人的な手紙や、寄付の意欲を湧かせるようなクラブ例会プログラム、および1対1の個人的な懇請が含まれます。

寄付を成功させるために、懇請には、財団プログラムについての情報を提供し、国際問題に対して、他の組織が提供していないような解決策を提供しているということを伝えなければなりません。財団が世界平和の可能性が高まっていくような環境を作り出すのを、寄付金が助けることができるということを、寄付者になる見込みのある人々に示すことが重要です。

年次プログラム基金への寄付を対象として表彰の種類については、64-67 ページ (ポール・ハリス・フェロー認証) を参照してください。

メモリアル・ギフト

友人や最愛の人を追悼して寄付をすることによって、ロータリアンは、故人に敬意を払うと同時に、国際理解と平和の実現に向かってのロータリー財団の活動に引き続き寄与することができます。財団は、メモリアル・ギフトについて、手紙で、故人の家族に通知します。メモリアル・ギフトは、年次プログラム基金か、恒久基金のどちらへの寄付でもかまいません。ロータリアンは、財団からメモリアル・ギフト用封筒を入手することができます。

故人をポール・ハリス・フェローにすることもできます。寄付者は、通常の表彰状に代わるものとして、特別メモリアル・ポール・ハリス・フェロー表彰状を要請することもできます。

現金以外の寄付

米国では、寄付者は、市場で売買される証券や、その他の現金以外の寄付(不動産や、生涯所得寄付や、収益譲渡寄付などを含む) から税金の控除が得られることを認識しており、国税庁により決定されている指針と方針に基づいて、価値が定められ、寄付額が記録されます。現金以外の寄付についての質問は、世界本部にある財団の寄付増進部の職員にお問い合わせください。

使途指定寄付

典型的な一年の間に、ロータリー財団が受け取る寄付のほとんどは、使途が指定されない無条件寄付です。これらの寄付は、地区の年次プログラム基金への目標達成のための寄付として数えられ、シェアの配分を通して、財団プログラムを支援することになり、一人当たり寄付の算出の基となります。

財団への「使途指定」寄付の中には、寄付者によって、特定の資金へ指定されたりすることがあり、このような「使途指定」寄付で、最も一般的なのは、財団の恒久基金、冠名奨学金、ポリオ・プラス、承認済みのマッチング・グラントへの寄付として指定する場合です。恒久基金への寄付として指定される場合は、管理員会によって決定された使用方針に基づいて、収益のみが、プログラムの資金として使われます。この使用方針によって、恒久基金の真価(インフレ調整をした値)が永久に維持されることが確実になります。

使途指定寄付は、ポール・ハリス・フェロー(または、恒久基金への寄付の場合には、ベネファクターとしての認証)認証の対象になりますが、地区のシェアの合計額には数えられません。恒久基金からの収益の場合、寄付者が具体的にそのような意図を表明した場合は例外です。

大口寄付

寄付者は、年次プログラム基金へ大口寄付(米貨10,000ドル以上の寄付)をすることができます。但し、寄付者が、この意図を明示しないと、大口寄付は、恒久基金へ寄付されます。

米国とカナダでは、地区恒久基金委員長(DPFC)が、大口寄付者を見つけて、寄付を懇請するための研修を受けており、年次寄付小委員会にとって貴重な情報提供者となります。(73-75ページの大口寄付の認証の項を参照してください。)

地区とクラブでの特別募金行事

いくつかの国々では、地区やクラブが財団のための募金活動を行う方法として、特別行事を開催することが人気のある方法となっています。特別行事は、多額の金額を寄付した人々とか、卓越した奉仕を行なった人々などを表彰したり、具体的なプロジェクトやプログラムに特別な焦点を当てたり、財団をよりよく理解し、その価値を認めるための機会としても使用できます。成果のある特別行事の例としては、競売、余興ショー、慈善コンサート、晚餐会、晚餐舞踏会、ゴルフ・トーナメント、マラソン、ウォークソンなどです。寄付集めの方法については、Donor Services 課の職員にご連絡下さい。

多くの特別行事は特にロータリアンとその配偶者を対象としたものですが、例えば慈善コンサートなどの行事は、ロータリーの外の人々をも参加させて、ロータリー財団プログラムを推進する、地域社会や地区全体の行事とすることが出来ます。特別募金行事についての更に詳しい詳細や援助をお求めの方は、世界本部のロータリー財団の寄付増進部へお問い合わせください。

法人／財団への寄付の懇請

各地区には、多くの法人や各種財団があります。もしもそれらの団体が「ロータリー財団の由来」が知っているならば、人々はロータリアンに力を貸し、大口寄付、冠名奨学金基金、従業員の寄付とのマッチング・ファンド、チャレンジ・グラント、その他を通じて、財団を支援するに違いありません。法人や財団への寄付の懇請は、あなたの地区の寄付増進活動の一端として、年次プログラム基金への寄付目標を達成するのを助けることができます。また財団にそのプログラムを実施させ、国際理解と平和を目指して前進させることができるのです。

地区内の法人や財団への寄付の懇請の最も重要な面は調整です。クラブや地区は、ロータリー財団が何をしているかを知っていなければなりません。同時に、財団の職員は地区の活動を承知していなければなりません。努力の重複を避け、見込みのあった大口寄付を断られないようにするためにです。

外部からの支援を追求する特定な方法のひとつにチャレンジ・グラントがあります。チャレンジ・グラントとは、特定の期間内にクラブまたは地区が一定の額を集めた場合それ以上の額あるいは同額を寄付するという誓約のことです。

各種財団からの小額寄付またはマッチング・ギフトについては、ロータリー財団では、クラブや地区が特定の団体の関心に適合するように作成する書簡の見本を用意しています。また多額のグラントの場合には、財団の寄付増進部の職員が地元のロータリアンと協力し、寄付者の関心に叶った書簡を作成することができます。

法人のマッチング・ギフト

従業員が慈善を目的として寄付をする場合、その寄付に組み合わせて、一定額を寄付している会社が多数あります。会社にとっては、従業員の寄付を2倍、或いは、3倍にしているところもあり、従業員が寄付するたびにそのようにします。このような会社では、しばしば、その対象を、定年退職者、従業員や理事の配偶者にまで広げています。

マッチング・ギフト、プログラムを有する会社の多くは、財団をマッチング・ギフトを受け取るに最適の団体として考慮しています。ロータリー財団は、慈善的、教育的非営利団体として組織され、米国国税庁により承認されています。ロータリアンの会社が、現在、このようなプログラムを実施していない場合は、会社の人事課と交渉してプログラムを設置するよう奨励されています。このようなプログラムは、ロータリー財団ばかりでなく、地元の病院や大学、博物館、財団、その他の慈善事業施設への寄付がしばしば倍増され、地域社会へ多大の恩恵をもたらすものとなっています。

マッチング・ギフトの申し込みは簡単です。ロータリアンは、財団へ寄付を行なう度に、会社の人事課に連絡して、マッチング・ギフトを受けるための申込書と情報入手すればよいのです。寄付者は、申込書に小切手を添えて、郵送すれば、その後は、財団が処理いたします。

財団の年次プログラム基金への寄付はすべて、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となり、シェア・システムを通じて、地区の地区財団活動資金の計算に使用されます。

ポール・ハリス・フェローの表彰の方式

ポール・ハリス・フェロー

1947年のロータリーの創始者ポール・ハリスの逝去の際に、ロータリアンは、彼を追悼して、ロータリー財団に米貨130万ドルを寄付しました。この寄付金で、財団は、最初の重要な国際奉仕プログラムである奨学金プログラムを創設しました。ロータリアンは、財団へ寄付することによって、ロータリーの理想とその創始者に敬意を表するという伝統を継続していくことができます。

ポール・ハリス・フェローの表彰は、米貨1,000ドルの寄付をした個人、または、ある人の名義でそのような寄付が行われた場合、その名義人は、申し込みをすれば、ポール・ハリス・フェローとして認定され、証明書、襟ピン、首からリボンで下げるメダルを受領します。認証の榮譽を保つため、ポール・ハリス・フェローと呼ばれるのは個人のみです—ペット、動物、架空の人物、または無生物は認証の対象となりません。

ポール・ハリス・フェローの名は、クラブ認証要約書(Club Recognition Summary)に一覧表があります。報告書の認証金額の項の、米貨で1,000ドル以上寄付した個人がポール・ハリス・フェローです。その中何人かは、マルチプル・ポール・ハリス・フェローです(66ページを参照)。ロータリー・クラブに関連したポール・ハリス・フェローの総数は、クラブ認証要約報告書に明記されています。

ポール・ハリス・フェロー認証のクレジットのほとんどは、年次プログラム基金(使途無指定)への寄付によって得られます。しかし、世界社会奉仕への使途指定寄付によっても、ポール・ハリス・フェロー認証のクレジットが得られます。加えて、以下の使途指定寄付は、資金がロータリー財団を通じて送られた場合、ポール・ハリス・フェローの認証の対象となります：ポリオ・プラス、承認済み災害救援補助金プロジェクト、承認済みマッチング・グラントのスポンサー分、承認済み3-H計画準備助成金、および承認済みヘルピング・グラントのスポンサー分(注記：恒久基金への寄付は、ベネファクターの認証の対象となるので、ポール・ハリス・フェローの認証は受けられません)。

ポール・ハリスの認証は、日本事務局から入手できるRecognition/Contribution Form (123-EN)に所要事項を記入し要請されるか、RIのウェブサイト(www.rotary.org)を通じ入手してください。

現在は、76万人以上のポール・ハリス・フェローがいます。大多数のポール・ハリス・フェローは、ロータリー財団のプログラムを支援するロータリアンです。また、更に多くの寄付が、ロータリアンの家族の名義で行われます。

寄付の認証は、寄付者が、自分のクラブや地区内での地元での表彰も尊重するという点に留意することが極めて重要なことです。寄付を受領した時には、地元で、寄付者に適切に感謝の意を表す方法を考える必要があります。例えば、寄付者の承認を得て、クラブや地区のニュースレターに寄付者の氏名を発表したり、最近の寄付者を紹介し表彰する特別財団行事(ポール・ハリス・フェロー、または、ベネファクター表彰式、或いは、夕食会など)を手配したりすることなどが挙げられます。

多くのロータリー・クラブは、更に、この表彰を、財団の目標や目的に対する誓約を実証した地元、国または世界のリーダーへ敬意を表す方法として使用しています。無作為的に、ポール・ハリス・フェローのリストには、必ず、政府の指導者、科学者、芸術家、運動家、エンタテナーなどの著名な人々が見えます。また、そのリストには、25年間、毎年、家のない人達に祝日の夕食を提供している人、地域社会の低所得者住宅に住む人達のためによりよい住宅を確保することに生涯を送っている人などのように、余り知られていない人の名前も見えます。このような人選の全ては3つの目的を満たすものです。功労のあった故人を表彰する一方、ロータリー財団に重要な支援を与え、一般社会の関心をロータリー財団に向けさせることです。

クラブはしばしば会員の永年にわたる功労や特定のプロジェクトにおける偉業を称賛して寄付を行います。特にその目的のために設けられた賞があります。(83ページから始まる、第7章の「奉仕賞」を参照してください。)

ポール・ハリス・フェローのクレジットの使用

ポール・ハリス・フェローとなるための米貨1000ドルを完済されなかった個人の米貨1,000ドル以下の認証クレジット額は、「認証振替書式」(102-JA)に記入されることにより、他の個人に委譲することができます。このような委譲には、個人の署名が必要となります。クラブ会長には、前会員あるいは物故会員のクレジットを移し変える権限はありません。しかし、もしもクラブが個人の死後、ポール・ハリス・フェローとして認証することを希望する場合は、その口座のクレジット額に更に資金を追加することはできます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー：

既にポール・ハリス・フェローになっている人がロータリー財団の年次プログラム基金へ米貨1,000ドルの寄付をすると、その人は、要請すれば、サファイアが1つ付いたポール・ハリス・フェロー・ピンを受けることができます。ポール・ハリス・フェローによる財団への米貨1,000ドルの追加寄付の各々に対し、最高米貨9,999.99ドルまで、新しいピンを1つずつ受けることができます。更に、このような米貨1,000ドルの追加寄付の各々に対し、別の人をポール・ハリス・フェローに指名することができます。

認証額	MPHF認証レベル	MPHFが受けられるピン
米貨2,000ドルから2,999.99	PHF + 1	サファイア石1つ
米貨3,000ドルから3,999.99	PHF + 2	サファイア石2つ
米貨4,000ドルから4,999.99	PHF + 3	サファイア石3つ
米貨5,000ドルから5,999.99	PHF + 4	サファイア石4つ
米貨6,000ドルから6,999.99	PHF + 5	サファイア石5つ
米貨7,000ドルから7,999.99	PHF + 6	ルビー石1つ
米貨8,000ドルから8,999.99	PHF + 7	ルビー石2つ
米貨9,000ドルから9,999.99	PHF + 8	ルビー石3つ

財団認証ポイント

財団認証ポイント（FRP）は、ポール・ハリス・フェローである人が米貨1,000ドル以上の寄付をした場合に、生じるものです。この認証ポイントは、クラブ認証要約書の寄付者の口座にクラジットされ、他のポール・ハリス・フェロー受領者を指名するのに使用することができます。Club Recognition Summary（クラブ認証要約書）に示されている財団認証ポイントは、既に、ポール・ハリス・フェローの認証金額欄に含まれていることに留意することが大切です。しかし、もしも個人の認証金額が米貨1000ドル以下で、FRPがある場合は、それらのポイントは、認証金額の中には含まれません。

クラブまたは地区が寄付を行なった時点で認証クレジットの受領者を指名しない場合、FRPは、クラブによる寄付、あるいは地区による寄付の欄に記録されます。クラブまたは地区のFRPは、Club Recognition Summary(クラブ認証要約書)のClub Contributions(クラブによる寄付)の欄に記録されています。

ポール・ハリス・フェローの条件を全て満たし、米貨1,000ドル以上の認証金額をもつ個人は、認証振替書式(102-JA)に洩れなく記入のうえ署名しますと、他の個人へ認証ポイントを振り替えることができます。個人の署名が入手できない場合は、クラブ会長か、地区ガバナーが、譲渡を認可することができます。財団認証ポイントは、永久に記録され、それが使用されなければならない期限はまったくありません。

但し、財団認証ポイントを譲渡する個人からの署名が入手できず、その個人がそのクレジットを後日使用したいと望んでいる場合は、ロータリー・クラブまたは地区は、譲渡された金額の全額を、財団に払い戻さなければなりません。

財団の友会員

財団の友会員プログラムは、全てのロータリアンが、既にポール・ハリス・フェローとなられたり、他の人にその称号を贈られた後も、毎年、年次プログラ

ム基金を支援するよう奨励するものです。財団の友会員とは、最初に、最低米貨100ドル以上の寄付を行い、その後も年次プログラム基金へ、毎年、最低米貨100ドル以上の寄付を行う意思を書面で表明する人のことです。

各財団の友会員は、寄付者が財団の友会員誓約カードに記入されると、クラブ認証要約報告書に加算されることになります。ロータリー・クラブの準フェローの合計数は、クラブ認証要約報告書の最上部に表示されます。

感謝状

時々、寄付者は、米貨1,000ドルを寄付して企業やその他の組織を認証することを望む場合があります。ポール・ハリス・フェローの認証は個人に対してのみ行われるものですので、組織に対しては、その代わりに、感謝状を贈ることがよく行われます。感謝状の受賞者は、感謝状と証明書カバーのみ受取ります。

寄付と認証報告

ロータリー年度を通じ3回、地区ガバナーと地区インターネット・コミュニケーション担当役員には、ロータリー財団から、それぞれの地区の寄付と認証についてのコンパクト・ディスク版報告書が送付されます。郵送は、9月中旬、1月中旬および5月中旬です。同CD版報告書には、現在の月間寄付報告も含まれます。

各ロータリー年度の8月中旬から、地区ガバナー、DRFC委員長および年次寄付小委員会委員長には、月間寄付報告書とクラブ認証要約書が送付されます。この報告書は、3カ月(9月、1月および5月)を除き、毎月送付されますが、この資料は地区ガバナーおよび地区インターネット・コミュニケーション担当役員へCDにコピーされ送付されます。これらの報告書は、クラブおよび地区にとって寄付増進のための優れた道具となります。この報告書に掲載される情報についてのご質問は、世界本部の寄付業務担当課(Donor Services)の職員、または日本事務局へ直接お問い合わせください。

クラブの認証

管理委員会は、毎年、各地区で年次プログラム基金への1人当たりの寄付が最高の3つのクラブと、各地区で最高の年次プログラム基金への寄付の合計が最も多い3つのクラブに、クラブ認証バナーを贈呈します。

会員数は、各クラブの最近の半期報告書に基づきます。半期報告書の日付以降に発足したクラブは、発足時の会員数が用いられます。一人分の数値は、年次プログラム基金への寄付のみを基にして計算されます。

財団への寄付の過去から現在までの全ての寄付額の合計を知りたいクラブは、Club Recognition Summary Reportをご覧ください。この報告書は、地区年次寄付小委員会委員長から入手できます。

100% ポール・ハリス・フェローのロータリー・クラブの認証

会費を支払っている会員全員がポール・ハリス・フェローとして認証されているロータリー・クラブは、管理委員会によって承認された特別の認証バナーを受けられる資格があります。ガバナーは、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブを調査し、認証を文書で申請しなければなりません。この認証は1回限りのもので、地区ガバナーによる最初の賞状授与の後、ロータリー財団によって確認された後に行われます。100%ポール・ハリス・フェロー・クラブは、国際ロータリー本部の栄誉の殿堂に、クラブ名と認証受領の年度が明記されて表示されます。

参考資料

- 年次寄付の指針(142-JA)
- ロータリー財団携帯用カード(159-JA)
- みんなが貢献するロータリー財団(171-JA)
- 二つのニーズに応える、二つの寄付方法(173-JA)
- ロータリー財団年次報告(187B-JA) — 毎年 12月出版
- Recognition/Contribution Form (ロータリー財団寄付の認定書式) (123-EN)
- Recognition/Transfer Request Form (認証移管申請書式) (102-EN)
- メモリアル・ギフト封筒(111-EN)、カナダからの贈答用(112-EN)
- ロータリー財団の使命(147-JA)
- Your Gift Belongs Here (ポスター) (127-EN)
- Annual Programs Fund video (122C-EN、英語とフランス語のみ)

これらの参考資料の入手のためには、世界本部の出版物注文サービスにご連絡ください。847-866-4600 ファックス：847-866-3276。日本事務局、あるいはRIのウェブサイト(www.rotary.org)から入手することができます。

恒久基金小委員会

ロータリー財団の恒久基金の目的は、毎年、財団への支援に対して、予測可能で確実な補助を提供することであり、それによって、最低限のプログラム活動を保証し、将来、プログラムの新たなレベルへの拡大を可能にします。恒久基金への寄付は、そのまま使用されず、投資され、その投資からの収益の一部のみが、財団プログラムの資金源として使用されます。

ロータリー財団管理委員会、国際ロータリー理事会、そして、規定審議会は、恒久基金の強化を、国際ロータリーにとっての最優先事項と決めました。ロータリアンは、近づくにつる2005年のロータリー創立100周年記念の一環として、恒久基金に対する特別な支援を行うことを考慮し、国際奉仕分野において世界をリードする団体としてのロータリーに対し熱意を実証するよう奨励されています。

恒久基金小委員会は、恒久基金を強化していくために、ベネファクターになる誓約の確保と、大口寄付を行なえる個人への大口寄付の懇請という責務を持ちます。恒久基金新募金計画が導入されていない国では、計画的寄付/大口寄付小委員会が、恒久基金小委員会の責務を負います。

委員の資格基準

地区リーダーシップ・プランで規定された最少推奨資格基準の他、募金活動、営業、市場開発、広報、または財務分野の専門知識を有する個人が、強く求められます。恒久基金小委員会または地区計画的寄付/大口寄付小委員会は、少なくとも3人の委員によって構成されるべきであり、その一人は、パスト地区ガバナーであるとよいでしょう。一般的に言って、小委員会の委員は、3年の任期で任命され、小委員会の計画と指導における継続性を保つために、各委員の別々の任期が重複するようにすることが必要です。

任務と責務

- 地区ガバナーと、地区財団委員会と共に協力し、地区のベネファクター目標を設定する。
- DRFC委員と協力し、地区財団活動資金の配分と配布を決定する。
- 寄付者が、資産や所得に対する税金の控除を受けられたり、場合によっては、生涯の収入を保証される形での寄付などを受けて大口寄付を行なうことができる国々における、計画的寄付の様々な機会を、ロータリアンに知らせる。
- クラブ会長と協力して、財団のプログラムが予定される際に、現ベネファクターおよび遺贈誓約者友の会会員を表彰する。
- 既に誓約を行い、ベネファクターとして認証されている寄付者との連絡を保ち、今後、ベネファクターを見つけるための懇請に携わるチームの一員になってもらうように奨励する。
- 恒久基金への無条件寄付の推進および懇請活動に向け、年次寄付小委員会委員長と協力する。
- 恒久基金を支援するために、大口寄付を即金で行なえる見込みのある人や、計画的寄付を行なえる見込みのある人を見つけ、寄付の懇請をする。地区の指導者、地域ロータリー財団コーディネーター、管理委員や理事、学友、大口寄付者などを、計画や大口寄付の懇請に参加させる。
- ベネファクターおよび大口寄付者へ感謝の意を表し、引き続き好ましい関係を育んでゆく。
- クラブが、RIウェブ・サイト(www.rotary.org)で最新情報を得るよう奨励する。
- 委員会に関する責務を実行するに当たり、地域財団コーディネーターの支援を活用する。

寄付の種類

大口寄付

大口寄付は、現金、誓約、あるいは計画寄付として年次プログラム基金あるいは恒久基金のどちらかへの少なくとも米貨10,000ドル以上の寄付のことです。大口寄付の誓約は、通常、2年あるいは3年以内に支払われます。

大口寄付は、年次プログラム基金へ、または、恒久基金へ向けて、行なうことができます。どちらの場合でも、寄付者に、寄付金がどのように使用されることを望むかを聞くことが必要です。恒久基金への米貨50,000ドル以下の寄付の場合は、管理委員会により決定されるニーズが最も大きな資金である、国際財団活動資金へ充当されるか、あるいは地区財団活動資金へ適用される寄付金の支給額を指定することができます。使途が指定されていない寄付は、将来のニーズに対応できる最大の柔軟性を持っています。けれども、特定の種類のプログラムや、具体的な地理的地域のために寄付金が使用されることを指定する寄付者のためにも機会が存在しているのです。

大口寄付の認証は、米貨10,000ドル以上の蓄積的寄付に対する大口寄付のために用意されています。但し、計画的寄付／大口寄付小委員会は、最低米貨25,000ドルの寄付をすることができる見込みのある人々を見つけ出し、寄付の懇請を行うよう奨励されています。財団に取り消し不可能な形で譲渡される将来の収益の見込める慈善的寄付の現在の価値を含む、恒久基金への寄付の元金は、大口寄付の認証とクラブ表彰の対象になる金額として寄付者の記録に加算されます。

冠名奨学金および奨学金基金の機会

1982年に、ロータリー財団管理委員は、個人、法人、財団が、財団の目標を推進するのを援助するに当たり、個人的で活動的な役割を果たせる独特な方法を設置しました。それが冠名奨学金と奨学金基金です。これらの奨学金は、財団管理委員によって定められた資金提供の指針に従って、奨学生の1年間の留学期間の授業料、旅費、生活費を支給するものです。(注記：冠名奨学金および奨学金基金の寄付は、地区の年次寄付の合計には含まれません)。

冠名奨学金は、寄付者が奨学金の全額を1度に寄付することにより設置されるものです。その金額は、現在、米貨25,000ドルとなっており、これは、2003-04年度(実際に奨学金が支払われる年度)の1学年度奨学金のシェア・オプションの金額です。奨学金は、個人、法人、財団によって、寄付者または寄付者が名誉を与えるよう選択したある人の名称を付して、設置することができます。冠名奨学金への寄付は、ポール・ハリス・フェローや財団の友会員の認証の対象になります。但し、複数のクラブと地区の合同寄付により、冠名奨学金を設立することはできません。

奨学金基金は、個人の寄付者ひとりにつき米貨150,000ドル以上、または、数人の個人による合同寄付による場合は、米貨250,000ドルを寄付すれば設置できます。この金額で、奨学金のための特別基金が創設されます。この寄付金の元金は、決して使用されません。管理委員会の方針によって指示に従い、元金からの収益が使用され、収益が、シェアで必要な奨学金の費用に到達した際に、新しい奨学金が授与されます。奨学金の条件が柔軟なものであればあるほど、将来のニーズを満たすことが容易になります。けれども、寄付者は、その奨学金基金の選択について、地区や国、研究分野などを指定することができます。

奨学金基金の創設の方法についての具体的な詳細については、ロータリー財団の Fund Development Field Services の職員に、お問い合わせください。

他の基金の機会

- 米貨25,000ドル(最低)で、冠名基金を設置することができ、その収益を、地区財団活動資金か、国際財団活動資金へ当てることが出来ます。
- 米貨50,000ドル(最低)で、承認されている財団プログラムを支援するために指定する基金を作ることができます。例えば、「例えば、ジョーとジェーン・ロータリアンマッチング・グラント基金」など。
- 米貨150,000ドル(最低)で、承認されている財団プログラムの中でのプロジェクトを支援するための冠名基金を設置することができます。(「例えば、ジョーとジェーン・ロータリアン国際親善奨学金基金」など)。
- 米貨500,000ドル(最低)で、初のロータリー世界平和奨学金を支援することができます。奨学生は、新設の国際問題研究のためのロータリー・センターの一つにて研究することができます。
- 米貨1,000,000ドル(最低)で、管理委員会の指針に従った範囲内で、新しいプログラムおよび/または活動のために資金を提供できます。

法人／財団の寄付

法人/財団からの寄付も、恒久基金に向けて行なうことができます (63ページを参照のこと)。

現金以外の寄付

証券や、その他の現金以外の形態(不動産や、生涯年金の寄付や、信託の譲渡などを含む)での寄付は、米国国税庁による指針と原則に基づいて、その価値が計

られ、記録されます。このような寄付を行なうことを希望する寄付者は、世界本部のロータリー財団のFund Development Field Services課またはGift Acceptance課の職員にお問い合わせ下さい。

計画的寄付

計画的寄付とは、寄付者の生存中、合法的に贈与され、将来、通常、寄付者とその受益者の双方またはいずれかの死後、寄贈資金がロータリー財団にもたらされる寄付のことです。この方法による慈善寄付をもって、寄付者は、資産に対する現在の利益(通常、所得権)を保持し、残余権は、究極的には財団に帰するように指定することができます。加えて、寄付者は、しばしばその寄付額を、収益、資本利得、不動産に対する所得税の収入額から控除する恩典を受けることができます。

管理委員会は、他に特別な指示がない限り、計画的寄付金は、財団の恒久基金に加えられるべきこと、そして、その収益は、国際財団活動資金に加えられるべきことを指示しています。寄付者は、自分の寄付金からの収益が、地区財団活動資金に加えられるように指定することができます。

注記：この要覧で簡単に説明されている税金と資産計画は、米国で適応されるものです。他の国でも、同等の計画的寄付、あるいは、他の種類の計画的寄付が認められています。所得税と譲渡税の観点から、生涯年金を支給するための生涯年金の寄付の譲渡についての説明は、要請があれば財団から入手できます。財団は、全ての寄付者が、法的な資産計画や財政についての助言を受けるように奨励しています。

遺贈と、遺言による寄付

遺贈 — 米国では、これは、計画的寄付の中でも、最もよく知られた形式です。現金、証券、不動産、または、その他のいかなる種類の財産でも個人の遺言を通じてロータリー財団に寄付することができます。寄付者は、生存中、財産を自由に管理し、利用し続けます。米国では、遺言が正式なものであることが認められた後、財団への寄付は、慈善事業への寄付として資産税控除の対象となります。他の国でも、同じような法律の規定に基づいて、同様の控除が受けられる場合があります。遺言や遺産計画を通じて行われる平均的な寄付は、普通、無条件寄付よりも多額ですので、遺贈が奨励されるべきです。

生涯年金の寄付

慈善贈与年金 — 最低米貨10,000ドルの取り消し不可能な払い込みの代わりに、財団は寄付者が指定する1人あるいは2人の人に年間の収入を保証します。米国その他の国においては、慈善事業への寄付は、所得税の直接控除を受けることができます、また年間所得申告の一部は無税となります。

この中でも特殊なのが、据え置き慈善贈与年金です。この場合、年金支払いの開始期日は、契約日より、少なくとも1年、据え置かれます。これは、若い寄付者に、そのような寄付に対する税金控除の恩典を利用する機会を提供するものです。

積み立て基金 — ロータリー財団の積み立て基金は、現金、証券、または、その両方を、投資信託のように他の人達の寄付と一緒に積み立てて投資するものです。寄付者は(そして/または、収入の受益者)は、その生存中、収益の中から投資の割合に応じた収入を受け取ります。寄付者は、慈善事業への寄付に対する税金の控除を受け、資本利得税を回避し、不動産税を減少することができます。最低：米貨5,000ドル

慈善残余権信託 — 寄付者は、金銭、不動産、または、その両方を財団に移管し、財団が資産を別個な資金として投資するものです。寄付者は、不定額(the uni-

trust)、または、固定額(the annuity trust)として収益を受け取ります。価値の上
がった財産に対する資産利得額を減少させるか、削除することができる、所得の
直接控除の権利が得られます。最低：米貨100,000ドル

生命保険贈与

寄付者は、現在有効な生命保険証券を譲渡したり、また、新しい保健証券を購入
し所有権をロータリー財団に譲渡したり、あるいは、保険証券を所有して、その
受益者名をロータリー財団として指定したりすることができます。証券の所有が
譲渡された場合は、寄付の時点と、その後の保険金支払い時に、寄付者は、証券
の代価を所得額からの控除として受けることができます。ロータリー財団は、寄
付者が、各個人のニーズに適した最適な寄付方法について、自分の法的および財
政の専門家からのアドバイスを受けるように奨励しています。

財団は、満期まで維持されるという意図があることが示され、管理上の介入を必
要としない、全額の支払いの完了した生命保険証券の贈与を受け取ること、ある
いは、その受益者となることが出来ます。そのような証券の最低の券面額は、米
貨1,000ドル以上でなければなりません。金額の支払いの完了した、取り消し不
可能な生命保険証券で、成人の寄付者に対してかけられている保険の贈与の認証
は、その最高の価値と判定される金額(通常、券面額)に基づきます。

21歳以下の個人の余命にかけられた全額の支払いの完了した生命保険証券で、そ
の現金価値が最低米貨1,000ドル以上であるものは、ベネファクターの認証を受
ける資格があります。また、その他の認証も、証券の現金価値に基づいて行われ
ます。ベネファクターとしての認証は、保険がかけられている個人のみに対して
行われます。保険がかけられている個人が、寄付者あるいは寄付者の配偶者でな
い場合は、生命保険の最低金額は、少なくとも、米貨1,000ドルでなければなり
ません。

財団は、また、保険料の支払いを続けることが必要な、券面額が最低米貨5,000
ドルの生命保険証券の贈与をも受け入れます。その認証は、寄付の時点、および、
その後の保険料支払い時点での、証券の現在の「現金価値」に基づきます。この
方針の修正は、財団管理委員会が生命保険証券贈与の受け入れについての方針を
修正した、1996年2月以前に行われた生命保険の贈与には影響しません。

他の計画的寄付

住居あるいは農場の生涯保留財産 — 住居あるいは農場の所有者は、財産をロー
タリー財団に寄付し、慈善残余価値に対する所得税の控除を申請し、また、自身
および／または他人のために、この財産を使用することができます。住居ある
いは農場の価値の一部は、固定資産税を控除されます。

「収益譲渡」寄付 — この信託は、財団が、信託の終了まで、特定の期間、収益を
支給し、それ以後、信託財産は、寄付者、受益者、または、寄付者の財産に復帰
するものとなります。もしも信託が、Unitrust または Annuity trust の基準に一
致する場合、寄付者は、財団が信託より得る収益の額に基づき、所得税から慈善
事業への寄付に対する控除額を差し引くことができます。

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・ センターを支援するための寄付

国際問題研究のためのロータリー・センターの最初の支給資金は、地区財団活動
資金を通じての地区の寄付を呼びかけ賄われることとなります。プログラムの最
初の2年(合わせて米貨50,000ドル)のために米貨25,000ドルを配分した地区は、パ
イオニア地区として認証されることとなります。

プログラムの長期的な安定を確保するため、最初の2年にわたって、米貨500,000ドル以上の大口寄付が求められることになります。その寄付は、恒久基金の一部となり、国際問題研究のためのロータリー・センターのために継続的な支援を提供することになります。

認証の種類

大口寄付は、寄付者が亡くなった後も長期にわたり、本人の生涯にいかに関与が重要な意味をもっていたか、そして個人としての有意義な貢献を反映することになります。財団は、匿名や公表を避けることを希望する寄付者の意思を尊重しますが、しかし寛大な寄付を公表し、謝意を表明する機会が与えられることを願っています。公に感謝することが同様な寄付を考慮する他の人々を奨励するものとなるからです。財団による認証は、表彰式を担当している財団ボランティアを通じて、要請してください。

ベネファクターの認証

ロータリー財団は、遺言または他の資産計画に、財団の恒久基金に寄付をする条項を書き加えたことを文書で通知した人、または、恒久基金に米貨1,000ドル以上を即金寄付した人を、ベネファクターとして認証しています。

各ベネファクターには、認証状に加えて、ポール・ハリス・フェロー・ピンやその他のピンと共に着用できるバッジが贈られます。ベネファクターの認証にはレベルはなく、認証は永久に有効です。

恒久基金への寄付の元金も収益も、ポール・ハリス・フェローや財団の友会員の認証の対象にはなりません。恒久基金からの収益は、寄付者が、収益をシェアを通して地区に還元することを指定するなら、シェアの計算のために地区の記録に加算されます。

ロータリー財団は、恒久基金小委員会委員長に、地区のベネファクターについての年2回の報告書を送付します。更に、地区ガバナー、財団委員会委員長、年次寄付小委員会委員長、および、クラブは、Club Recognition Summary Reportと一緒に、ベネファクターについての定期的情報を受け取ります。

大口寄付/寄贈の認証

ロータリー財団は、年次プログラム基金か、恒久基金へ米貨10,000ドル以上の即金寄付や累積的寄付をした個人を、大口寄付者と認めます。

信託、契約、保険証券、その他の方法で財団に譲与された将来の収益を見込める寄付の判定できる最高の金額を含む、計画的寄付の元金の金額は、大口寄付認証のため、および、クラブ認証のために、寄付者の記録に加算されます。

そのような認証の対象となる寄付は以下のように認められます：

- ポリオ・プラス大口寄付の認証をまだ受けていないポリオ・プラスへの寄付
- 財団のいかなる基金に対してなされるその他のすべての無条件寄付
- 財団へ寄付されることが取り消し不可能な形で誓約された慈善残余権信託、慈善贈与年金不定額または固定額の信託、慈善贈与年金、積み立て基金の判定できる最高金額
- 財団を唯一の所有者および受益者として寄贈された、支払いが完全に終了した21歳以上の個人の生命保険証券の判定できる最高金額

管理委員会は、大口寄付者の認証(下記の表を参照)のために、6つのレベルを設定しました。寄付者は、それぞれの適切な寄付レベルのサークル・ピンと一緒に、管理委員会からの特別な感謝状と彫り込みの入ったクリスタルの置物を受け取ります。大口寄付者には、寄付は累積しますので、各レベルに達した時点ごとに認証を受け、随時、国際ロータリーの行事で特別な表彰式が行われます。

寄付合計額	クリスタルの認証レベル	ダイヤモンド・サークル・ピンの認証レベル
米貨10,000ドルから 24,999ドル	レベル1	石1つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン
米貨25,000ドルから 49,999ドル	レベル2	石2つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン
米貨50,000ドルから 99,999ドル	レベル3	石3つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン
米貨100,000ドルから 499,999ドル	レベル4	石4つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン
米貨500,000ドルから 999,999ドル	レベル5	石5つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン
米貨1,000,000ドル以上	レベル6	石6つ入ったクリスタルと ダイヤモンド・サークル・ ピン

注記：蓄積的寄付額が米貨250,000ドルを超える大口寄付者は、米国イリノイ州エバンストン市の国際ロータリー世界本部のロータリー栄誉の殿堂に寄付者自身の写真が永久に飾られることになります。寄付レベルが2から6までの大口寄付者の名前は、栄誉の殿堂に永久に記載されます。

ロータリー財団遺贈友の会

個人あるいは夫妻が遺産計画において最低額米貨10,000ドルをロータリー財団に指定し、それを財団へ通知した際にロータリー財団遺贈友の会の会員となります。会員資格を得ることのできる寄贈の種類は次の通りです：

- 遺言による遺贈、遺贈信託、その他の年金計画資産
- 終身総合生命保険

管理委員会では、大口寄付者および遺贈友の会会員のために上記の通り、6つのレベルを設定しました。しかし、大口寄付者のためのクリスタルの認証品は、それぞれの適切なレベルを示しますが、遺贈ともの会会員のためのクリスタルは一種類だけであり、全てのレベルの寄付に対して贈られます。ダイヤモンド・サークル・ピンの認証品は、大口寄付者および遺贈友の会会員の全てのレベルにおいて同じものが贈られます。

参考資料

- The Rotary Foundation Major Gift Guide（世界本部での寄付増進部職員より入手可）
- Ways of Giving (ロータリー財団への寄付方法) (185-EN)

- Securing the Future — Your Bequest to The Rotary Foundation (確かな未来 — ロータリー財団への遺贈) (183-EN)
- Gifts of Life Insurance (生命保険の贈与) (152-EN)
- The Rotary Foundation Pooled Income Fund (ロータリー財団積み立て基金) (154-EN)
- ベネファクター寄付誓約書 (149-JA)
- Bequest Society Membership Card (遺贈友の会会員証) (098-EN)
- The Gift that Keeps on Giving (枯渴しない寄付) (321-EN)、ビデオ、英語版のみ
- Planned Giving in Canada (カナダにおける計画的寄付) (045-EN)
- 二つのニーズに応える、二つの寄付方法 (173-JA)
- ロータリー財団年次報告 (187B-JA) — 毎年 12 月出版
- The Charitable Gift Annuity (慈善贈与年金) (104-EN)
- Named Funds (冠名基金) (110-EN)
- Life Income Gifts (生涯収入の準備) (109-EN)

これらの参考資料の入手のためには、世界本部の出版物注文サービスにご連絡ください。847-866-4600 ファックス：847-866-3276 また、RIのウェブサイト (www.rotary.org)からも入手することができます。



シェア・システム 3

シェア・システムは、ロータリー財団のプログラム補助金が世界中に配布される機構です。シェア・システムを通して、ロータリー財団への寄付は、国際親善奨学金、人道的国際プロジェクトのためのマッチング・グラント、研究グループ交換などを可能にします。

シェアを通じ、各ロータリー年度末に、各地区の寄付が、二つの資金に分けられます：40パーセントが国際財団活動資金(WF)に、60パーセントが地区財団活動資金(DDF)に割り当てられます。

注記：2003-04寄付年度、シェアの分割は、50パーセントの地区財団活動資金と50パーセントの国際財団活動資金に変わります。2003-04年度の寄付金は、2006-07年度にプログラムに活用されます。

このシステムは、次の理由からシェア・システムと呼ばれます：

- ロータリアンは、世界中のロータリアンとその財産をシェア(共有)します。財団は、国際財団活動資金(WF)に加算された年次寄付の40パーセントを使用し、地区の寄付レベルに関係なく、全ての地区/クラブが申請できるプログラムに出資されます。
- 管理委員会は、各地区が選ぶプログラムに出資するために寄付の60パーセントを割り当てて、意思決定の権限の一部を地区にシェア(分与)します。
- ロータリアンは、財団を通じて世界中にロータリーをシェア(分譲)します。国際財団活動資金(WF)および地区財団活動資金(DDF)の両方を通じて出資される財団プログラムは、異なった国の人々の間に理解と友好関係を増進する効果的な方法である、このようにしてロータリー財団の目的を達成することができます。

ロータリー財団は、ユニークな資金提供サイクルのもとに運営されており、プログラム活動のための寄付が記録されてから、3年後に寄付金を使用されるようになっています（下の表を参照のこと）。この3年間サイクルは、地区に、プログラムの計画を立て、参加の選択をする時間を与え、財団が、寄付を投資して、管理費、プログラム運営費、寄付増進経費を支払うことを可能にします。従って、一般寄付の100パーセントは、約3年後に、直接、プログラム補助金のために使用されることになります。1947年以来、約11億9,000万ドルが、財団プログラムに使用されました。

寄付年度	プログラム年度
1999-2000年度	2002-03年度
2000-01年度	2003-04年度
2001-02年度	2004-05年度
2002-03年度	2005-06年度
2003-04年度	2006-07年度

配分手続

毎年11月に各地区は、新しい配分サイクルを開始するためのシェア・パッケージを受け取ります。このパッケージには、シェア配分ワークブック、シェア・システム配分報告書が含まれています。ワークブックは、地区の役員に、シェア決定ワークシート(添付資料4としてワークブックに記入されている)の記入および署名によって完了する配分サイクルについて紹介するものです。シェア・システム配分報告書は、プログラム年度への配分のために使用できるDDFの合計学について地区に知らせます。この調整済みDDF残高は、次のものによって構成されています。

- 前年に寄付された年次プログラム基金金への寄付の60パーセントおよび
- 使途が特別に指定された恒久基金からの収益の60パーセント
- 前年度の配分サイクルからの使途未指定のDDF
- 規定額以下しか使用しなかった奨学金などの場合を含む、必要な調整額

注記：恒久基金からの収益の60パーセントは、寄付が行われた時点で要請された場合のみ、地区財団活動資金に加算されます。

誰が？

地区がそのDDFをどのように使用するかにについての決定は、地区ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、直前パスト地区ガバナーとの相談により、DRFCが行います。

注記：2003年7月1日より、DRFCは、シェアDDFの配分と配布の責務を負います。DRFC委員長は、DRFCを代表し、シェア決定ワークシートを提出します。認められるのは、DRFC委員長の署名のみです。地区がDRFC委員長を任命していない場合、地区はDDFを使用することができません。

いつ？

重要な期日と行事	
期日	説明
2002年11月	配分手順が開始される(寄付年度2001-02年度、プログラム年度2004-05年度) シェア配分ワークブックが、地区ガバナーへ配布される。地区ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、直前パスト・ガバナー、およびDRFC委員長からなるロータリアン委員会は、地区のシェアDDF配分を決定するために会合を持つ。
2003年3月1日	シェア決定ワークシートの受理締切日

上記に示されている通り、財団へ提出するシェア決定ワークシートの締め切り日は、3月1日です。まだワークシートを提出していない地区には、定期的に提出を催促する知らせが送られます。DDFの残高が変更された地区に対しては、最新のシェア・システム配分報告書も送付されます。

どのようにして?

シェア・システムのもとでは、使用できるDDFは、4つの配分分野のうちの1つ以上に割り当てられます。

- 人道的プログラム
- 教育的プログラム
- プログラム強化
- 寄贈

どの財団プログラムが、地区内のロータリアンが最も関心を持っているものであるかを決定するのは、地区役員の責務です。これは、クラブに直接投票してもらったり、地区の月信を通してコメントを求めたり、その他の地区に適した方法で行うことができます。

クラブからの意見を受け取った後、地区役員は、それぞれの広範囲の配分分野に割り当てるべき具体的なDDFの金額を、決定し、シェア決定ワークシートに記入します。シェア決定ワークシートには、各プログラムについての推定額のための空白/枠が設けてあります。しかしながら、分野別の配分額の合計のみが記録されます。各分野に割り当てられたDDFは、その分野の範囲に含まれる個々のプログラム・オプションのどれにでも使用できます。他のプログラム分野とは違って、全ての寄付の配分はプログラム・オプションのレベルで行われなければなりません。地区は寄付の時点で受領地区を指定しなければなりません。

DDFを使うには、配分しなければなりません。あるプログラム年度で未配分のDDFは、次プログラム年度の配分のために使用できるDDFの合計額に自動的に加えられます。一度このDDFが次年度に繰り越されたなら、最初に配分できることになっていた年度中に使用することは、もはやできなくなります。

配分オプション

配分のオプションは、実施のプログラム年度に先立つ2年前の、4月のロータリー財団管理委員会において決定されます。2002-03年度に就任する地区ガバナーには、2004-05プログラム年度のために2002年11月に配布されるシェア配分ワークブックの一部として、配分のオプションに関する具体的な資料が送付されることになります。広範囲な配分オプション分野が下記に要約されています。

人道的プログラム

人道的プログラム分野への配分は、以下の人道的補助金の支援のために使用できます：

- マッチング・グラントー 提唱者側の負担分
- ヘルピング・グラントー 提唱者側の負担分
- ロータリー・ボランティアのための補助金
- 災害救援
- 世界社会奉仕助成金
- 新人道的補助金
- 地域社会援助補助金プログラム

DDFは、財団によって承認されているプログラムにのみ使用できます。

プログラム年度の終了時に人道的プログラム分野での未使用のDDFは次プログラム年度に人道的プロジェクトのためのDDFの合計に自動的に繰り越されます。

シェアのIdentification Summary by Categoryという報告書が、1プログラム年度を通じ4半期毎に送付され、人道的プログラムに配分されたDDFの残りの金額について、年度を通して連絡されます。この報告書の情報資料を使用し、終了していないプロジェクトを調べ、報告書に記載された承認されている補助金だけにDDFを充当するようにして下さい。

教育的プログラム

教育プログラム分野への配分は、以下に含まれた教育プログラムのための使用することができます。

- 1学年度国際親善奨学金：
- 2年マルチ・イヤー国際親善奨学金
- 3カ月文化研修のための国際親善奨学金
- 6カ月文化研修のための国際親善奨学金
- 3カ月から5カ月の大学教員のためのロータリー補助金
- 6カ月から10カ月の大学教員のためのロータリー補助金
- 研究グループ交換
- 隣接国間での研究グループ交換

教育プログラム分野への配分は、奨学生、大学教員、GSEチームが留学する年度に使用されます。

プログラム強化

プログラム強化は、他の配分分野を通して提供されるプログラム (例えば、GSEプログラム) を「強化」させるオプションです。プログラムの向上のためのオプションの割り当ては、100ドル単位で行われます。

GSE語学研修のための補助金地区は、DDFを、GSEチーム・メンバーの語学研修を補助するために使用することができます。(これは、要請すれば財団から全ての地区に支給される米貨1,000ドルの語学研修のための補助金に加えて、支給されるものです。)

追加GSEチーム・メンバー地区は、ひとりにつき米貨2,000ドルで、ロータリアンでないチーム・メンバーを、2人まで、追加するために、DDFを使用することができます。地区は、更に、隣接国同士のGSEの場合は、ひとり米貨1,000ドルで、2人までのロータリアン以外のチーム・メンバーを追加することができます。

GSEチームのオリエンテーション地区は、DDFを、チーム・メンバーのオリエンテーション費用に使用することができます。(最高500ドルまで)

寄贈

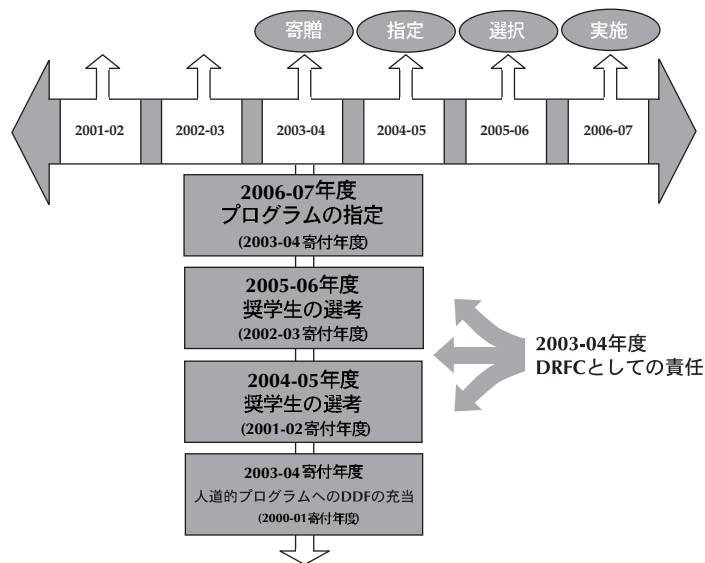
シェアによる他のロータリー地区への寄贈は、ロータリー財団プログラムの欠かさない要素です。寄贈分野を通じて、地区は世界中のロータリアンとその財産を分かち合うことができ、ロータリー財団の絶えざる発展を確かなものにします。2種類の寄贈配分を行うことができます：

1. 管理委員会によってその最終的な使用が決められる寄贈

地区は、マッチング・グラント、3-H補助金、ロータリー・ボランティア補助金、平和プログラムおよび将来創設されと思われるその他のプログラムの財団負担分のために地区財団活動資金(DDF)を国際財団活動資金(WF)へ寄付することができます。

- ポリオ・プラス基金への寄付
 - 寄付は、恒久基金に対しても行うことができます。基金からの利子収益が、財団のプログラムのために使用されます。
 - 更に、地区は、低所得地域の奨学金あるいは国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムへ地区財団活動資金(DDF)から幾らの金額でも寄付できるオプションがあります。両奨学金は、世界競争制に基づき授与されます。
2. 他の地区への寄贈
- 地区が寄贈するDDFは、受益地区の判断で使用されることになります。
 - また受益地区に対し寄贈地区において寄贈奨学金を使用することを指定することで、寄贈地区も恩恵を得られる教育プログラムを支援するための幾つかの寄贈オプションが用意されています。例えば、他地区に1学年度奨学金を寄付する地区は、奨学生が寄贈地区において研究にあたるよう指定することができます。もちろん、寄贈地区は、受益地区が希望の地区において奨学金を使用することを可能にすることもできます。奨学金、大学教員のための補助金、および追加研究グループ交換のための資金を他の地区へ寄贈することもできます。

次の表は、地区がシェア・プロセスを理解するのを助けるためのものです。



参考資料

- シェア・システム (181-JA)
- シェア配分の手引

シェア・システムは、世界本部の出版物注文サービスに連絡することによって入手できます。電話番号：847-866-4000 ファックス：847-866-3276、あるいは国際ロータリーのウェブ・サイトwww.rotary.orgからも入手できます。シェア配分の手引は、シェア・コーディネーター（電話：847-866-3362、ファックス：847-491-9364、Eメール：share@rotaryintl.org）より入手できます。



ロータリー財団の 奉仕の表彰

4

ロータリアンのための奉仕賞

ロータリー財団が名声を獲得し、世界理解と平和を達成するための運動のリーダーとして優れた活動を続けていけるのを可能にしているのは、世界中のロータリアンの努力のお陰です。財団を今日の姿にするのを助けたロータリアンたちに敬意を表するために、財団の管理委員会は表彰のためにいくつかの奉仕賞を創設しました。地区ロータリー財団委員会で委員を務めたり、財団の行事を計画したり、募金活動に参加したり、研究グループ交換のチーム・リーダーや国際親善奨学生のための顧問として奉仕したりしたロータリアンは、これらの奉仕賞を受賞する資格があるかもしれません。

ロータリー財団地区奉仕賞

地区ガバナーは、毎年、財団への奉仕に対する表彰に値する地区内のロータリアン20人まで、ロータリー財団地区奉仕賞を授与することができます。表彰状は、エバンストンの国際ロータリーの財団、または、RI日本事務局から無料で入手できます。受賞者の氏名の印刷は、地区で行ないます。表彰の後には、正しく記録に残しておくために、各受賞者の氏名とクラブ名を世界本部の財団に送るよう要請されています。

ロータリー財団功勞表彰状

財団管理委員会は、毎年、財団に対して多大の功勞のあった人々に、ロータリー財団功勞表彰状を授与します。きれいに金箔で飾られた賞状は、管理委員会委員長の署名入りで、木製の台の上に載せられています。

この賞は、財団に対する積極的な奉仕に対して授与され、寄付金を寄付しただけのロータリアンは、この賞の受賞の対象にはなりません。また、現および次期財団管理委員、RI理事、地区ガバナーは、本賞の対象とはなりません。毎年1地区につき一人のロータリアンが功勞表彰状を受けることができ、一人のロータリアンは、この功勞表彰状を1度だけしか受けることはできません。

候補者推薦書式は、地区ガバナーに郵送されます。パスト地区ガバナーと、現クラブ会長も、現ガバナーの同意を受けて、多大な功勞のあったロータリアンを推薦することができます。推薦書は、いつでも国際本部のロータリー財団のゼネラル・マネジャー宛てに送付してください。

ロータリー財団特別功勞賞

財団管理委員会は、財団に対する目ざましい奉仕を、地区の範囲を超えて、あるいは、長期にわたって実行した人々に対して、ロータリー財団特別功勞賞を贈ります。この賞には、くるみの木材の土台のうえに飾られたブロンズ製のプラークが授与されます。毎年、50以上の特別功勞賞が授与されることはありません。

ロータリー財団特別功勞賞の候補者は、少なくとも4年以上前までに、ロータリー財団功勞表彰状を受けた人でなければなりません。この賞は、積極的な奉仕に対して授与され、寄付金を寄付しただけのロータリアンには、この賞の授与は考慮されません。現管理委員と次期管理委員、現事理および次期理事、および、現地区ガバナーは、この賞を受賞する資格を持ちません。一人のロータリアンは、この賞を1度だけしか受けることはできません。推薦は、推薦者に加えて、少なくとも、もう一人のロータリアンに支持されていなければなりません。推薦も支持も、推薦者の地区の外側から来るものでなければなりません。

候補者推薦書式は、功勞表彰状を受賞したロータリアンの氏名と共に、地区ガバナーに郵送されます。推薦書は、国際本部のロータリー財団のゼネラル・マネジャー宛てに11月15日までに必着するよう送付しなければなりません。

ポリオから解放された世界のための奉仕賞

西暦2005年末までにポリオを撲滅し、それを証明するという目標は、世界中のロータリアンの献身と専心のお陰で、達成間近です。1992年11月1日以来、ポリオ・プラス活動に参加してきた人々の積極的な個人的奉仕を祝うために、ロータリー財団には、貴地区のロータリアンのための奉仕賞があります。

ポリオ撲滅のための地域奉仕賞

ポリオ撲滅のための地域奉仕賞は、世界保健機関の地域と一致する地域別に授与される賞で、その地域内のみ、または、主としてその地域内でのポリオ撲滅のための優れた奉仕に対して授与されます。毎年、各地域につき最高10件までの賞が授与されます。

ポリオ撲滅のための国際奉仕賞

ポリオ撲滅のための広範囲にわたる奉仕に対するポリオ撲滅のための国際奉仕賞も、毎年、10件まで、授与されます。推薦書式と推薦基準は、地区ガバナーと、全国ポリオ・プラス委員会委員長宛に郵送されます。

元財団奨学生に対する学友賞

ロータリー財団学友人道奉仕賞

ロータリー財団学友人道奉仕賞の目的は、優れた元の財団プログラムの参加者を表彰し、財団プログラムの社会的な恩恵を広報するために役立てることにあります。元の国際親善奨学生、研究グループ交換チーム員、ロータリー・ボランティア、および大学教員のための補助金、新人道的補助金、世界社会奉仕助成金の受領者たちが、この新しい賞に対する受賞資格をもっています。

全ての地区は、この賞のために候補者を1名推薦することができます。ロータリアンは、奉仕活動を始め専門分野や職業における業績が顕著であり、国レベルあるいは国際レベルにおいて人々の生活に触れ良い影響を与えるために地域社会の枠を超え献身した個人を考慮しなければなりません。候補者は、少なくとも10年間、学友として活躍したものでなければならず、また1度だけしか受けることはできません。

本賞の推薦書式および指針は、6月1日までに資格をもつ元管理委員、地区ガバナー、DRFC委員長、学友小委員会委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、および学友諮問グループ・メンバーの各推薦者宛てに郵送されることになります。全ての推薦は、適切な地区ガバナーの承認を受け、9月3日までに財団学友関係担当課において受理されなければなりません。

管理委員会の選考委員会が、10月/11月の管理委員会の期間中、あるいはその直前に選考に当たることになります。管理委員会委員長が、直接、国際ロータリー年次大会機関中の重要な財団行事において本賞を授与することになります。



援助源

5

地区ロータリー財団委員会が活用できる多数の援助源には、次のようなものがあります：

- ロータリアン諮問グループおよび実行グループ
- RI出版物とビデオ
- RIウェブサイトwww.rotary.org
- 世界本部および日本事務局のロータリー財団職員

ロータリアン諮問グループ

ロータリアン諮問グループおよび実行グループ各種は、財団の目標を達成を図る上で、クラブと地区を助けるために、財団管理委員会によって設立されます。下記は、各グループについての簡単な説明です。諮問グループおよび実行グループ委員は、RI公式名簿とRIウェブサイトに記載されています。

ロータリー財団地域コーディネーター

貴地区担当のロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）は、貴重な援助源です。RRFCは、貴地区ロータリー財団セミナーの立案、推進、実施に関して、貴地区のDRFCに力を貸すことができます。また、プログラムへの参加および資金的支援を得るための地区の財団目標設定に助力することもできます。RRFCは、貴地区のロータリー・ゾーン研究会の直前に開催されるガバナー・エレクト研修セミナーを率い、財団に関する貴重な助言をDRFCに提供することができます。従って、貴地区のRRFCと密接な関係を築き、協力し合うことが強く望まれます。

財団学友諮問グループ

財団学友諮問グループ(FARG) は、RI会長エレクトと財団管理委員長エレクトの任命する50人のメンバーによって構成される世界的規模の実行グループです。FARGの役割は、ロータリアンの中で財団学友についての認識を高め、学友をクラブや地区の奉仕プロジェクトおよび活動の情報提供者として、財団プログラムの効果的な提唱者として、また、ロータリー・クラブへ入会する候補者として活用することにあります。財団学友は、クラブや地区の行事で、人を動かす感動的なお話をすることができます。

FARGのメンバーは、ロータリー地域財団コーディネーターおよび地区小委員会委員長と共に協力し、学友関連の行事、奨学生オリエンテーション・セミナーを運営し、また学友プログラムに関する人間的な興味をもたせる実話を、REConnections、および、ロータリアン誌、ロータリー・ワールド、ロータリー・ニュース・バスケットなどの他の適当な出版物に掲載するようにします。貴ゾーンのFARG委員が、学友をどのように引き続きロータリー関与させるかについて力になってくれます。

ポリオ・プラス講演者ビューロー

ポリオ・プラス講演者ビューローは、要請に応じ、ロータリー・クラブ例会、特別行事、募金活動、その他の活動で個人の後援を通して、ロータリーのポリオ・プラス・プログラムの目標を推進します。地区ポリオ・プラス小委員会委員長の諮問委員も務めます。あなたの地域の講演者に連絡をとるには、公式名簿を参照してください。更に詳しい詳細は、RI世界本部のポリオ・プラス課にご連絡ください。

恒久基金全国諮問委員

ロータリー財団恒久基金全国諮問委員は、地区財団小委員会委員長と財団職員との間の連絡を担当します。恒久基金推進計画が世界的に拡大されていくなか、これらのロータリアンは、意欲を起こさせ、技術的な専門知識を提供するなど、恒

久基金地区小委員会を支援することができます。また、貴地区の恒久基金目標達成を助けることができます。更に、恒久基金プログラム指導者と職員に、定期的に、情報と進捗状況報告を提供し、ロータリー地域財団コーディネーター(RRFC) と協力して、世界的な恒久基金目標を達成するために、力になることができます。

年次基金方策諮問委員（米国およびカナダのみ）

年次基金方策諮問委員は、財団管理委員会、ロータリー財団地域コーディネーター、財団職員、地区指導者との間の連絡を担当します。委員には、担当領域内のクラブ並びに地区の年次プログラムへの募金活動を援助する責務があります。また、2005年までに会員一人当たり米貨100ドルの目標額を世界的に達成するために、管理委員会を助ける責務も負います。年次基金方策諮問委員は、米国およびカナダにてのみ任命されます。

RI出版物とビデオ

本要覧全般にわたり、ロータリー財団のプログラムと方針を説明するために、追加の資料源として適切な出版物並びにビデオが紹介されています。ほとんどの財団の出版物のほとんどは無料で、ビデオも各10ドルと手頃です。地区ロータリー財団セミナー、地区大会、地区協議会、PETS会合、募金活動のようなその他の財団の行事にて配布できるよう、忘れずにこれらの出版物を注文しましょう。ほとんどの出版物は、RIカタログに記載されており、Publications Order Servicesより注文することができます。（電話：847-866-4600、ファックス：847-866-3276）。また、RIのウェブサイト(www.rotary.org)からも入手することができます。その他のものは、財団職員より入手できます。

ロータリー・クラブの全会員に配布されるべき出版物は、次の通りです：

- ↳ ロータリー財団携帯用カード (159-JA)
- ↳ ロータリー財団早見用引き (219-JA)
- ↳ みんなの貢献するロータリー財団 (171-JA)

上記の出版物は、ロータリアンに財団プログラムと募金活動に関する基本的な情報を提供してくれます。

RIウェブサイト

国際ロータリーとロータリー財団は、RIウェブサイトwww.rotary.orgを、ロータリーに関する最新の情報、資料を入手できる援助源として維持することに専念しています。毎週、ニュース記事を掲載しており、毎月更新しているページも多数あります。また、財団の情報も、常に更新され、改善されています。ウェブサイトの機能も常に追加されており、オンラインで寄付を行ったり、RI国際大会やその他の登録をしたり、住所や電話番号の更新も行えるようになっています。RIカタログも、オンラインでアクセスできるようになり、ロータリアンは、ウェブサイト上で出版物やビデオの注文ができるようになりました。

財団の申請書式や要覧、手引きの英語版のほとんどは、ウェブサイトからダウンロードできます。他の言語版も、近々、アクセスできるようになる予定です。財団プログラムの変更は、できるだけ早く反映させるようにしています。ウェブサイトの財団のページの内容を把握した上で、インターネットを利用できるロータリアンには、財団の最新情報を入手するために、RIウェブサイトを訪れるよう奨励します。

ロータリー財団職員

ロータリー財団の職員は、必要があればあなたを援助してくれくれます。職員は、米国イリノイ州エバンストンの世界本部とアルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、インド、韓国、スイスの国際事務局に勤務しています。大ブリテンおよびアイルランドのロータリアンは、英国のRIBI事務局から援助が得られます。

すべての職員の電話番号とEメール・アドレスを記載することはできませんが、エバンストンの国際ロータリー並びにロータリー財団の代表番号は、847-866-3000です。ファックス番号やEメール・アドレスを別に設けている課は次の通りです：

国際親善奨学金プログラム— ファックス：847-866-0934、
Eメール：scholarshipinquiries@rotaryintl.org

研究グループ交換— ファックス：847-328-4101、
Eメール：gseinformation@rotaryintl.org

国際問題研究のためのロータリー・センター— ファックス：847-866-0934、
Eメール：rotarycenters@rotaryintl.org

人道的プログラム— ファックス：847-869-6987、
Eメール：grantsm@rotaryintl.org

ポリオ・プラス— ファックス：847-866-6987、
Eメール：polioplus@rotaryintl.org

ロータリー財団学友— ファックス：847-491-9364、
Eメール：alumni@rotaryintl.org

シェア・コーディネーター— ファックス：847-491-9364、
Eメール：share@rotaryintl.org

年次寄付— ファックス：847-328-5260、
Eメール：apf@rotaryintl.org

恒久基金寄付— ファックス：847-328-5260、
Eメール：funddevelopment@rotaryintl.org

寄付業務— ファックス：847-328-4101、
Eメール：donorservices@rotaryintl.org

国際ロータリー事務局の連絡先は、RI公式名簿に記載されています。



ロータリー財団 カレンダー 6

2002年7月

日	月	火	水	木	金	土
	1 地区ロータリー財団セミナーの日程を組む	2 地区およびクラブの指導者は、年次プログラム基金の目標額の推進を開始	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12 地区ロータリー財団委員会要覧、DG要覧及び委員会任命書式が全DGEへ送付	13
14	15 ロータリー財団がマッチング・グラントの申請の受け付けを開始	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

注意事項：

ロータリー一年度内にできるだけ早く、遅くとも2002年11月15日までに、地区ロータリー財団セミナーの運営を計画してください。

あなたの地区の地域ロータリー財団セミナーを計画 — 指定の日付/場所に関する情報は、RRFCに連絡してください。

2002年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1 米貨25,000ドル 以上のマッチ ング・グラン ト申請の締切 期日	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 GSE申請書式お よび月間寄付 報告が全地区 へ送付	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30 財団奉仕賞の 資料が全地区 へ郵送	31

2002年9月

日	月	火	水	木	金	土
1 11月の財団月間の計画の開始	2 学友賞の推薦締切期日	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13 2001-02ロータリー年度の最終寄付報告書が全地区へ送付	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 REConnectionが全学友へ郵送	24	25	26	27	28
29	30 第一四半期の終了					

2002年10月

日	月	火	水	木	金	土
	地区GSE申請書の財団締切期日 国際親善奨学金申請締切期日 大学教員のための補助金申請書の財団締切期日	1 年次プログラム基金の目標郵便物が全DGEへ送付	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15 前年度の寄付上位3クラブのバナーが現DGEへ送付	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26 管理委員会会合がエバンストンで開始
27 管理委員会会合	28 管理委員会会合	29 管理委員会会合	30 管理委員会会合	31 管理委員会会合		

2002年11月 — 財団月間

日	月	火	水	木	金	土
				財団月間中、 100パーセント のクラブ参加 を奨励	1 10月管理委員 会会合 学友人道奉仕 賞の受賞候補 者を選考	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14 シェア・ワーク ブックと決定ワ ークシート、奨 学金、大学教員、 世界平和奨学生 の申請書式が全 地区へ送付	15 世界社会奉仕助 成金の発表 財団特別功労賞 の財団締切期日 次プログラム基 金目標額設定郵 便物が全DGEに 送付	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2002年12月

日	月	火	水	木	金	土
1 DGEは、DGとしての年度の計画準備を開始。 2003-04年度の年次プログラム基金目標額を設定。	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 国際親善奨学金の発表	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31 暦年の最終日 現在の寄付報告財団締切期日 第2四半期の終了				

2003年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1 米貨25,000ドル 以上のマッチ ング・グラン ト申請の財団 締切期日	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15 2003-04年度GSE 組合せの確認 が地区へ送付	16	17	18
19	20	21	22	23 DGE、年次プロ グラム基金目 標額を国際協 議会へ持参	24 管理委員会 会合(米国カリ フォルニア州 アナハイム)	25 管理委員会 会合
26 国際協議会 開催	27 国際協議会 開催	28 国際協議会 開催	29 国際協議会 開催	30 国際協議会 開催 2003-04年度世界 全体の年次プ ログラム基金 目標額の発表	31 国際協議会 開催	

2003年2月

日	月	火	水	木	金	土
						1 国際協議会 開催
2 国際協議会 開催	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2003年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 地区小委員会 委員長の任命 ロータリー財 団締切期日 シェア決定 ワークシート	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31 マッチング・ グラント申請 書の受理終了 第3四半期の 終了					

2003年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1 世界社会奉仕 助成金申請の 財団締切期日	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 米国イリノイ 州エバンスト ンにて4月の定 例管理委員会 会合	12 定例管理委員 会会合
13 定例管理委員 会会合	14 定例管理委員 会会合 DGE、受入奨学 生のためにホ スト地区顧問 を任命	15 定例管理委員 会会合	16 定例管理委員 会会合 DGE、受入奨学 生に関する資 料を受け取る	17 定例管理委員 会会合	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2003年5月

日	月	火	水	木	金	土
			DGE、クラブに 年度末寄付の 報告締切日が 近いことを知 らせ、その進 捗状況を報告 させる	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 世界社会奉仕 助成金の発表	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30 学友人道奉仕 賞の推薦書式 が全地区へ 郵送	31

2003年6月

日	月	火	水	木	金	土
1 オーストラリア、ブリスベーンにてRI国際大会	2 RI国際大会	3 RI国際大会	4 RI国際大会	5 オーストラリア、ブリスベーンにて管理委員会会合	6 管理委員会会合	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 財団功労表彰状の推薦最終締切日 受入奨学生のホスト地区顧問の任命	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27 帰国奨学生の通知書が全地区へ郵送	28
29	30 2002-03年度に記入される寄付、ロータリー年度末、財団締切日 地区学友一覧表が全地区へ郵送					

ロータリー財団職員連絡担当者リスト

(全ての電話番号の市外局番は 847です)

The Rotary Foundation General Manager
Fax: 866-1894

Duane R. Sterling

Tel.: 866-3212
sterlind@rotaryintl.org

■ 人道的プログラム

Fax: 869-6987

Humanitarian Grants Programs Division

Anne Gross (Manager)

Tel.: 866-3346
grossa@rotaryintl.org

Matching/Helping/Discovery Grants

Desiree Adaway (Senior Supervisor)

Tel.: 866-4455
adawayd@rotaryintl.org

Grants Administration Department

Orla Clark (Senior Supervisor)

Tel.: 866-3348
clarko@rotaryintl.org

Grants for Rotary Volunteers Unit

Rosalind Benford

Tel.: 866-3336
benfordr@rotaryintl.org

New Programs & Special Initiatives

James Robinson (Supervisor)

Tel.: 866-3349
robinsoj@rotaryintl.org

■ ポリオ・プラス

Fax: 869-6987

PolioPlus Program Division

Carol Pandak (Manager)

Tel.: 866-3304
pandakc@rotaryintl.org

Paul Carpenter (Assistant Manager)

Tel.: 866-3343
carpentp@rotaryintl.org

PolioPlus Partners Unit

Nicole Kreamer

Tel.: 866-3255
kreamern@rotaryintl.org

■ 教育プログラム

Fax: 869-0934

Educational Programs Division

Harvey Newcomb (Manager)

Tel.: 866-3326
newcombh@rotaryintl.org

Tamara Simek (Assistant Manager)

Tel.: 866-3318
simekt@rotaryintl.org

Scholarships Department

Matthew Welch (Supervisor)

Tel.: 866-3323
welchm@rotaryintl.org

Kathleen Pendleton

Tel.: 866-3321
pendletk@rotaryintl.org

Group Study Exchange Department
Fax: 328-4101

Stephanie Veit (Supervisor)

Tel: 866-3327
veits@rotaryintl.org

Barbara Baumeister

Tel.: 866-3328
baumeisb@rotaryintl.org

■ 寄付増進

Fax: 328-5260

Fund Development Division

John Osterlund (Manager)

Tel.: 866-3222
osterluj@rotaryintl.org

Business Process Section

Simone Webb (Supervisor)

Tel.: 866-3320
webbs@rotaryintl.org

Donor Services Department
Fax: 328-4101

April Jensen (Supervisor)

Tel.: 866-3364
jensena@rotaryintl.org

Annual Giving Section

Roylene Gallas (Senior Supervisor)

Tel.: 866-3352
gallasr@rotaryintl.org

Planned Giving Section

Eric Schmelling (Senior Supervisor)

Tel.: 866-3100
schmelle@rotaryintl.org

Field Services & Information Department

Lawrence E. Shawver (Manager)

Tel.: 866-3351
shawverl@rotaryintl.org

Information Unit

Jacquelyn McGuire (Supervisor)

Tel.: 866-4450
mcguirej@rotaryintl.org

Gift Acceptance & Administration Section

Sarah Klimes (Supervisor)

Tel.: 866-3358
klimes@rotaryintl.org

Recognition & Events Section
Fax: 866-9759

Julia Windsor (Supervisor)

Tel.: 866-3294
windsorj@rotaryintl.org

■ 計画および開発

Fax: 866-1894

Planning & Administration Division	Jon Stillman (Manager)	Tel.: 866-3117 stillmaj@rotaryintl.org
	Gary Millman (Assistant Manager)	Tel.: 866-3233 millmang@rotaryintl.org
Special Projects	Lois Robertson (Senior Coordinator)	Tel.: 866-3303 robertsl@rotaryintl.org
Planning & Budget Department	Mario Tamayo (Supervisor)	Tel.: 866-3244 tamayom@rotaryintl.org
Regional Rotary Foundation Coordinators/ Leadership Development Fax: 491-9364	Melanie Thompson	Tel.: 866-4451 thomsom@rotaryintl.org
	Mathew Hohmann	Tel.: 866-4472 hohmannm@rotaryintl.org
Alumni Relations Section Fax: 491-9364	Linda Gold	Tel.: 866-3379 goldl@rotaryintl.org
	Beth Bialkowski	Tel.: 866-3359 bialkowb@rotaryintl.org

地区ロータリー財団委員会要覧評価書式

氏名 _____ 地区番号 _____
(記入してもしなくてもよい)

現在の役職に(印を付けてください) :

- | | |
|--|--|
| ☐ 地区ガバナー | ☐ 地区ガバナー・エレクト |
| ☐ 地区ロータリー財団委員会委員長 | ☐ 地区ロータリー財団小委員会 |
| ☐ ガバナー補佐 | 委員長 |
| ☐ その他 _____
<small>(明記して下さい)</small> | |

地区ロータリー財団委員会要覧の中の以下のトピックについて提供されている情報を、あなたの経験を最もよく表現していると思われる番号で評価してください。

- 1 = 期待を上回るものだった
 2 = 十分に期待に応えるものだった
 3 = 期待以下だった
 4 = 期待はずれだった

1. 地区ロータリー財団委員会	1 2 3 4
2. DRFC委員会	1 2 3 4
3. 年次寄付小委員会	1 2 3 4
4. 計画的寄付／大口寄付小委員会、 または、恒久基金委員会	1 2 3 4
5. 奨学金小委員会	1 2 3 4
6. 研究グループ交換小委員会	1 2 3 4
7. 補助金小委員会	1 2 3 4
8. ポリオ・プラス小委員会	1 2 3 4
9. 学友小委員会	1 2 3 4
10. シェア・システム	1 2 3 4
11. ロータリー財団奉仕賞	1 2 3 4
12. 参考資料	1 2 3 4
13. ロータリー財団カレンダー	1 2 3 4

上記のトピックのどれでも、3 (期待以下)、または、4 (期待はずれ) と評価したトピックがあれば、そのトピックについて、どんな追加情報が提供されるべきであったかを明記してください。

追加コメント：

ご意見をありがとうございました。
この書式を、以下の宛先へお送りください：

The Rotary Foundation of Rotary International
Planning and Administration Division
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Fax: 847-866-1894





The Rotary Foundation
of Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA